MITSUBISHI ELECTRIC

業務用

三菱電機空調冷熱総合管理システム

形名
AE-200J
AE-50J
EW-50J

取扱説明書

– 初期設定用 Web ブラウザ操作編 –

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

もくじ

1. ご使用の前に ……3
1-1. はじめに……3
1-2. 本書の表記について……3
1-3. 動作環境……3
1-4. 統合ソフト（TG-2000）利用時の注意点……4
2. PC 環境設定 ……5
2-1. PC の IP アドレスの設定……5
2-2. Web ブラウザ設定……7
2-3. JAVA の設定……9
2-4. 初期設定用 Web ブラウザへのログイン……12
3. 製品の据付時・移設時の調整 ……16
3-1. 初期設定……16
3-2. 機能設定 1……33
3-3. 機能設定 2……54
3-4. 機能設定 3……57
3-5. 換気設定……70
3-6. ユーザー設定……73
3-7. ユーティリティ……75
3-8. オプション機能のライセンス登録……77
3-9. ソフトウェアのアップデート手順……78
4. 保証とアフターサービス ……82
4-1. 保証について……82
4-2. 機器予防保全の目安・消耗部品の交換周期目安……82
4-3. 交換について……82
4-4. 移設について……82
4-5. お問い合わせ……83
5. Web ブラウザ接続時の注意点 ……84
5-1. 一時ファイルを削除する……84
5-2. Internet Explorer をリセットする……86
添付 .Ver7.20 での追加機能について……87

WT07134X02

・お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
・お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

もくじ

1. ご使用の前に……3
1-1. はじめに……3
1-2. 本書の表記について……3
1-3. 動作環境……3
1-4. 統合ソフト（TG-2000）利用時の注意点……4
2. PC 環境設定……5
2-1. PC の IP アドレスの設定……5
2-2. Web ブラウザ設定……7
2-2-1. インターネット接続しない場合……7
2-2-2. 既設LANを利用したプロキシサーバー経由でインターネット接続する場合……8
2-3. JAVA の設定……9
2-3-1. JAVA の例外サイト・リストを登録する。……9
2-3-2. JAVA コンテンツを有効にする……11
2-4. 初期設定用 Web ブラウザへのログイン……12
2-4-1. HTTPS 接続……14
3. 製品の据付時・移設時の調整……16
3-1. 初期設定……16
3-1-1. 現在日時設定……16
3-1-2. 基本システム……17
3-1-3. グループ設定……27
3-1-4. 連動ロスナイ設定……31
3-1-5. ブロック設定……32
3-2. 機能設定 1……33
3-2-1. メール設定……33
3-2-2. ピークカット設定（省エネ制御）……37
3-2-3. ET 制御設定……45
3-2-4. 高顕熱制御設定……46
3-2-5. アドバンストパワーセーブ設定……47
3-2-6. サーモ OFF 時送風設定……48
3-2-7. 計測設定……49
3-2-8. エネルギー管理設定……53
3-3. 機能設定 2……54
3-3-1. 設定温度範囲制限……54
3-3-2. ナイトモード（低騒音運転）スケジュール……55
3-3-3. オートチェンジオーバー……56
3-4. 機能設定 3……57
3-4-1. 外気温連動制御……57
3-4-2. ナイトセットバック制御……59
3-4-3. 連動制御……61
3-5. 換気設定……70
3-5-1. 24 時間換気設定……70
3-5-2. ナイトパージ設定……71
3-6. ユーザー設定……73
3-7. ユーティリティ……75
3-7-1. 設定データバックアップ／設定データ読み込み……75
3-8. オプション機能のライセンス登録……77
3-9. ソフトウェアのアップデート手順……78
3-9-1. 事前準備……78
3-9-2. 作業手順……80
4. 保証とアフターサービス……82
4-1. 保証について……82
4-2. 機器予防保全の目安・消耗部品の交換周期目安……82
4-3. 交換について……82
4-4. 移設について……82
4-5. お問い合わせ……83
5. Web ブラウザ接続時の注意点……84
5-1. 一時ファイルを削除する……84
5-1-1. JAVA の一時ファイルを削除する……84
5-1-2. Internet Explorer の一時ファイルを削除する……85
5-2. Internet Explorer をリセットする……86
添付 .Ver7.20 での追加機能について……87

1. ご使用の前に

1-1. はじめに

本書では、Web ブラウザから AE-200J/AE-50J/EW-50J の初期設定を行う手順について説明します。

お知らせ

- AE-200Jの初期設定用Webでは、接続しているAE-50J/EW-50Jの設定はできません。AE-50J/EW-50J各々で設定する必要があります。

1-2. 本書の表記について

AE-200J/AE-50J/EW-50J 本体の CN7 に計量用のパルス信号を入力することで、計量用計測コントローラ無しで電力量等を計測する事ができます。本書ではこの方式を「計量用パルス入力」と表記します。

- 本書では、「外気処理ユニット（LGH-N**RDF)」は「加熱加湿付ロスナイ」と呼びます。
- 本書で使用している画面イメージは、Windows 7® および Internet Explorer 9.0 からのものです。

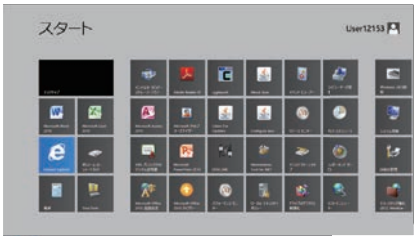
お知らせ

- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

1-3. 動作環境

項目	要件
CPU	1GHz 以上
メモリ	512MB 以上
画面解像度	1366 × 768 以上推奨
対応ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 8.0 Microsoft® Internet Explorer 9.0 Microsoft® Internet Explorer 10.0 Microsoft® Internet Explorer 11.0 * Java 実行環境が必要です。 （Oracle® Java プラグインバージョン 1.8.0_25 で動作確認をしています。） * お使いのオペレーティングシステムに適した Oracle® Java プラグインをインストールしてください。64 ビット版 Internet Explorer を使用する場合は、64 ビット版 Java プラグインをインストールしてください。 * Oracle® Java プラグインのバージョンは、コントロールパネルの **[Java]** をクリックして確認できます。
内蔵 LAN ポートまたは LAN カード	100BASE-TX
ポインティングデバイス	マウスなど

Windows の OS に指定はありませんが、Windows8.1 のスタート画面で Web ブラウザを立ち上げた場合は、動作できません。スタート画面で IE を起動した場合は一度 Web ブラウザを閉じて、デスクトップ画面に切替えた上で再度 Web ブラウザを起動してください。
画面の切替え方法については Windows8.1 のヘルプ機能を参照ください。



スタート画面

デスクトップ画面

お知らせ

- Microsoft は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Oracle および Java は、米国 Oracle Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

WT07134X02

1-4. 統合ソフト（TG-2000）利用時の注意点

統合ソフト（以下 TG-2000）が接続されているシステムの場合、TG-2000 と AE-200J/AE-50J/EW-50J の保持データが一致するよう、設定および変更は TG-2000 から行ってください。

お願い

- TG-2000 Ver.6.61 以降を使用してください。

2. PC 環境設定

この章では、空調機を状態監視／操作するためのパソコン設定および Web ブラウザ設定について説明します。

2-1. PC の IP アドレスの設定

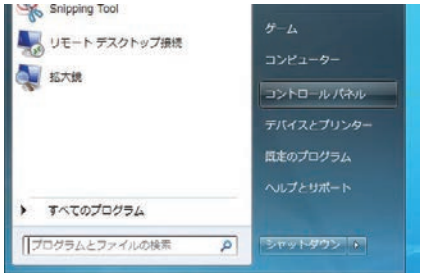
AE-200J/AE-50J/EW-50J に Web ブラウザで接続できるように、パソコンの IP アドレスを設定します。
パソコンのIPアドレスは、AE-200J/AE-50J/EW-50JのIPアドレスと同一系統のネットワークアドレスを設定します。
（例えば、AE-200J の IP アドレス："192.168.1.1"、パソコンの IP アドレス："192.168.1.101"）
既設 LAN に AE-200J/AE-50J/EW-50J を接続する場合は、システム管理者に相談し、IP アドレスを決定してください。

お知らせ

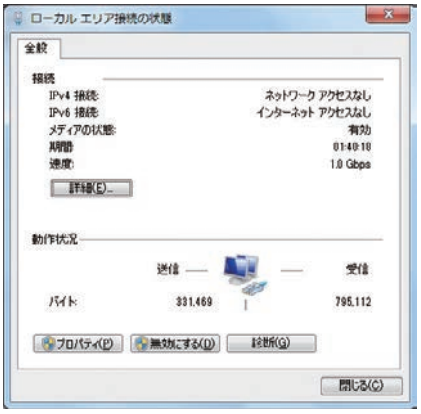
- AE-200J/AE-50J/EW-50J 専用 LAN を使用する場合は、AE-200J 本体に "192.168.1.1" ～ "192.168.1.40" の IP アドレス、AE-50J/EW-50J 本体に "192.168.1.211" ～ "192.168.1.249" の IP アドレス、を割り当て、AE-200J/AE-50J/EW-50J に接続したパソコンに "192.168.1.101" ～ "192.168.1.150" の IP アドレスを割り当てることを推奨します。

手順

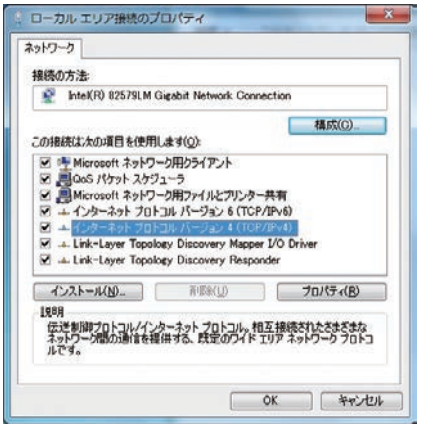
1. スタートメニューの **[コントロールパネル]** をクリックし、コントロールパネルを開きます。



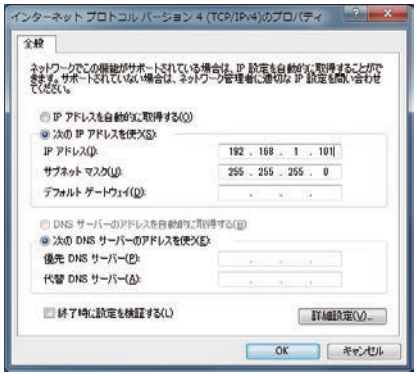
2. **[ネットワークと共有センター]** – **[ローカルエリア接続]** をクリックします。
ローカルエリア接続の状態画面で、**[プロパティ]** をクリックします。



3. **[インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IPv4）]** をクリックして選択し、**[プロパティ]** をクリックします。



4. インターネットプロトコルバージョン４（TCP/IPv4）のプロパティ画面で、**[次の IP アドレスを使う]** のラジオボタンをチェックし、「IP アドレス」にパソコンの IP アドレス（例えば、"192.168.1.101"）を入力します。「サブネットマスク」欄には "255.255.255.0"（特に指定のない場合）を入力します。
「デフォルトゲートウェイ」欄には、必要に応じてゲートウェイアドレスを入力します。



お願い

- 設定する IP、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスは、システム管理者にご確認ください。
- 変更前の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはメモしておいてください。

5. **[OK]** または **[閉じる]** をクリックして、すべての画面を閉じてネットワークの設定を完了します。

2-2. Web ブラウザ設定

Web ブラウザ設定は、インターネット接続方法によって異なります。インターネット接続方法により下節を参照して Web ブラウザの設定を行ってください。

お願い

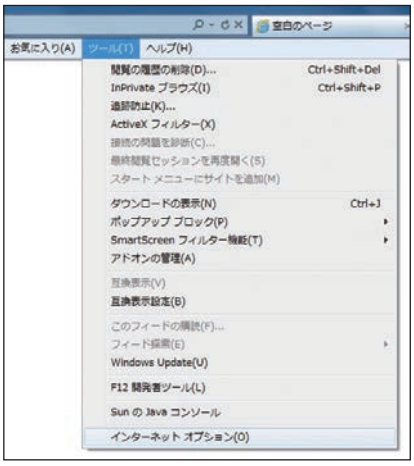
- AE-200J/AE-50J/EW-50J をインターネットに接続するときは、不正アクセスを防ぐため、必ず VPN ルーターなどのセキュリティ装置を使用してください。

2-2-1. インターネット接続しない場合

インターネット接続なしでパソコンから空調機を状態監視／操作するには、以下の手順に従って Web ブラウザの環境を設定します。

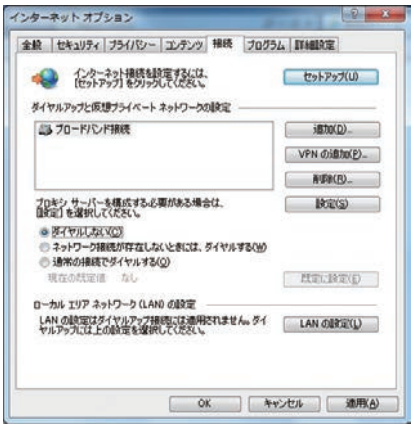
手順

1. メニューバーの [**ツール**] − [**インターネットオプション**] をクリックします。



2. インターネットオプション画面で、[**接続**] タブをクリックします。

3. 画面中央にある [**ダイヤルしない**] のラジオボタンをチェックし、[OK] をクリックして設定を完了します。

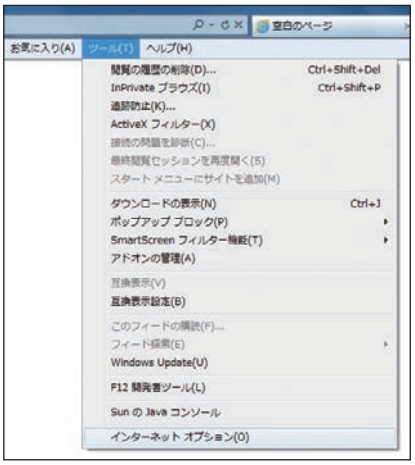


2-2-2. 既設 LAN を利用したプロキシサーバー経由でインターネット接続する場合

社内 LAN などの既設 LAN に接続し、プロキシサーバー経由でインターネットに接続したパソコンから空調機を状態監視／操作するには、以下の手順に従って Web ブラウザの環境を設定します。

手順

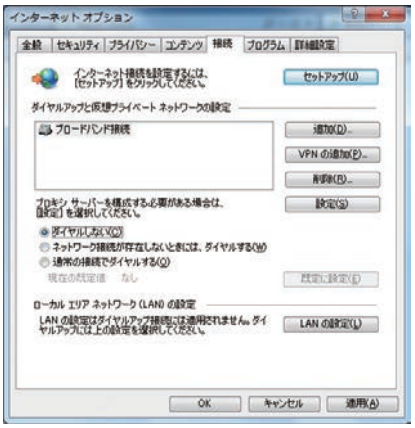
1. メニューバーの **[ツール]** − **[インターネットオプション]** をクリックします。



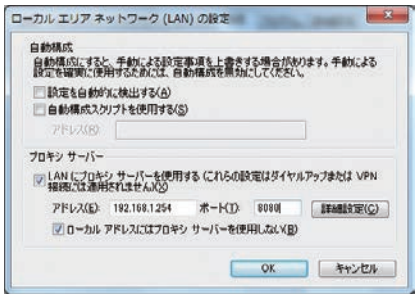
2. インターネットオプション画面で、**[接続]** タブをクリックします。

3. 画面中央にある **[ダイヤルしない]** のラジオボタンをチェックします。

4. 「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」の **[LAN の設定]** をクリックします。

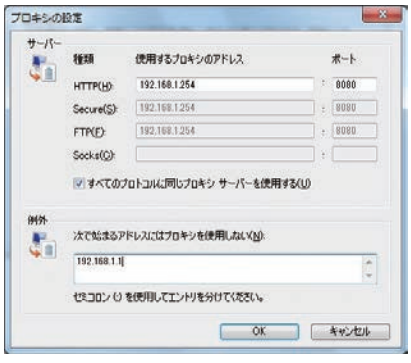


5. ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定画面で、**[ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない]** をチェックし、**[詳細設定]** をクリックします。



6. プロキシの設定画面で、「例外」に AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレス（例えば、"192.168.1.1"）を入力し、**[OK]** または **[閉じる]** をクリックして、すべての画面を閉じて設定を完了します。

   なお、複数の AE-200J/AE-50J/EW-50J を接続する場合は、"192.168.1.1; 192.168.1.2" のように複数の IP アドレスを入力します。また、ワイルドカードとしてアスタリスクを使用して "192.168.1.*" と指定することも可能です。

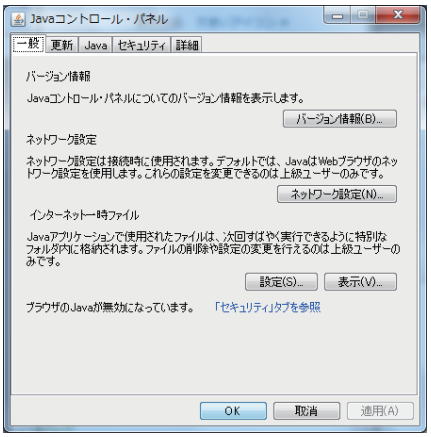


2-3. JAVA の設定

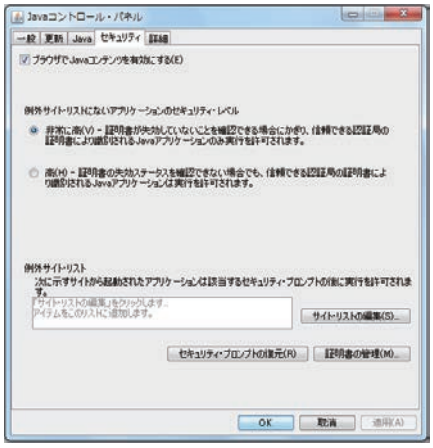
2-3-1. JAVA の例外サイト・リストを登録する。

手順

1. **[コントロールパネル]** を開き、Java のコントロールパネルを開いてください。
   画面右上の **[表示方式]** が **[カテゴリ]** になっている場合、これをクリックして **[大きいアイコン]** または **[小さいアイコン]** に変更してください。
2. Java コントロールパネルの **[セキュリティ]** タブをクリックしてください。



3. セキュリティ設定画面が開きます。
   [サイト・リストの編集] をクリックしてください。

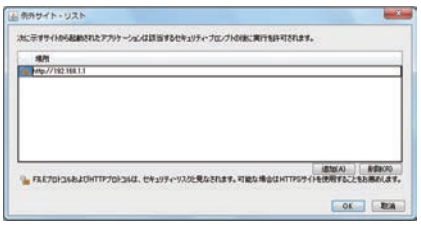


4. 例外サイト・リスト画面が開きます。
   [追加] をクリックしてください。

5. 例外サイト・リスト画面が開きます。
   「場所」の行に以下を入力します。

   http://(AE-200J または AE-50J または EW-50J の IP アドレス)

   【例】AE-200J　IP アドレスが 192.168.1.1 を登録する場合
   http://192.168.1.1
   ※ SSL を利用する場合は、
   https://(AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレス)

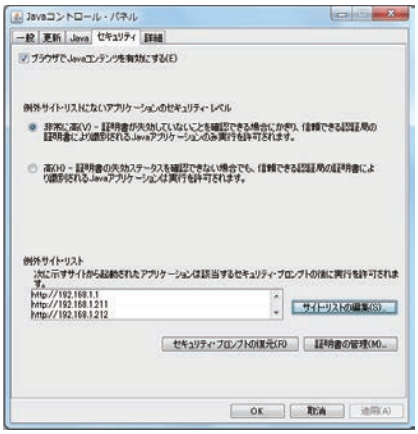


6. セキュリティー警告画面が開きます。
[**続行**] をクリックします。

お知らせ

- https を設定した場合は表示されません。

7. 同様に AE-200J/AE-50J/EW-50J を登録後、**[OK]** をクリックします。



8. 32bit 版の OS の PC を使用している場合は、設定終了後、開いている InternetExplorer を一度全て閉じてから、再度 Web ページへアクセスして接続できることを確認してください。
64bit 版の OS の PC を使用している場合は、**9.** へ進んでください。
9. [マイコンピュータ] → [ローカルディスク（C）] → [Program File（x86)] ※1 → [Java] → [jre ※（※にはバージョンが入ります。例：jre1.80_25)] → [bin] の順に選択し、[bin] フォルダを開いてください。
※ 1　Program Files は、64bit のパソコンの場合、[Program Files] と [Program Files（x86)] の2種類が表示されます。[Program Files（x86)] の方を選択してください。

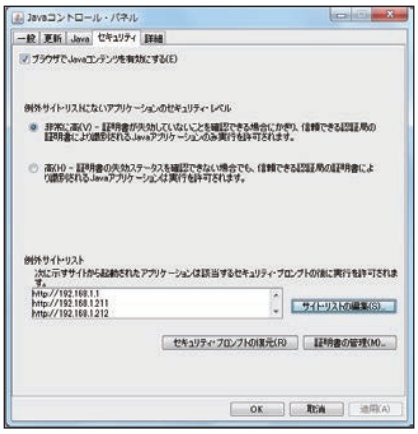
10. [bin] フォルダ内にある javacpl.exe のファイルをダブルクリックします。

11. Java コントロールパネルが開きますので、再度、**3.** ～ **8.** を行ってください。

2-3-2. JAVA コンテンツを有効にする

手順

1. セキュリティ設定画面を開きます。前項参照
2. **[ブラウザで Java コンテンツを有効にする]** にチェックが入っていない場合は、チェックボックスをクリックしてください。チェックされたことを確認し、画面右下の **[適用]** をクリック後、**[OK]** をクリックして画面を閉じてください。



3. 設定終了後、開いている InternetExplorer を一度全て閉じてから、再度 Web ページへアクセスして接続できることを確認してください。

2-4. 初期設定用 Web ブラウザへのログイン

手順

1. Web ブラウザのアドレス欄に以下の Web ページアドレスを入力します。
   http://(AE-200J または AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/init/administrator.html

2. **[Enter]** キーを押します。ログイン画面が表示されます。

お知らせ

- AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレスが "192.168.1.1" の場合、Web ページアドレスは "http://192.168.1.1/init/administrator.html" です。

- AE-200J、AE-50J/EW-50J 共に工場出荷時の IP アドレスは "192.168.1.1" です。

- AE-50J/EW-50J 接続時は、それぞれの IP アドレスが重複しないように設定してください。
  推奨の IP アドレス
  AE-200J："192.168.1.1" ～ "192.168.1.40"
  AE-50J/EW-50J（台数拡張時）："192.168.1.211" ～ "192.168.1.249"
  EW-50J（単体利用時）："192.168.1.1" ～ "192.168.1.40"
  IP アドレスの変更方法は、「3-1-2. 基本システム [6] ネットワークの設定」参照（23 ページ）

- ログイン画面が現れない場合には、「5. Web ブラウザ接続時の注意点」を参照してください。

- Web ページは、利用しているパソコンと同じ言語で表示されます。
  以下のように Web ページアドレスを入力して他の言語でも表示できます。

中国語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/init/**zh**/administrator.html
英語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/init/**en**/administrator.html
フランス語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/init/**fr**/administrator.html
ドイツ語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/init/**de**/administrator.html
イタリア語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/init/**it**/administrator.html
日本語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/init/**ja**/administrator.html
ポルトガル語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/init/**pt**/administrator.html
ロシア語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/init/**ru**/administrator.html
スペイン語	http://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/init/**es**/administrator.html

- Web ページアドレスをお気に入りに追加すれば、今後容易にアクセスできます。
  ただし、お気に入りに登録する際は、必ずログイン画面で登録を行ってください。

3. ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力し、**[ログイン]** をクリックすると、設定画面が表示されます。下表に、メンテナンスユーザーと管理者ユーザーの初期ユーザー名、パスワード、および使用できる機能を示します。

<table>
<tr><th>ユーザー</th><th>初期
ユーザー名</th><th>初期
パスワード</th><th colspan="2">使用できる機能</th></tr>
<tr><td rowspan="7">メンテナンス
ユーザー</td><td rowspan="7">initial</td><td rowspan="7">init</td><td>初期設定</td><td>現在日時設定、基本システム、グループ設定、
連動ロスナイ設定、ブロック設定</td></tr>
<tr><td>機能設定 1</td><td>メール設定、ピークカット設定、ET 制御設定、
高顕熱制御設定、アドバンストパワーセーブ設
定、サーモ OFF 時送風設定、計測設定、エネル
ギー管理設定</td></tr>
<tr><td>機能設定 2</td><td>設定温度範囲制限、ナイトモードスケジュール、
オートチェンジオーバー</td></tr>
<tr><td>機能設定 3</td><td>外気温連動制御、ナイトセットバック制御、
連動制御</td></tr>
<tr><td>換気設定</td><td>24 時間換気設定、ナイトパージ設定</td></tr>
<tr><td>ユーザー設定</td><td>ユーザー設定</td></tr>
<tr><td>ユーティリティ</td><td>設定データバックアップ／読み込み</td></tr>
<tr><td>管理者
ユーザー</td><td>administrator</td><td>admin</td><td colspan="2">上に示した機能から、[ユーザー設定] 画面でアクセス権が与えられた項目が使用できます。</td></tr>
</table>

お知らせ

- 管理者ユーザーは、管理者用 Web ブラウザでも同じユーザー名とパスワードを使用します。
- メンテナンスユーザーは、管理者ユーザーが使用できる機能を指定できます。詳細については、第 3-6 章「ユーザー設定」を参照してください。
- メンテナンスユーザーおよび管理者ユーザー以外のユーザーが設定を変更できないように、初期ユーザー名とパスワードを変更することを推奨します。

お願い

- AE-50J/EW-50J を接続したときの初期設定について
  AE-200J 1 台に AE-50J/EW-50J は最大で 3 台（AE-200J に空調機を接続しない場合は 4 台）接続することができます。本書で示す初期設定は、お使いのすべての AE-200J/AE-50J/EW-50J で行う必要があります。すべての AE-200J/AE-50J/EW-50J に Web ブラウザでログインし、お使いになる機能に応じて初期設定を完了させてください。

2-4-1. HTTPS 接続

本機は、HTTPS（SSL）方式を利用して通信データを暗号化することができます。
不特定多数のユーザーがアクセスできる LAN に本機を接続する場合は、以下の設定を行って、暗号化された Web ページで機器を状態監視／制御することが推奨されます。

お知らせ

- オペレーティングシステムまたは Java のバージョン等により、HTTPS 暗号化通信が正しく有効にならない場合があります。この場合は、「2-4. 初期設定用 Web ブラウザへのログイン」を使用してください。

手順

1. Web アドレスの前に "https://" を付け、以下のアドレスを入力して、[Enter] キーを押します。

   https://(AE-200J、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/init/administrator.html

   例：AE-200J の IP アドレスが "192.168.1.1" の場合、Web ページアドレスは "https://192.168.1.1/init/administrator.html" となります。

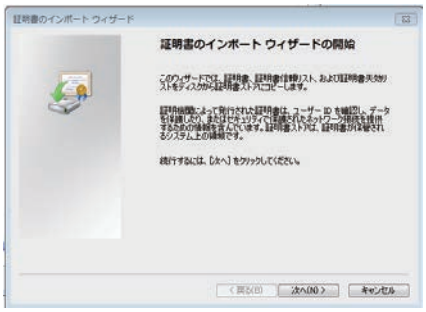
   暗号化データ通信が開始され、ログイン画面が表示されます。
   ログイン画面の代わりにセキュリティ証明書エラーページが表示される場合は、手順 **2** に進みます。

2. Web ブラウザのアドレス欄に以下の Web ページアドレス **http://(AE-200J 、AE-50J または EW-50J の IP アドレス)/ cacert.cer** を入力して、[Enter] キーを押します。

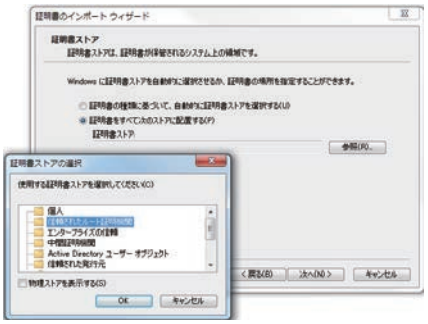
3. ファイルのダウンロードを確認する通知バー、もしくは画面が表示されるので、**［開く］** をクリックします。

4. 証明書の情報画面が表示されるので、**［証明書のインストール］** をクリックします。

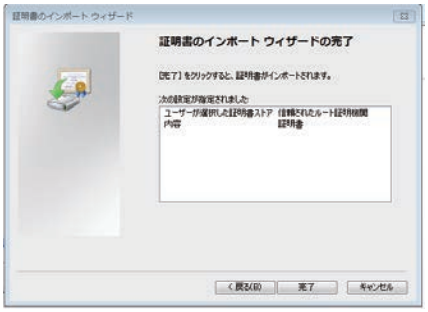
5. 証明書のインポートウィザードの開始画面が表示されるので、**[次へ]** をクリックします。



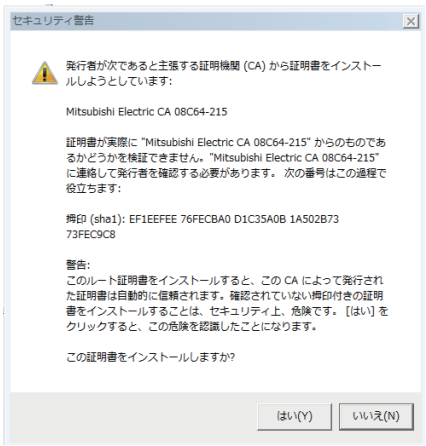
6. 保存する証明書ストアの選択画面が表示されるので、**「証明書をすべて次のストアに配置する」** を選択、**[参照]** をクリックして **[信頼されたルート証明期間]** を選択し、**[OK]** をクリックし、**[次へ]** をクリックします。



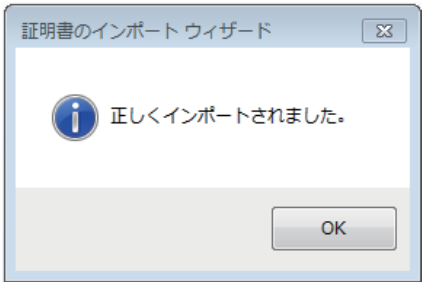
7. 証明書のインポートウィザードの完了画面が表示されるので、**[完了]** をクリックします。



8. 証明書のインストール確認画面が表示されるので、**[はい]** をクリックします。



9. 証明書のインポート処理が開始され、インポート終了のメッセージが表示されますので、**[OK]** をクリックします。



お知らせ

- 証明書の有効期間は 2014 年 4 月 1 日から 2051 年 1 月 1 日までとなります。
  PC の日付と時刻は有効期間内に設定してください。

3. 製品の据付時・移設時の調整

3-1. 初期設定

この章では、初期設定用 Web ブラウザで初期設定をする方法について説明します。

お知らせ

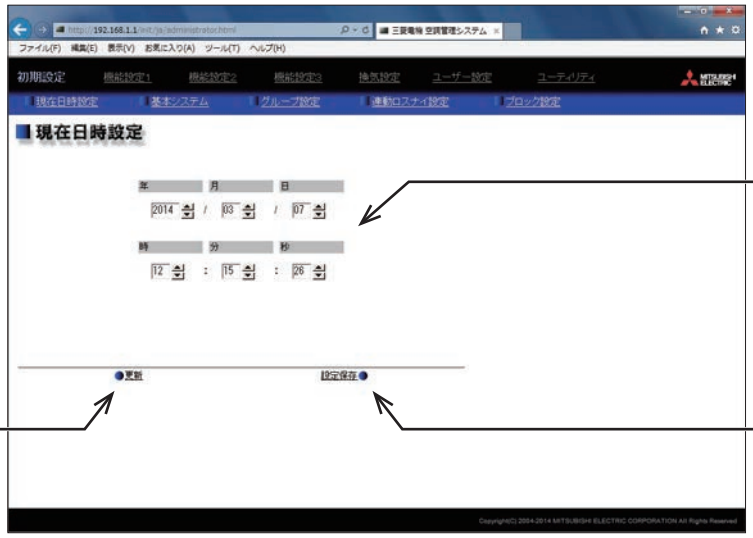
- **AE-50J/EW-50J を接続時は、AE-200J/AE-50J/EW-50J ごとの Web ブラウザ画面で設定を行う必要があります。**
  ただし、「3-1-1. 現在日時設定」、「3-1-2. 基本システム」のみ AE-200J の Web ブラウザで設定を行う必要があります。
- **AE-200J/AE-50J/EW-50J をまたがった設定はできません。**
- **TG-2000 が接続されているシステムの場合、TG-2000 と AE-200J/AE-50J/EW-50J の保持データが一致するよう、設定および変更は TG-2000 から行ってください。**

3-1-1. 現在日時設定

メニューの **[初期設定]** − **[現在日時設定]** をクリックして現在日時設定画面を開きます。
現在日時を入力後、**[設定保存]** をクリックして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

お知らせ

- 管理者ユーザーでログインした場合は、現在日時設定が禁止されていることがあります。
- この画面で設定された日時設定は、M-NET システム内の全ユニットと、「時刻マスタ設定」が **[サブ]** に設定されている AE-200J に即座に反映されます。
- 「時刻マスタ設定」が **[サブ]** に設定されている場合、この画面で日時を設定することはできません。
- AE-50J/EW-50J で現在時刻を変更した場合でも、1 日 1 回、AE-200J の現在時刻と同期されます。



現在日時設定
現在の日時を入力します。

更新
AE-200J/AE-50J/EW-50J から現在の日時を読み込みます。

設定保存
変更した設定を保存します。

手順

1. 現在日時を入力します。

お知らせ

- TG-2000 が接続されているシステムの場合、TG-2000 と AE-200J/AE-50J/EW-50J の時刻が一致するように、設定および変更は TG-2000 から行ってください。
- AE-50J、汎用インターフェース（PAC-YG66DC）、環境用計測コントローラ（PAC-YG63MC）、計量用計測コントローラ（PAC-YG60MC）を新たに接続した場合、これらのユニットに現在日時を設定するために、この画面で日時設定を行ってください。

3-1-2. 基本システム

メニューの [**初期設定**] − [**基本システム**] をクリックして基本システム画面を開きます。
ここでは AE-200J/AE-50J/EW-50J 本体の設定、ネットワーク設定、M-NET 設定などの各種基本設定を行います。設定内容入力後は、[**設定保存**] をクリックして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。AE-200J/AE-50J/EW-50J の再起動を行う旨のメッセージが表示されますので、**[OK]** をクリックして AE-200J/AE-50J/EW-50J を再起動し、変更内容を反映させます。

お知らせ

- 管理者ユーザーでログインした場合は、基本システム設定が禁止されていることがあります。

本体の設定
AE-200J/AE-50J/EW-50J の名称と識別番号を設定します。

ネットワークの設定
AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスとサブネットマスクを設定します。

表示の設定
AE-200J/AE-50J/EW-50J と Web ブラウザの画面表示項目を設定します。

更新
AE-200J/AE-50J/EW-50J から設定を読み込みます。

M-NET の設定
AE-200J/AE-50J/EW-50J の M-NET アドレスと操作禁止範囲を設定します。

外部入出力の設定
AE-200J/AE-50J/EW-50J の外部信号入出力モードを設定します。

高度な設定
高度な設定を行う画面を表示します。

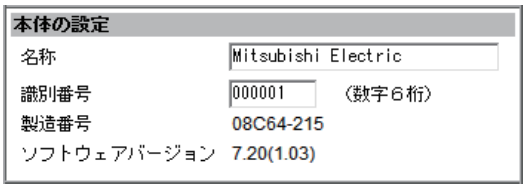
設定保存
設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

[1] 本体の設定

「本体の設定」で AE-200J/AE-50J/EW-50J の名称と識別番号を設定します。
AE-200J/AE-50J/EW-50J の製造番号とソフトウェアバージョンが表示されます。

お知らせ

- AE-50J/EW-50J を接続している場合、それぞれで名称、識別番号とも設定が必要です。



手順

1. 「名称」に 40 文字以内の英数字または記号でユニット名称を入力します。ここで入力した名称は、異常メール通報および警告メールの送信者名としても使用されます。

   お知らせ

   - 「名称」では、次の文字は使用できません：＜＞＆ " '

2. 「識別番号」に 6 桁の数字で識別番号を入力します。AE-200J/AE-50J/EW-50J を別番号で管理する場合にご利用ください。ここで入力した識別番号は、異常メールおよび警告メールの送信者識別番号としても使用されます。

[2] M-NET 設定

手順

1. 「M-NET アドレス」に **[0]** を入力します（特に指定がない場合）。

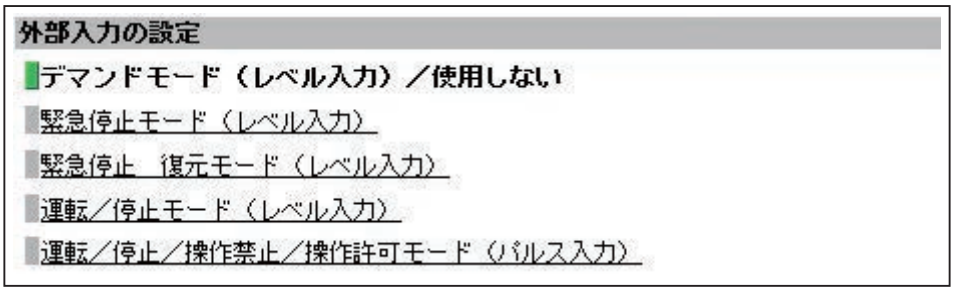
2. 管理者用 Web ブラウザで手元リモコン操作が禁止されている場合に、下位システムコントローラとリモコンの両方からの操作を禁止するには、**[SC・RC]** を選択し、リモコンからのみの操作を禁止するには、**[RC のみ]** を選択します。

[3] 外部入力の設定

外部接点入力の設定部で、外部接点入力機能を設定します。外部接点入力機能を用いると、別売の外部入出力アダプタ（PAC-YG10HA）を介して接点信号やパルス信号で空調機の一括停止、一括運転などが可能となります。

お知らせ

- デマンドコントローラと接続して、デマンドレベル（1 ～ 4）信号を入力することで、ピークカット制御ができます。
- ピークカット制御を使用する場合は、別途省エネ制御（ピークカット）ライセンスが必要です。
- ピークカット制御の設定は、「3-2-2. ピークカット設定（省エネ制御）」参照（37 ページ）
- AE-200J/AE-50J/EW-50J のそれぞれで外部入力の設定を行ってください。
- 異常状態の出力を行う場合は、AE-200J/AE-50J/EW-50J それぞれの外部出力への接続が必要です。
- 汎用インターフェース (PAC-YG66DC) は外部接点入力機能の一括停止、一括運転の対象外です。ただし、**[緊急停止モード (レベル入力)][緊急停止　復元モード (レベル入力)]** を選択している場合は汎用インターフェース (PAC-YG66DC) のスイッチ設定により一括停止の対象となります。
- 設定方法の詳細は据付工事説明書をご確認ください。

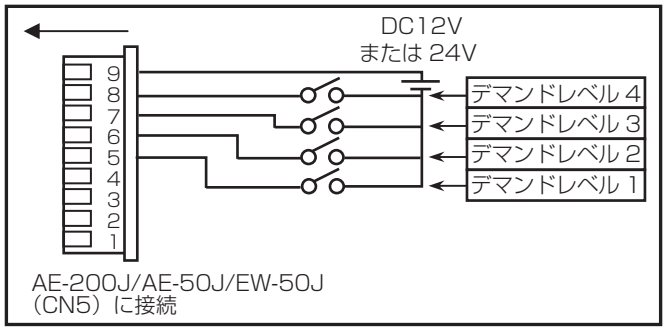


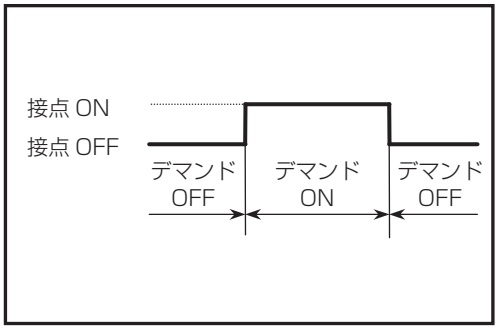
手順

1. デマンドレベルをレベル信号で入力する場合または、外部接点入力機能を使用しない場合は **[デマンドモード（レベル入力）／使用しない]** を選択してください。

お知らせ

- デマンドレベルの本機への接点入力仕様等の詳細については、据付工事説明書をご覧ください。

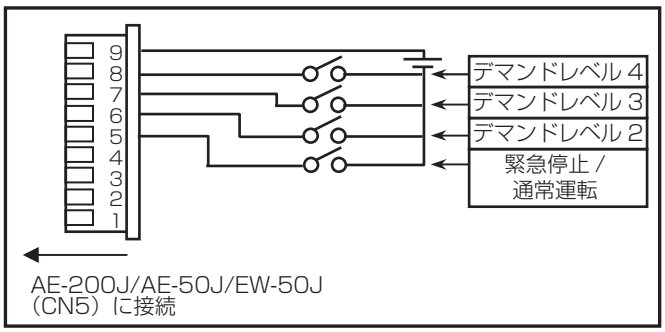


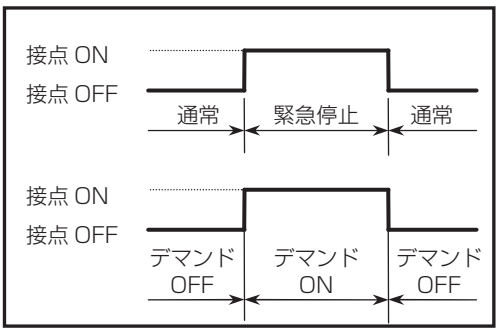


2. **[緊急停止モード (レベル入力)]** を選択した場合、レベル信号による一括停止が行えます。一括停止中は AE-200J/AE-50J/EW-50J 本体やリモコンの運転／停止操作が禁止となります。また、デマンドレベルの入力ができます。

お知らせ

・ デマンドレベルの本機への接点入力仕様等の詳細については、据付工事説明書をご覧ください。

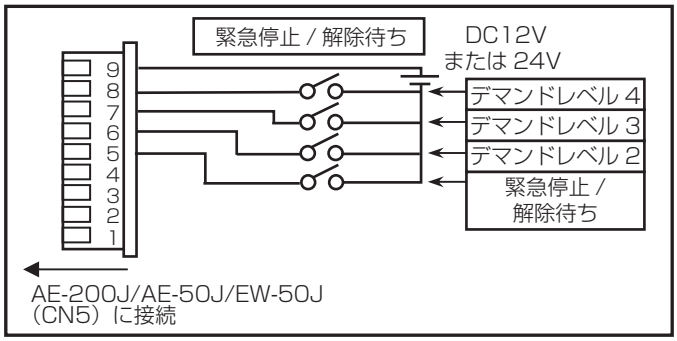


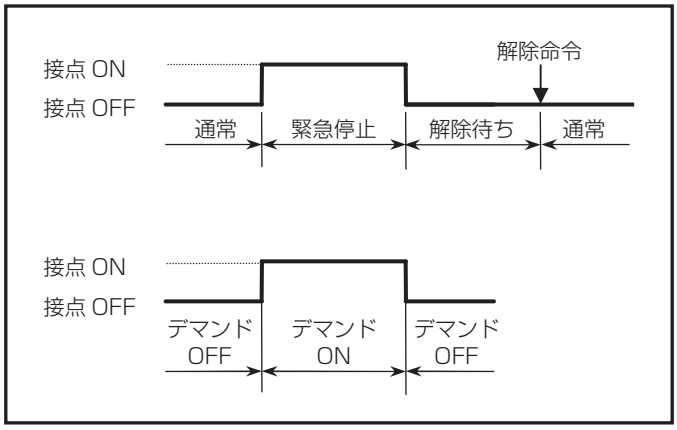


3. **[緊急停止　復元モード (レベル入力)]** を選択した場合、レベル信号による一括停止が OFF になった後も停止状態を維持し、上位機器（Facima BASystem）から解除を行う際に、解除時の運転状態を選択できます。
また、デマンドレベルの入力ができます。
※ Facima BASystem については、三菱電機ビルテクノサービス株式会社にお問い合わせください。

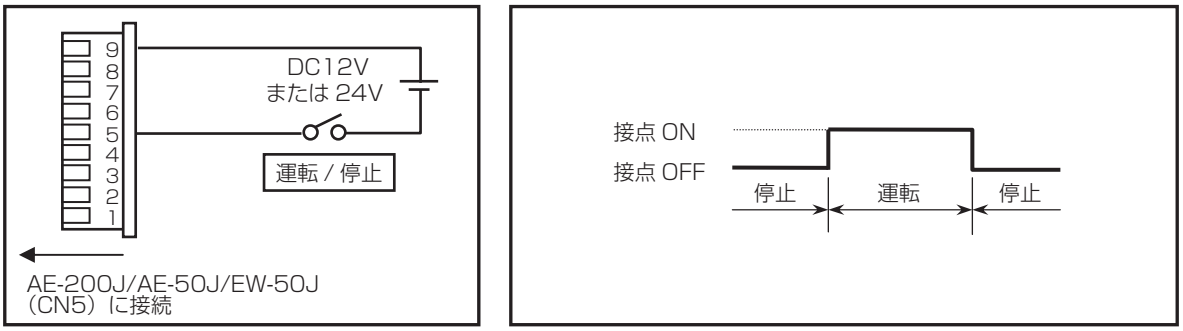
お知らせ

・ デマンドレベルの本機への接点入力仕様等の詳細については、据付工事説明書をご覧ください。

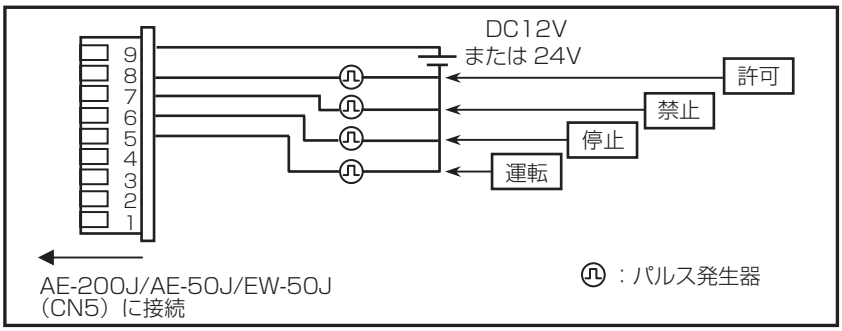


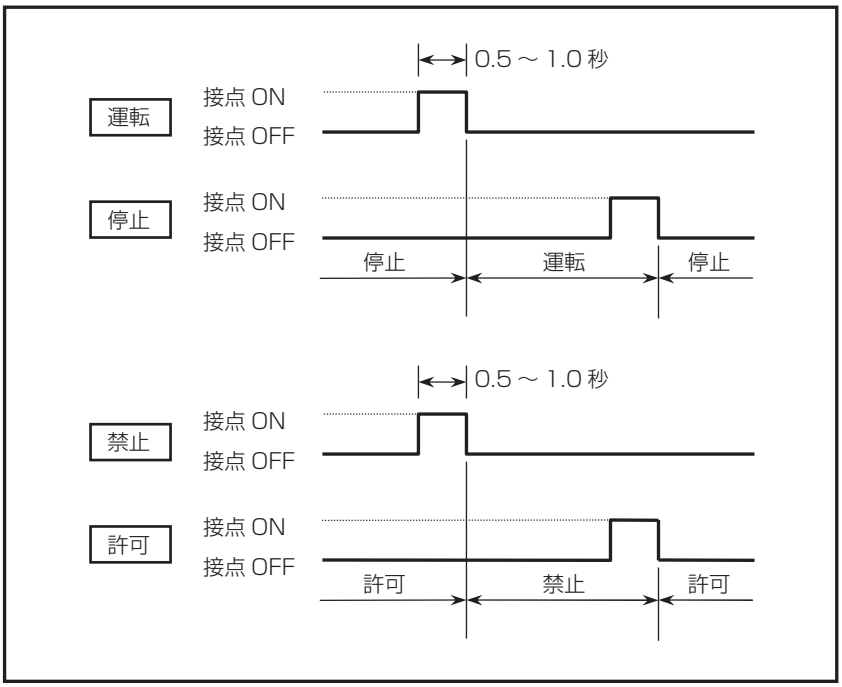


4. **[運転／停止モード (レベル入力)]** を選択した場合、レベル信号による一括運転、一括停止が行えます。このモードでは、AE-200J/AE-50J/EW-50J に接続される全空調機は常に一括運転か一括停止かのどちらかとなり、AE-200J/AE-50J/EW-50J 本体やリモコンの運転／停止操作が禁止となります。



5. **[運転／停止／操作禁止／操作許可モード (パルス入力)]** を選択した場合、パルス信号による一括運転、一括停止、手元操作禁止、手元操作許可が行えます。このモードでは、操作禁止入力時以外はリモコンから操作可能です。





[4] 外部出力の設定

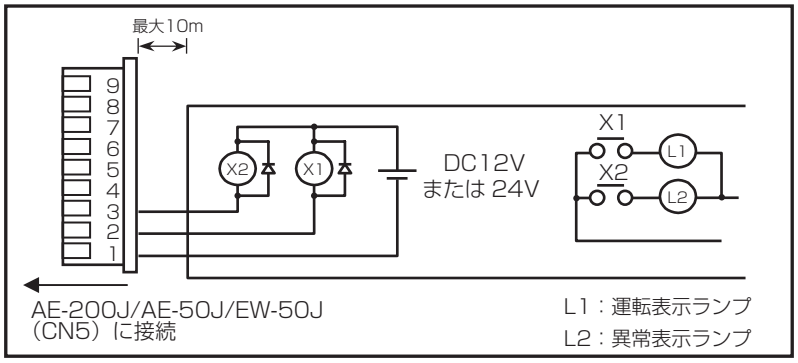
外部信号出力機能を使用することにより、レベル信号で AE-200J/AE-50J/EW-50J の全系統内に接続されている空調機の運転状態、異常状態を出力します。1 台以上の空調機が運転している場合は、「運転」信号が出力されます。1 台以上の空調機に異常が発生している場合に、「異常」信号が出力されます。
別売の外部入出力アダプター（PAC-YG10HA）が必要です。

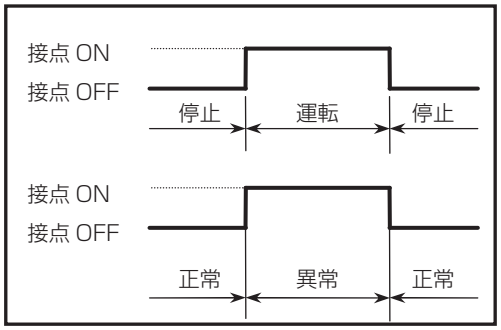
手順

1. 設定は必要ありません。工場出荷時の **[運転・停止 / 異常・正常]** のままにしてください。

お知らせ

[異常警報出力 / 異常] に設定した場合、外部出力は行われません。





[5] 高度な設定

(1) 時刻マスタ／サブ設定

「時刻マスタ設定」で **[マスタ]** または **[サブ]** を設定します。
接続されている機器を 2 台以上の AE-200J で監視･操作する場合、1 台を **[マスタ]**、それ以外の AE-200J を **[サブ]** に設定してください。
「時刻マスタ設定」でサブとして設定された AE-200J は、マスタとして設定した AE-200J の時刻に自動的に同期します。

お知らせ

- AE-200J が 1 台の場合はマスタ（工場出荷設定）に設定してください。
- AE-50J は複数台接続していても、全てマスタ（工場出荷設定）に設定してください。

(2) スケジュール　季節設定

「スケジュール　季節設定」で、有効／無効を設定します。週間スケジュールで季節設定を有効にするには **[有効]** を、無効にするには **[無効]** を選択します。特に指定のない限り、工場出荷時の設定の **[有効]** のままにしておきます。

お知らせ

- AE-200J で本設定を行うと、AE-50J/EW-50J にも反映されます。

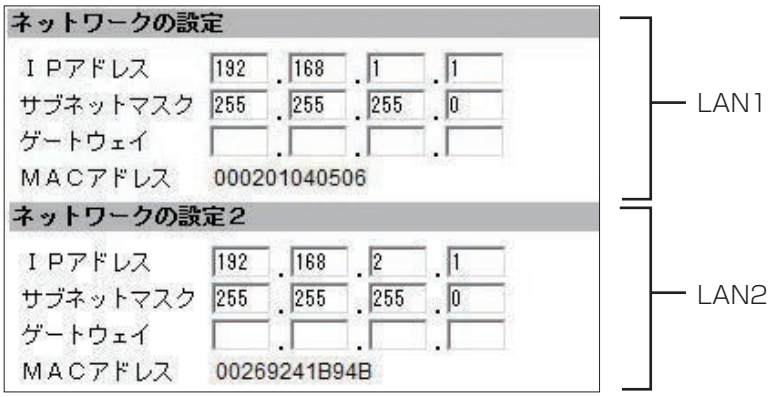
(3) 旧機種互換モード

「旧機種互換モード」で、**[オン]** または **[オフ]** を選択します。
デュアルオートモードが対応している室内ユニットと非対応の室内ユニットが混在している場合、**[オン]** を選択することで、非対応に統一することができます。
[オン] を選択した場合、デュアルオートモード、手元リモコンの操作禁止（タイマー、風向、風速）は使用できません。

[6] ネットワークの設定

「ネットワークの設定」は、AE-200J/AE-50J/EW-50J を専用 LAN に接続するか既設 LAN に接続するかによって異なります。

下節を参照して AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを設定してください。



お知らせ

- 「ネットワークの設定 2」（LAN2）の「IP アドレス」、「サブネットマスク」、および「ゲートウェイ」のアドレス設定は不要です。ただし、LAN2 の IP アドレスの初期値は "192.168.2.1" になっていますので、「ネットワークの設定」（LAN1）の IP アドレスを "192.168.2.1" にする必要がある場合のみ、LAN2 の IP アドレスを LAN1 と重複しないように変更してください。
- AE-200J の IP アドレスを変更した際には、AE-50J/EW-50J も再起動されます。

(1) AE-200J/AE-50J/EW-50J を専用 LAN に接続する場合の設定

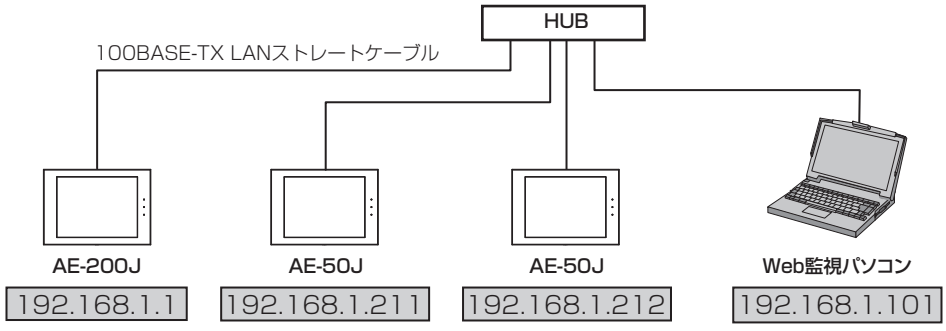
手順

1. 「IP アドレス」に各 AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスを入力します。LAN を新設した場合は、AE-200J の IP アドレスを "192.168.1.1" から順に割り当てます。例えば、1 台目の AE-200J の IP アドレスを "192.168.1.1"、2 台目の AE-200J は "192.168.1.2" などです。AE-50J/EW-50J の IP アドレスの設定は、"192.168.1.211" から順に割り当てます。

   お知らせ

   - 推奨する IP アドレス範囲は以下の通りです。
     AE-200J："192.168.1.1" ～ "192.168.1.40"
     EW-50J（単独）："192.168.1.1" ～ "192.168.1.40"
     AE-50J/EW-50J（拡張）："192.168.1.211" ～ "192.168.1.249"
     パソコン："192.168.1.101" ～ "192.168.1.150"

   [IP アドレス設定例]



   お知らせ

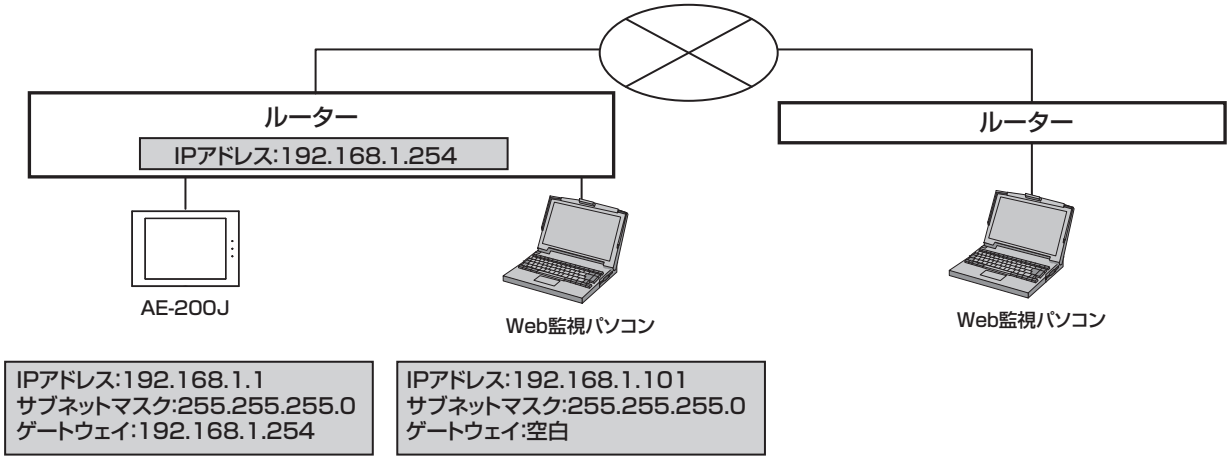
   - HUB によっては、HUB 同士を接続する専用ポートを備えています。
     AE-200J/AE-50J/EW-50J と Web 監視パソコンは、通常ポートに接続してください。
   - 複数の AE-200J を接続する場合も同様に、IP アドレスが重複しないように設定してください。

2. 「サブネットマスク」に "255.255.255.0" を入力します（特に指定がない場合）。

3. ブロードバンドルーター経由でシステムを遠隔で監視する場合、またはメール機能を使用する場合は、「ゲートウェイ」

にルーターの IP アドレスを入力します。
ブロードバンドルーターを接続しない場合は、「ゲートウェイ」を空白のままとしてください。

[遠隔監視システム例]



お知らせ

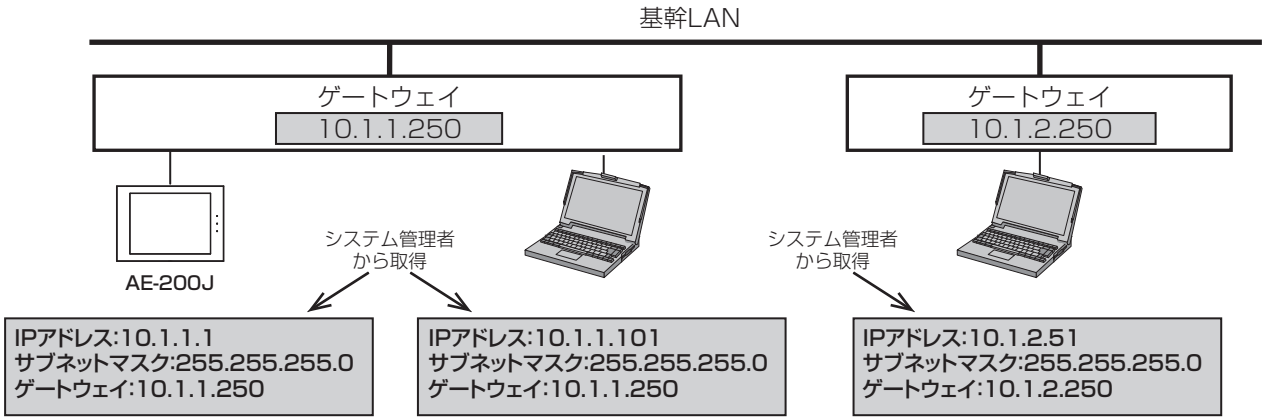
- ブロードバンドルーターの IP アドレスは "192.168.1.254" を設定することを推奨します。IP アドレスの設定方法は、ブロードバンドルーターの取扱説明書を参照してください。

(2) AE-200J/AE-50J/EW-50J を既設 LAN に接続する場合の設定

手順

1. AE-200J/AE-50J/EW-50J を既設 LAN に接続する場合は、システム管理者と相談し、IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを設定してください。

[既設 LAN システム例]



[7] 表示の設定

「表示の設定」で、表示関連の設定を行います。

手順

1. 「温度表示単位」で、温度単位を選択します。

2. 「圧力表示単位」で、**[MPa]**、**[PSI]**、または **[kgf/cm^2]** を選択します。

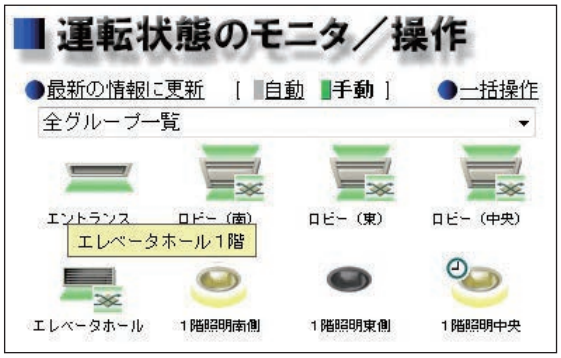
3. 「日付形式」で、年月日の表示形式を選択します。

4. 「時間形式」で、時間の表示形式を選択します。

5. 「一覧画面グループ名表示」で、**[運転状態のモニタ／操作]** 画面上のアイコンの下にグループ名を表示するかしないかを設定します。表示する場合は **[オン]** を、表示しない場合は **[オフ]** を選択します。

   お知らせ

   - アイコンの下に表示されるグループ名称は８文字までです。アイコンにカーソルを合わせるとグループ名称の全ての文字が表示されます。



6. 「フィルターサイン表示」で、フィルターサインの有無を設定します。表示する場合は **[オン]** を、表示しない場合は **[オフ]** を選択します。
   [オフ] に設定した場合、室内ユニットがフィルターサインを検出した場合でも、フィルターサインは **[運転状態のモニタ／操作]** 画面に表示されません。
   フィルターを定期的に清掃し、サイン表示が不要な場合は、**[オフ]** に設定してください。

7. 「室温表示（グループ一覧除く）」では、**[運転状態のモニタ／操作]** 画面のブロック一覧表示で温度表示の有無を選択します。
   温度を常に表示するには **[常時表示]**、運転中だけ表示するには **[運転中表示]**、常に表示しない場合は **[表示しない]** を選択します。

8. 「人感センサ表示」で、ME リモコン（PAR-F30ME）に搭載されている人感センサーで検知される在室／不在状態の表示／非表示設定を行います。
   [非表示] を選択すると、運転状態のモニタ／操作画面に「在室中／不在時」マークを表示しません。
   [在室マークを表示] を選択すると、リモコンのセンサーが在室を検知した場合に「在室中」マークを表示します。
   [不在マークを表示] を選択すると、リモコンのセンサーが不在を検知した場合に「不在時」マークを表示します。
   [在室／不在マークの両方を表示] を選択すると、検知状態に応じて「在室中」または「不在時」マークを表示します。

お知らせ

- 人感センサーが搭載されていない ME リモコン（PAR-F30ME）の場合は、在室／不在状態マークは、運転状態のモニタ／操作画面に表示されません。

在室状態マーク	不在状態マーク
（青色）	（灰色）

9. 「照度センサ表示」で、ME リモコン（PAR-F30ME）に搭載されている照度センサーで検知される明るい／暗い状態の表示／非表示設定を行います。
[非表示] を選択すると、運転状態のモニタ／操作画面に明るい／暗い状態マークを表示しません。
[明るいマークを表示] を選択すると、部屋の明るさレベルがあらかじめ設定された明るさレベルに達したときに明るい状態マークを表示します。
[暗いマークを表示] を選択すると、部屋の暗さレベルがあらかじめ設定された暗さレベルに達したときに暗い状態マークを表示します。
[明／暗マークの両方を表示] を選択すると、検知状態に応じて明るいまたは暗い状態マークを表示します。

お知らせ

- 照度センサーが搭載されていない ME リモコンの場合は、明るい／暗い状態マークは、運転状態のモニタ／操作画面に表示されません。
- 明／暗検知閾値は、ME リモコン（PAR-F30ME）で設定します。

明るい状態マーク	暗い状態マーク
（黄色）	（灰色）

3-1-3. グループ設定

メニューの **[初期設定]** − **[グループ設定]** をクリックしてグループ設定画面を開きます。AE-200J/AE-50J/EW-50J に接続される空調機、換気機器（ロスナイ）、加熱加湿付ロスナイ、または汎用機器のグループ登録を行います。設定内容入力後は、**[設定保存]** をクリックして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

お知らせ

- 管理者ユーザーでログインした場合は、一部の設定が禁止されていることがあります。

グループ番号

グループ名

更新
AE-200J/AE-50J/EW-50J から設定を読み込みます。

空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、および汎用機器登録
クリックして空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、および汎用機器を登録する画面を表示します。

システムコントローラ登録
クリックしてシステムコントローラを登録する画面を表示します。

リモコン登録
クリックしてリモコンを登録する画面を表示します。

設定保存
設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

[1] グループ名の設定

グループ名に、「グループ名称」を最大 20 文字で入力します。

お知らせ

- グループ名には、次の文字は使用できません：< > & " '

[2] 空調機、ロスナイ、または加熱加湿付ロスナイのグループ登録

手順

1. 空調機、ロスナイ、または加熱加湿付ロスナイをグループに登録するには、対象グループ名の隣の **[空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、および汎用機器登録]** をクリックし、ユニットアドレスの選択画面を表示します。

   [空調機] のラジオボタンをチェックし、登録するユニットのアドレス番号を選択します。
   選択したアドレスは、背景が黄緑色になります。
   選択を取り消したい場合は、再度クリックすることで非選択状態（背景が薄灰色）に戻ります。

   お知らせ

   - 1 グループには最大 16 台の空調機を登録できます。
   - 空調機、ロスナイ、および加熱加湿付ロスナイは、同一グループ内で汎用機器と組合せることはできません。汎用機器が登録されているグループを、空調機、ロスナイグループまたは加熱加湿付ロスナイグループに変更する場合、まず汎用機器の登録を取り消してください。
   - ロスナイを登録する場合は、24 時間換気やナイトパージの機能があるユニットとなしのユニットを同一グループに登録しないでください。
   - 既に他のグループに登録されているアドレスは、背景が灰色となり、選択できません。

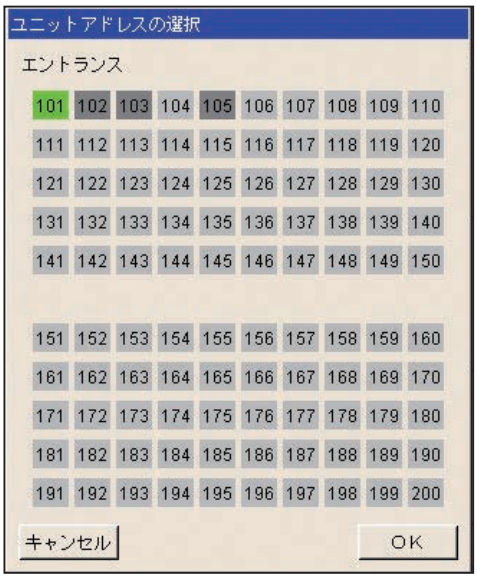
2. アイコンを変更するには、右または左矢印をクリックします。
   ここで選択したアイコンは、Web ブラウザ上に表示されます。

[3] リモコンのグループ登録

手順

1. リモコンをグループに登録するには、対象グループ名の隣の **[リモコン登録]** をクリックし、ユニットアドレスの選択画面を表示します。

   登録するリモコンのアドレス番号を選択します。
   選択したアドレスは、背景が黄緑色になります。
   選択を取り消したい場合は、再度クリックすることで非選択状態（背景が薄灰色）になります。



お知らせ

- 1 グループには最大 2 台のリモコンを登録できます。
- 1 グループにはリモコンとシステムコントローラを合わせて 4 台まで登録できます。
- MA リモコンをグループに登録する必要はありません。

[4] システムコントローラのグループ登録

手順

1. システムコントローラをグループに登録するには、対象グループ名の隣の **[システムコントローラ登録]** をクリックし、ユニットアドレスの選択画面を表示します。

   登録するシステムコントローラのアドレス番号を選択します。
   選択したアドレスは、背景が黄緑色になります。
   選択を取り消したい場合は、再度クリックすることで非選択状態（背景が薄灰色）になります。

お知らせ

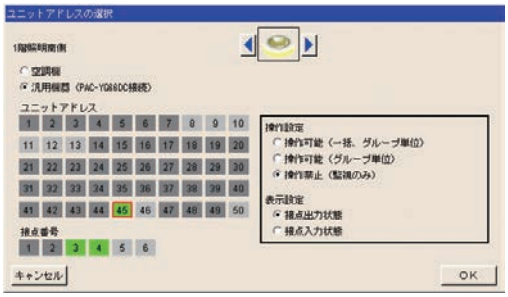
- 1 グループにはリモコンとシステムコントローラを合わせて 4 台 (AE-200J/AE-50J/EW-50J を除く) まで登録できます。

[5] 汎用機器のグループ登録

手順

1. 汎用機器をグループに登録するには、対象グループ名の隣の **[空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、および汎用機器登録]** をクリックし、ユニットアドレスの選択画面を表示します。

   [汎用機器（PAC-YG66DC 接続）] の隣のラジオボタンをチェックします。
   登録したい汎用機器が接続された汎用インターフェース（PAC-YG66DC）のユニット番号をクリックして選択状態（赤枠表示）にし、汎用機器が接続されている接点番号を選択します。
   選択を取り消したい場合は、再度クリックすることで非選択状態（背景が薄灰色）になります。



お知らせ

- 汎用インターフェース 1 台に汎用機器を最大 6 台登録できます。
- 各接点はそれぞれ 1 台（ユニット）と見なします。
- 1 グループには最大 16 ユニットの汎用機器（1 接点は 1 ユニット）を登録できます。
- 空調機、ロスナイ、および加熱加湿付ロスナイは、同一グループ内で汎用機器と組合せることはできません。
  空調機、ロスナイ、および加熱加湿付ロスナイが登録されているグループを、汎用機器グループに変更する場合、まず空調機、ロスナイ、および加熱加湿付ロスナイの登録を取り消してください。
- 汎用機器グループには、リモコンまたはシステムコントローラを登録することはできません。

2. アイコンを変更するには、右または左矢印をクリックします。
   ここで選択したアイコンは、Web ブラウザ上に表示されます。

3. 「操作設定」で、汎用機器の操作可能範囲を設定します。
   [操作可能（一括、グループ単位）] を選択した場合は、汎用機器を一括またはグループ毎に運転／停止操作が可能になります。
   [操作可能（グループ単位）] を選択した場合は、汎用機器をグループ毎に運転／停止操作が可能になります。
   [操作禁止（監視のみ）] を選択した場合は、汎用機器の運転／停止操作はできません。

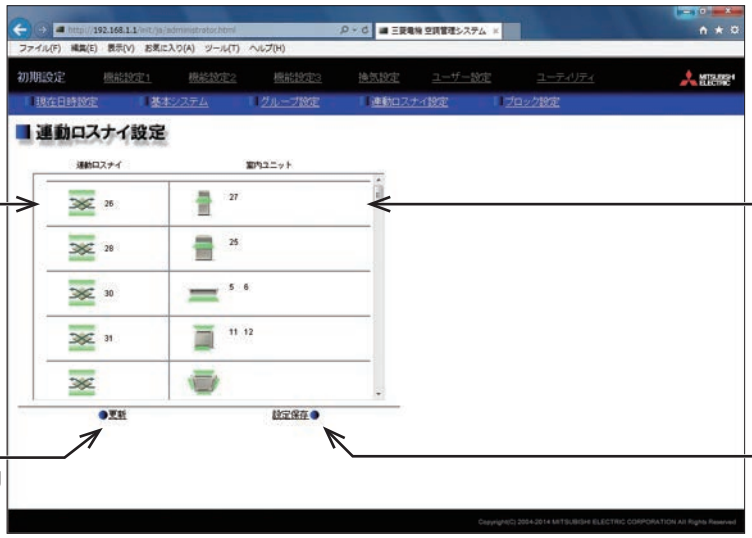
4. 「表示設定」では、Web ブラウザの運転状態のモニタ／操作画面上のアイコンにユニットの運転／停止状態を反映するために、どの状態を使用するかを選択します。汎用機器に出力する状態を使用するときは **[接点出力状態]**、汎用機器からの入力状態を使用するときは **[接点入力状態]** を選択します。

3-1-4. 連動ロスナイ設定

換気機器（ロスナイ・加熱加湿付ロスナイ）を室内ユニットの運転／停止に連動して動作させることができます。
メニューの **[初期設定]** − **[連動ロスナイ設定]** をクリックして連動ロスナイ設定画面を開きます。連動条件を設定後、**[設定保存]** をクリックして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

お知らせ

- 管理者ユーザーでログインした場合は、連動ロスナイ設定が禁止されていることがあります。
- 換気機器を運転／停止しても室内ユニットは連動しません。



連動ロスナイ登録
クリックして連動させるロスナイを登録する画面を表示します。

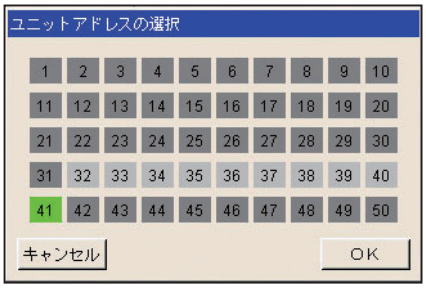
連動元室内ユニット登録
クリックして連動元の室内ユニットを登録する画面を表示します。

更新
AE-200J/AE-50J/EW-50J から設定を読み込みます。

設定保存
設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

手順

1. **[連動ロスナイ登録]** をクリックし、ユニットアドレスの選択画面を表示します。
   連動させるロスナイのアドレス番号を選択します。
   選択したアドレスは、背景が黄緑色になります。
   選択を取り消したい場合は、再度クリックすることで非選択状態（背景が薄灰色）になります。



2. **[連動元室内ユニット登録]** をクリックし、ユニットアドレスの選択画面を表示します。
   連動元室内ユニットのアドレス番号を選択します。
   選択したアドレスは、背景が黄緑色になります。
   選択を取り消したい場合は、再度クリックすることで非選択状態（背景が薄灰色）になります。

お知らせ

- 1 台のロスナイに対し、最大 16 台の室内ユニットを登録できます。

3-1-5. ブロック設定

ブロック設定を行うことで、所定のブロック内の複数のグループを Web ブラウザ上で一括で状態監視／操作できます。メニューの [**初期設定**] − [**ブロック設定**] をクリックしてブロック設定画面を開きます。
グループを各ブロックに登録し、[**設定保存**] をクリックして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

お知らせ

- 24 時間換気のロスナイに対してピークカット停止制御を行うと、換気が停止するため、24 時間換気のロスナイは別ブロックに設定してください。
- 管理者ユーザーでログインした場合は、一部の設定が禁止されていることがあります。

手順

1. 「ブロック名」に、ブロック名称を最大 20 文字で入力します。ブロック名称は Web ブラウザ上に表示されます。

   お知らせ

   - 「ブロック名」には、次の文字は使用できません：＜＞＆" '

2. 対象ブロックの隣の [**所属グループ登録**] をクリックし、グループの選択画面を表示します。
   登録したいグループ番号を選択します。（カーソルをグループ番号に合わせると、グループ名称が表示されます。）
   選択したグループ番号は、背景が黄緑色になります。
   選択を取り消したい場合は、再度クリックすることで非選択状態（背景が薄灰色）になります。

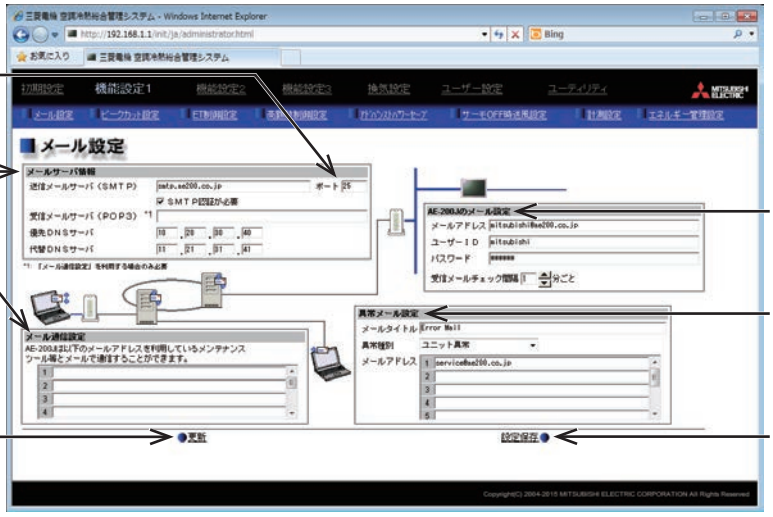
3-2. 機能設定 1

3-2-1. メール設定

異常メール通報機能またはメール通信機能を使用するためには、メール設定が必要です。異常メール通報機能は、特定のメールアドレスに異常情報を送信する機能です。メール通信機能は、メンテナンスツールをインストールした PC の特定メールアドレスにユニットのメンテナンスデータを送信する機能です。
メニュの **[機能設定 1]** − **[メール設定]** をクリックしてメール設定画面を開きます。各種メール設定を行い、**[設定保存]** をクリックして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

お知らせ

・ 管理者ユーザーでログインした場合は、メール設定が禁止されていることがあります。



[1] AE-200J/AE-50J/EW-50J のメール設定

インターネットプロバイダーまたはシステム管理者から入手したメール情報を入力します。使用する機能によって設定項目が異なります。下表を参照してください。

お知らせ

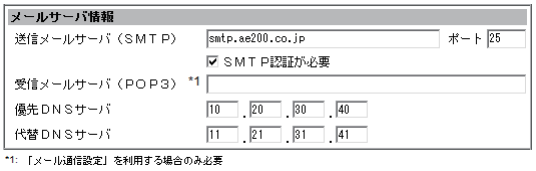
・ インターネットプロバイダー経由でメールを送信する場合は、インターネットプロバイダーとの契約が必要です。

設定が必要な項目（AE-200J のメール設定）

項目	異常メール通報		メール通信機能	
	SMTP 認証なし	SMTP 認証あり	SMTP 認証なし	SMTP 認証あり
メールアドレス	○	○	○	○
ユーザー ID	-	○	○	○
パスワード	-	○	○	○
受信メールチェック間隔	-	-	○	○

（○）設定が必要、(-) 設定が不要

[2] メールサーバ情報



インターネットプロバイダーまたはシステム管理者から入手したメールサーバ情報を入力します。使用する機能によって設定項目が異なります。下表を参照してください。
「送信メールサーバ（SMTP）」および「受信メールサーバ（POP3）」には、IP アドレスまたはホスト名（サーバ名）のいずれかを入力できます。

お知らせ

- 送信メールサーバ（SMTP）のポート番号には 0 ～ 65535 の値を設定できます。（工場出荷時：25）
- ポート番号を「587」に設定した場合、「SMTP 認証が必要] に必ずチェックを入れて下さい。

設定が必要な項目（メールサーバ情報）

項目	異常メール通報		メール通信	
	SMTP 認証なし	SMTP 認証あり	SMTP 認証なし	SMTP 認証あり
送信メールサーバ（SMTP）	○ IP アドレス またはホスト名	○ ホスト名	○ IP アドレス またはホスト名	○ ホスト名
SMTP 認証が必要	-	○	-	○
受信メールサーバ（POP3）	-	-	○ IP アドレス またはホスト名	○ IP アドレス またはホスト名
優先 DNS サーバ	(○) ※ 1	○	(○) ※ 1	○
代替 DNS サーバ	(○) ※ 1	○	(○) ※ 1	○

(○) 設定が必要、(-) 設定が不要

※ 1 「送信メールサーバ（SMTP）」または「受信メールサーバ（POP3）」に IP アドレスを入力した場合は不要。

[3] 異常メール設定

手順

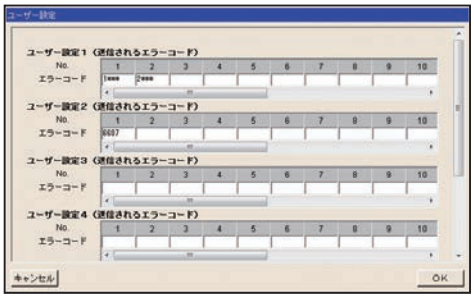
1. 「メールタイトル」に、異常メール通報機能に使用するメールタイトルを最大 40 文字で入力します。

   お知らせ

   - 「メールタイトル」には、次の文字は使用できません：＜＞ & " '

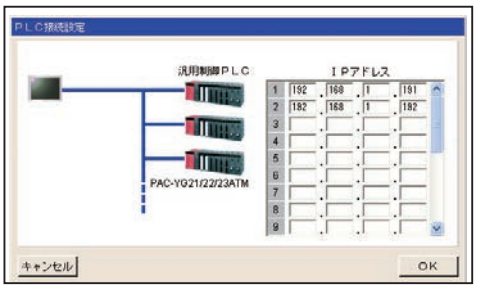
2. 「異常種別」で、**[ユニット異常]**、**[ユニット異常猶予]**、**[通信異常]**、**[汎用機器]**、および **[ユーザー設定 1]** ～ **[ユーザー設定 6]** から選択し、「メールアドレス」には、異常メール通報の受信者のメールアドレスを入力します。

3.「異常種別」で **[ユーザー設定 1]** ～ **[ユーザー設定 6]** を選択すると、**[ユーザー設定]** ボタンが現れます。特定の異常の発生時だけ異常メールを送信するには、**[ユーザー設定]** をクリックして、ユーザー設定画面を表示します。
通知する異常コードを入力します。



各ユーザー設定について最大 20 個の異常コードが設定できます。
[1302] や [6607] などの特定異常コードに加えて、アスタリスクを用いた **[10**]** や **[12**]** などのコードも使用できます。例えば **[10**]** を入力した場合、異常メールは、[1000] ～ [1099] の異常の発生時に送信されます。
この画面で異常コードを設定した場合は、受信者のメールアドレスが登録されていることを確認してください。

4.「異常種別」で **[汎用機器]** を選択すると、**[PLC 接続設定]** ボタンが現れます。汎用制御 PLC に接続した汎用機器の異常発生時に異常メールを送信するには、**[PLC 接続設定]** をクリックして、PLC 接続設定画面を表示します。汎用制御 PLC の IP アドレスを入力します。

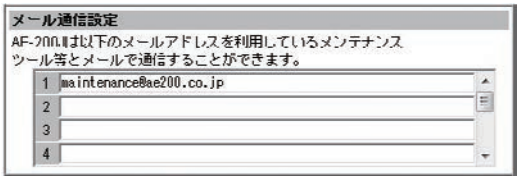


各 IP アドレスに対応する行番号が PLC 番号として異常メールが送信されます。（例えば、2 行目の PLC に接続された汎用機器 20 で異常が発生した場合は、異常メールの「異常発生元」に「PLC2-20」が表示されます。）

お知らせ

- 汎用制御 PLC に接続された汎用機器を監視するには TG-2000 が必要です。

[4] メール通信設定



メール通信機能を使用するには、「メール通信設定」でユニットのメンテナンスデータを受信するパソコンのアドレスを入力します。最大 10 個のメールアドレスが設定できます。

[5] メールフォーマット

異常メール通報は、下記のフォーマットで送信されます。

発信者 : 三菱電機株式会社 (000001)
発生日付 : 2015/03/04 16:32:12
異常発生元 : 065
異常コード : 1302
状態 : 異常発生

メールタイトル	「[3] 異常メール設定」参照（34 ページ）で設定されたメールタイトルが表示されます。
発信者	「[1] 本体の設定」参照（17 ページ）で設定された AE-200J/AE-50J/EW-50J ユニット名称および識別番号が表示されます。
発生日付	「[7] 表示の設定」参照（25 ページ）で設定された形式で異常発生日時が表示されます。
異常発生元	• 空調機または汎用機器で異常が発生した場合は、異常発生元のユニットの M-NET アドレスが表示されます。 • 汎用制御 PLC に接続された汎用機器で異常が発生した場合は、PLC 番号 *（1 ～ 20）と汎用機器の接続番号（1 ～ 32）が表示されます。 • 汎用制御 PLC で通信異常が発生した場合は、PLC 番号 *（1 ～ 20）が表示されます。 ※ PLC 番号は、**[PLC 接続設定]** 画面上の行番号を示します。 「[3] 異常メール設定」参照（34 ページ） **お知らせ** • 汎用インターフェースを介して接続された汎用機器で異常が発生した場合は、汎用インターフェースの M-NET アドレスが表示されます。(汎用インターフェースに接続されたいずれかの汎用機器で異常が発生したことが通報されます。)
異常コード	4 桁の異常コードが表示されます。 • 空調機で異常が発生した場合は、異常コードについて各ユニットのサービスマニュアルを参照してください。 • 汎用機器で異常が発生した場合は、「0091」（汎用機器異常）が表示されます。 • 汎用制御 PLC で通信異常が発生した場合は、「0003」（PLC LAN 通信異常）または「0007」（PLC プログラム停止）が表示されます。
状態	「異常発生」または「異常復旧」が表示されます。

3-2-2. ピークカット設定（省エネ制御）

選択されたピークカット方式に従い、デマンドレベルや電力量値を取得して制御レベルを決定し、室外ユニットと室内ユニットをその制御レベルに対応する最大能力以内で運転し、省エネ制御を行います。
メニューの **[機能設定 1]** − **[ピークカット設定]** をクリックしてピークカット設定画面を開きます。設定内容入力後、**[設定保存]** をクリックして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

お願い

- 設定完了後、関連機器が正しく接続されピークカット制御可能となっていることを、必ず試運転にてご確認ください。
- ピークカット機能を使用するには、別途省エネピークカット制御ライセンスが必要です。**[オプション機能のライセンス登録]** 画面で、必要なライセンスが正しく登録されていることを確認してください。（詳細については、「3-8. オプション機能のライセンス登録」参照（77 ページ））
- 常に同一の省エネ制御を行う場合は、省エネ制御ライセンスを登録し、室外ユニット、室内ユニットの制御方法のうち、レベル 0 の内容を設定します。
- 室内機の省エネ制御は、ブロック単位で行います。必ずブロック設定をしてください。

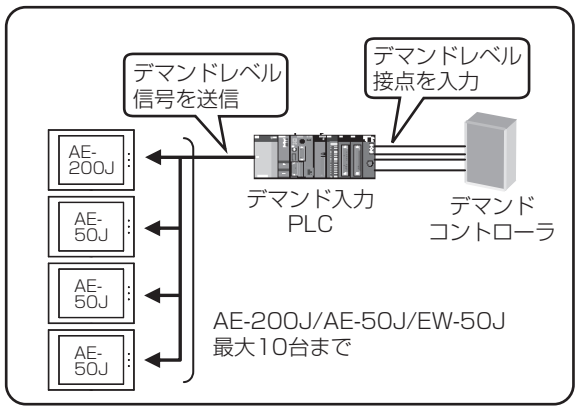
お知らせ

- 管理者ユーザーでログインした場合は、一部の設定が禁止されていることがあります。
- 汎用インターフェース（PAC-YG66DC）にピークカット制御は行えません。

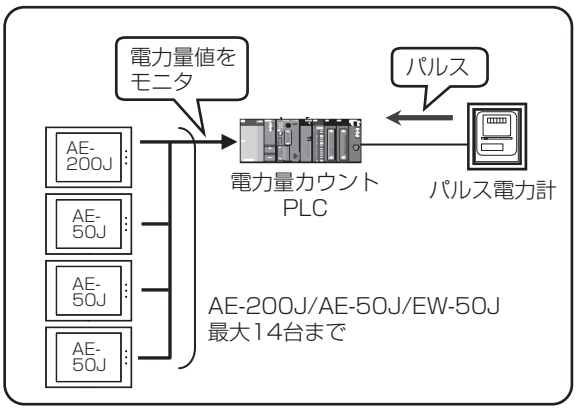
お願い

- 故障や伝送線の断線等により、実際の使用電力が設定したデマンド値を超過した場合、当社は一切の責任を負いませんのでご了承の上、利用願います。

デマンド入力 PLC

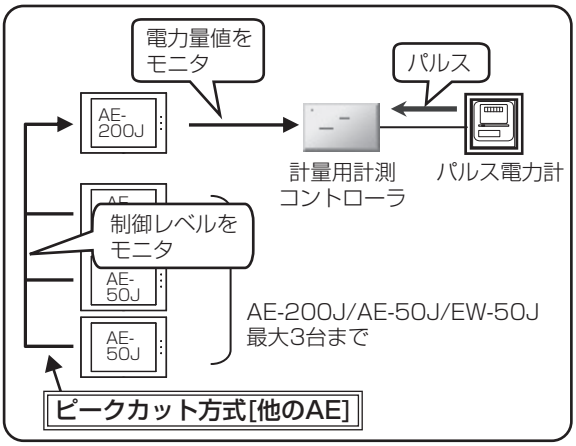


電力量カウント PLC

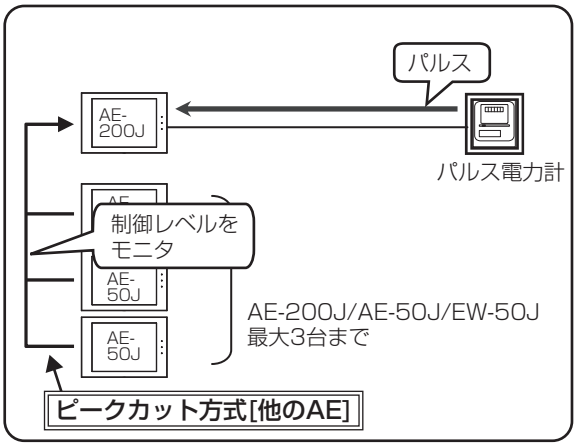


計量用計測コントローラ

計量用計測コントローラ方式



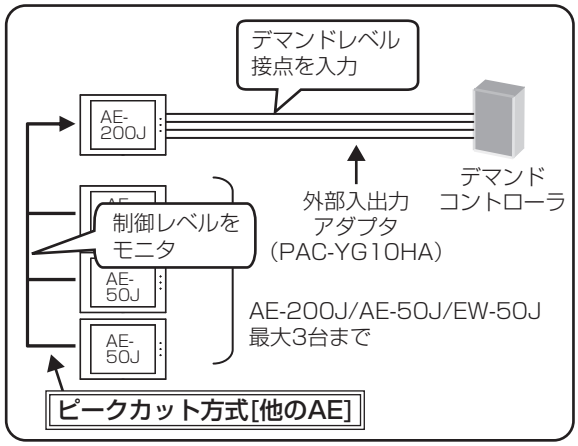
計量用パルス入力方式



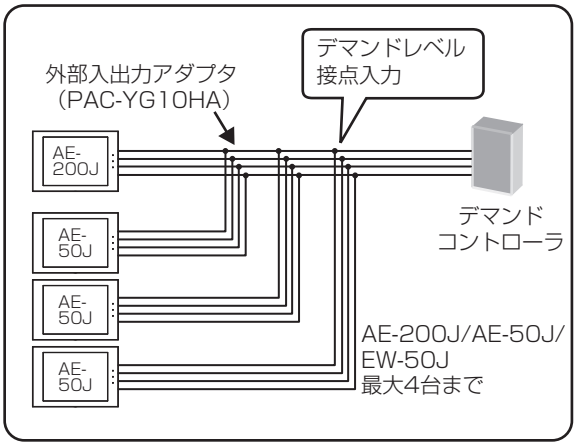
お知らせ

- 計量用パルス入力の場合も、ピークカット方式は [**計量用計測コントローラ**] を選択してください。

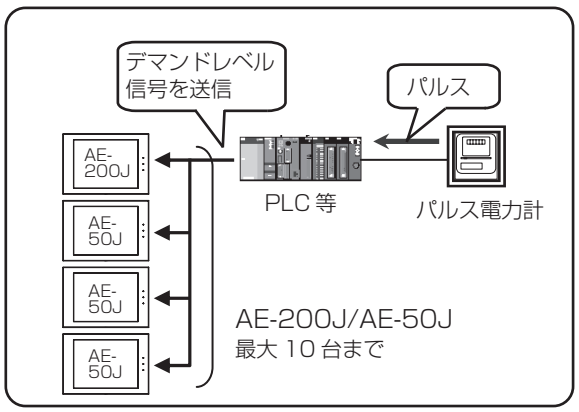
外部接点入力方式（1）



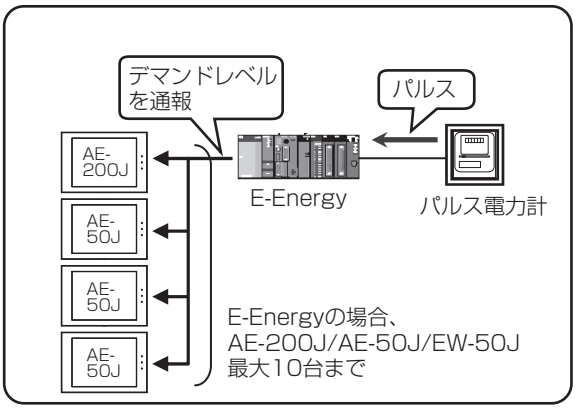
外部接点入力方式（2）



その他のシステム



その他の方式（E-Energy 等）

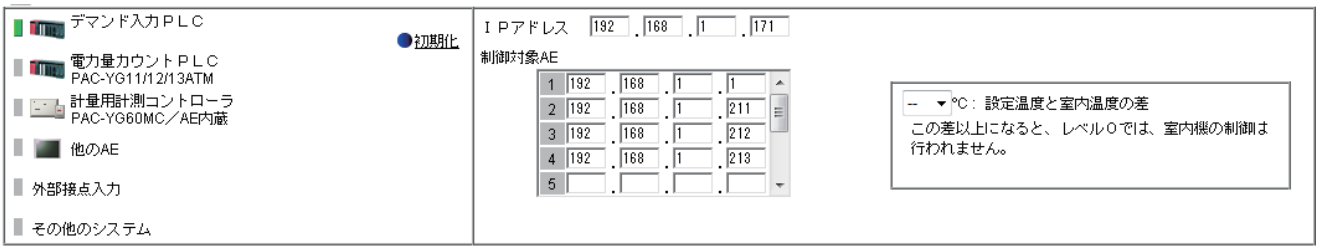


お知らせ

- E-Energy に接続先 (AE-200J/AE-50J/EW-50J) の設定が必要となります。詳細は E-Energy の取扱説明書をご覧ください。

[1] ピークカット方式

(1) [デマンド入力 PLC] を選択した場合



手順

1. 「IP アドレス」に、デマンド入力 PLC の IP アドレスを入力します。

2. デマンド入力 PLC を初めて使用する場合は、**[初期化]** をクリックして、内部メモリを初期化します。

   お願い

   - 初期化によってすべての運用データが消去されるため、運用開始後は初期化しないでください。

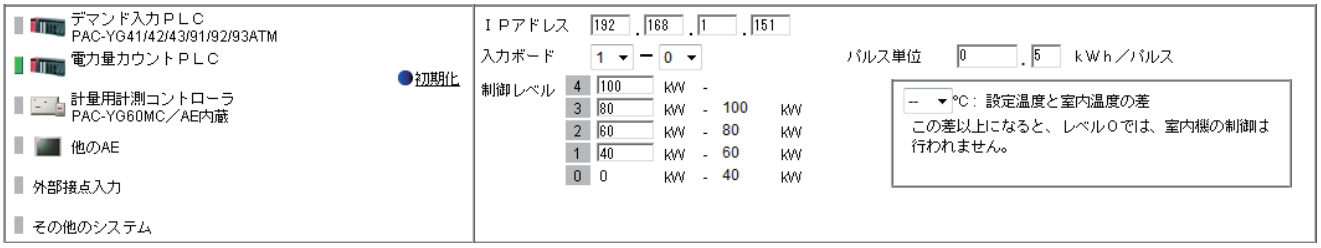
3. 「制御対象 AE」に、デマンドレベル信号が送信される AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスを入力します。最大 10 個の IP アドレスが登録できます。

4. 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を 3 ～ 9 に設定できます。制御レベルが 0 の場合に、設定温度と室温との温度差が指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。

   お知らせ

   - レベル 1 ～ 4 は温度差に関わらずピークカット制御を実施します。

(2) [電力量カウント PLC] を選択した場合



手順

1. 「IP アドレス」に、電力量カウント PLC の IP アドレスを入力します。

2. 電力量カウント PLC を初めて使用する場合は、**[初期化]** をクリックして、内部メモリを初期化します。

   お願い

   - 初期化によってすべての運用データが消去されるため、運用開始後は初期化しないでください。

3. 「入力ボード」に、電力量計を接続した入力ボード番号および端子番号を選択します。例えば、電力量計を入力ボード 1 の端子 2 に接続した場合は、1-2 を選択します。

   お知らせ

   - 入力ボード番号は 1 または 2 から、端子番号は 0 ～ F から選択してください。

4. 「パルス単位」に、電力量計が出力するパルス値を入力します。使用する電力量計に応じて設定してください。

   お願い

   - パルス単位は使用する電力量計に合わせて設定してください。また、正常に設定されたことを確認するため、毎時 00 分、30 分の複数回、実際の電力量計のメーター値を確認した後、30 分間の電力量計のメーター値の増加量と、ピークカット制御の平均電力が一致していることを必ず確認してください。
     （ピークカット制御平均電力は管理者 Web のピークカット制御グラフ及び、CSV ファイルで確認できます。）

5.「制御レベル」では、各制御レベルに電力の利用範囲を割り当てます。制御レベル 4 については、最大需要電力（30 分間に超えてはいけない平均電力値）より 10% ～ 15% 低い値を入力します。制御レベル 3 ～ 1 については、前の制御レベルの設定値から約 10% 低い値を入力します。

お知らせ

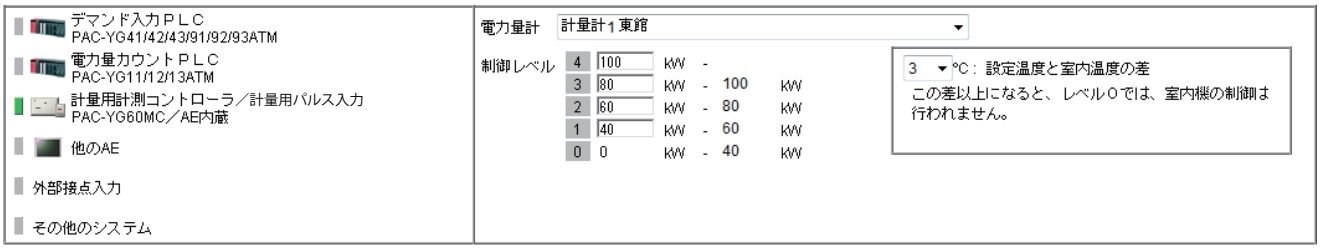
- 電力使用機器のシステム構成や建物の室内環境により、適正値は異なります。建物の環境に応じて決定してください。

6.「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を 3 ～ 9 に設定できます。制御レベルが 0 の場合に、設定温度と室温との温度差がここで指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。

お知らせ

- レベル 1 ～ 4 は、温度差に関わらずピークカット制御を実施します。

(3) [計量用計測コントローラ] を選択した場合



手順

1.「電力量計」で、AE-200J/AE-50J/EW-50J に接続したピークカット用の計量用パルス入力または計量用計測コントローラを選択します。

お知らせ

- **[計測設定]** 画面で登録した電力量計のみ選択できます。計量計の登録方法については、3-2-7 章 [3] を参照してください。
- 電力量計の名称は以下で表示されます。
  計量用パルス入力方式：[CH 番号 + スペース + 計量計名称]
  例：ピークカット用電力量計が AE-200J の CN7 の CH3 に接続されて、名称を“ピークカット用”と設定している場合
  ⇒ 3　ピークカット用
  計量用計測コントローラ方式：[計量コントローラのアドレス +“−”+ CH 番号 + スペース + 計量計名称]
  例：ピークカット用電力量計が計量用計測コントローラ（アドレス 10）の CH2 に接続されていて、名称を未設定の場合
  ⇒ 10-2

2.「制御レベル」では、電力利用範囲を各制御レベル（デマンドレベル）に割り当てます。例えば制御レベル 4 については、最大需要電力（30 分間に超えてはいけない平均電力値）より 10% ～ 15% 低い値を入力します。制御レベル 3 ～ 1 については、前の制御レベルの設定値から約 10% 低い値を入力します。

お知らせ

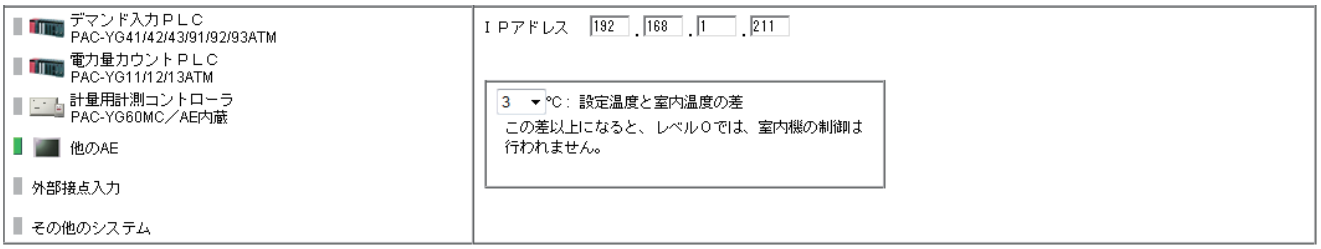
- 電力使用機器のシステム構成や建物の室内環境により、適正値は異なります。建物の環境に応じて決定してください。

3.「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を 3 ～ 9 に設定できます。制御レベルが 0 の場合に、設定温度と室温との温度差が指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。

お知らせ

- レベル 1 ～ 4 は、温度差に関わらずピークカット制御を実施します。

(4) [他の AE] を選択した場合



手順

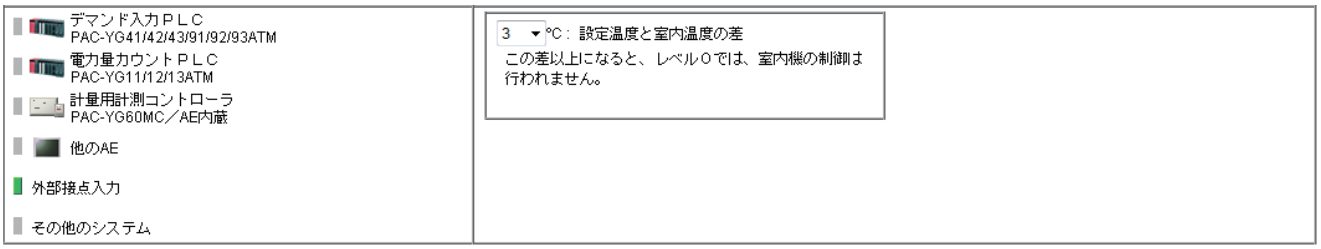
1. 「IP アドレス」に、ピークカット機能に使用する電力量計、またはその電力量計を接続した計量用計測コントローラ、またはデマンドコントローラを接続した AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスを入力します。
2. 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を 3 ～ 9 に設定できます。制御レベルが 0 の場合に、設定温度と室温との温度差がここで指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。

お知らせ

- 制御レベルは電力量計のパルス信号または計量用計測コントローラまたは外部接点入力を接続した AE-200J/AE-50J/EW-50J から 1 分間隔で取得されるため、制御レベルの変化は即時には反映されません。
- 電力量計のパルス信号または計量用計測コントローラまたは外部接点入力を接続した AE-200J/AE-50J/EW-50J ユニットに最大 3 台の AE-200J/AE-50J/EW-50J が接続できます。AE-200J/AE-50J/EW-50J が 5 台以上ある場合は、ピークカット方式 **[電力量カウント PLC]** をご利用ください。
- レベル 1 ～ 4 は、温度差に関わらずピークカット制御を実施します。

(5) [外部接点入力] を選択した場合

外部接点入力は、AE-200J、AE-50J/EW-50J のどちらでも接続でき、全系統に対して制御を行う室外ユニットと室内機のブロックを選択できます。



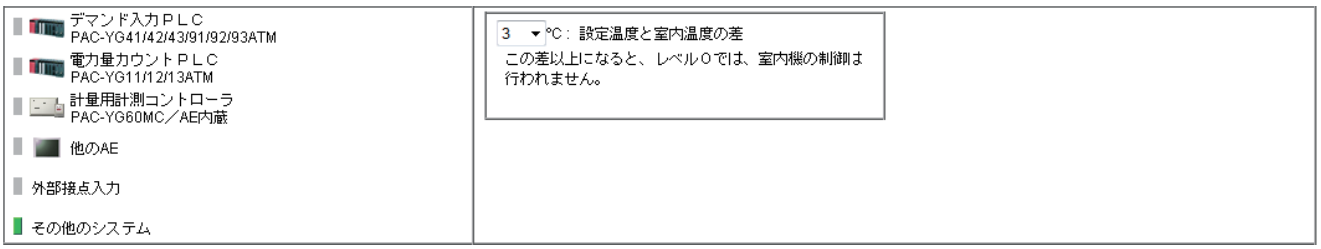
手順

1. 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を 3 ～ 9 に設定できます。制御レベルが 0 の場合に、設定温度と室温との温度差がここで指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。

お知らせ

- レベル 1 ～ 4 は、温度差に関わらずピークカット制御を実施します。

(6) [その他のシステム] を選択した場合（E-Energy 接続等）



手順

1. 「設定温度と室内温度の差」では、必要に応じて温度差を 3 ～ 9 に設定できます。制御レベルが 0 の場合に、設定温度と室温との温度差がここで指定した温度差より大きい室内ユニットグループについては、省エネ制御を実行しません。

お知らせ

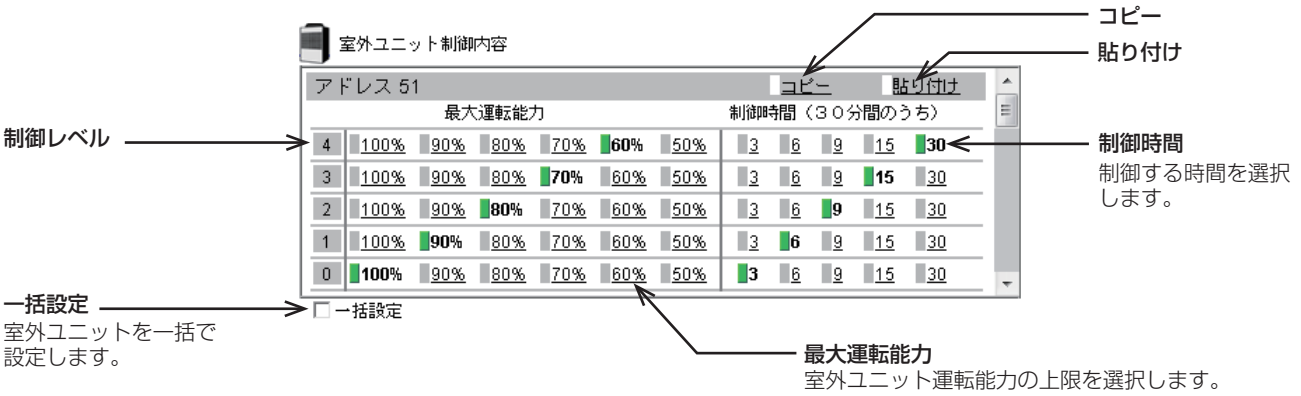
- レベル 1 ～ 4 は、温度差に関わらずピークカット制御を実施します。

[2] 室外ユニット制御内容

各省エネレベルでの室外ユニットへの省エネ制御を設定します。

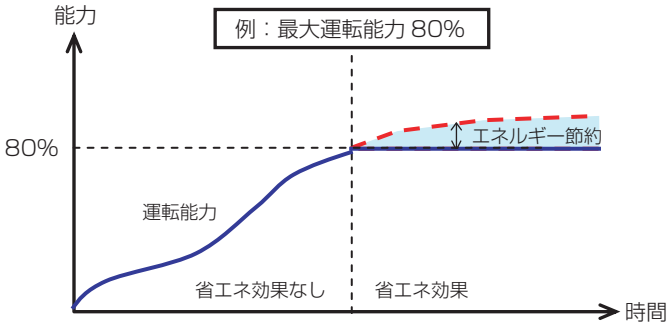
お知らせ

- マルチ機種の室外ユニットの場合は、M-NET アドレスが表示されます。Mr. スリム機種の場合は、M-NET アドレスとグループ名が表示されます。
- Mr. スリム機種の室外ユニットについては、インバーター機種だけがピークカット制御を実行できます。一定速機種のピークカット制御設定はできません。



手順

1. 各制御レベルの最大運転能力を選択します。室外ユニットは通常、能力 100% で運転しており、最大運転能力値が小さいほど、省エネ運転となります。



お願い

- 室外ユニットの負荷が低く、指定された能力値以下で運転している場合は、省エネ効果が出ませんのでご注意ください。
- 蓄熱機種及びマルチ S シリーズ（PUSY）へは室外ユニットへの能力セーブ制御を行わないように **[100%]** に設定してください。

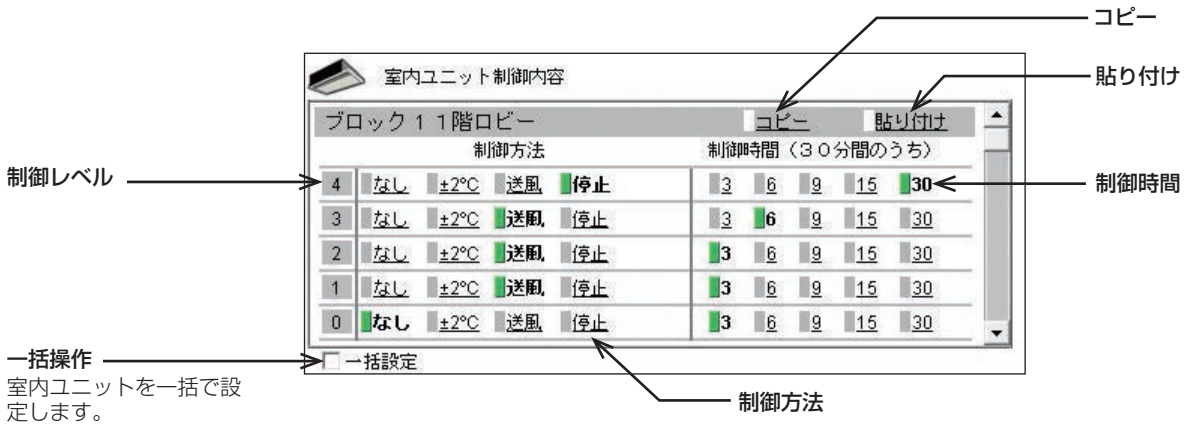
2. 各レベルでの制御時間を設定します。室外ユニットへの能力セーブ制御の場合、短い時間での制御では効果が出にくくなりますので、30 分または 15 分での制御を推奨します。
   30 分以外の時間を設定した場合は、接続されている室外ユニットの中で、極力制御時間が重ならないよう、ローテーション制御を行います。

3. ある室外ユニットの設定を、他の室外ユニットへコピーしたい場合、**[コピー]** ボタンをクリックして選択状態（黄緑色）とし、対象室外ユニット画面で **[貼り付け]** をクリックします。

4. すべての室外ユニットに対して一度に設定を行う場合は、**[一括設定]** をチェックします。

[3] 室内ユニットのブロック制御内容

各省エネレベルでの室内ユニットへの省エネ制御を設定します。
設定は操作ブロック単位となります。操作ブロック設定を行っていない場合は、3-1-5 章を参照して操作ブロックを設定してください。

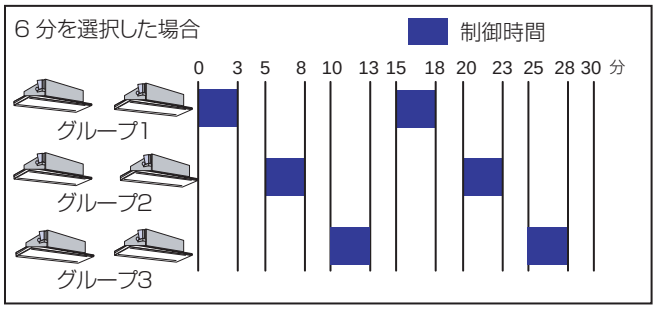


手順

1. 各レベルでの制御方法を設定します。
   すべてのブロックに対して一度に設定を行う場合は、**[一括設定]** をチェックします。
   次に、下表を参照して、各制御レベルの制御方法を選択します。

制御方法	制御内容
なし	制御は実行されません。
± 2° C 制御	制御中は、冷房またはドライモードの設定温度は +2° C 補正がかかり、暖房モードの設定温度は -2° C 補正がかかります。 **お知らせ** ・ 送風または自動モード中は、制御は実行されません。 ・ 設定温度は、設定温度制限設定内で調節されます。 詳細については、3-3-1 章を参照してください。
送風制御	制御中は、フリープラン室内ユニットと A 制御機種（スリム機種）の室内ユニットはサーモ OFF 状態になり、フリープラン以前の機種は送風モードになります。（ユニットがサーモ OFF 状態の際、リモコンの画面上の運転モードは変化しません。） 注：暖房運転中にピークカット制御を行う場合、暖房準備中が継続する可能性があります。
停止制御	制御中は、ユニットは停止します。 **お知らせ** 暖房運転中にピークカット制御を行う場合、暖房準備中が継続する可能性があります。 ・ 制御方法を **[停止]**、制御時間を **[30]** 分に設定した場合、ピークカット制御中のグループに対しての運転操作は、どのコントローラからも行えません。

2. 各レベルでの制御時間を設定します。
   各制御時間は 3 分を 1 つの制御単位とし、6 分を選択すると 3 分の制御が 30 分中、2 回実行されます。
   また、30 分以外を設定した場合は、登録されている操作ブロックの中で、極力制御時間が重ならないよう、ローテーション制御を行います。



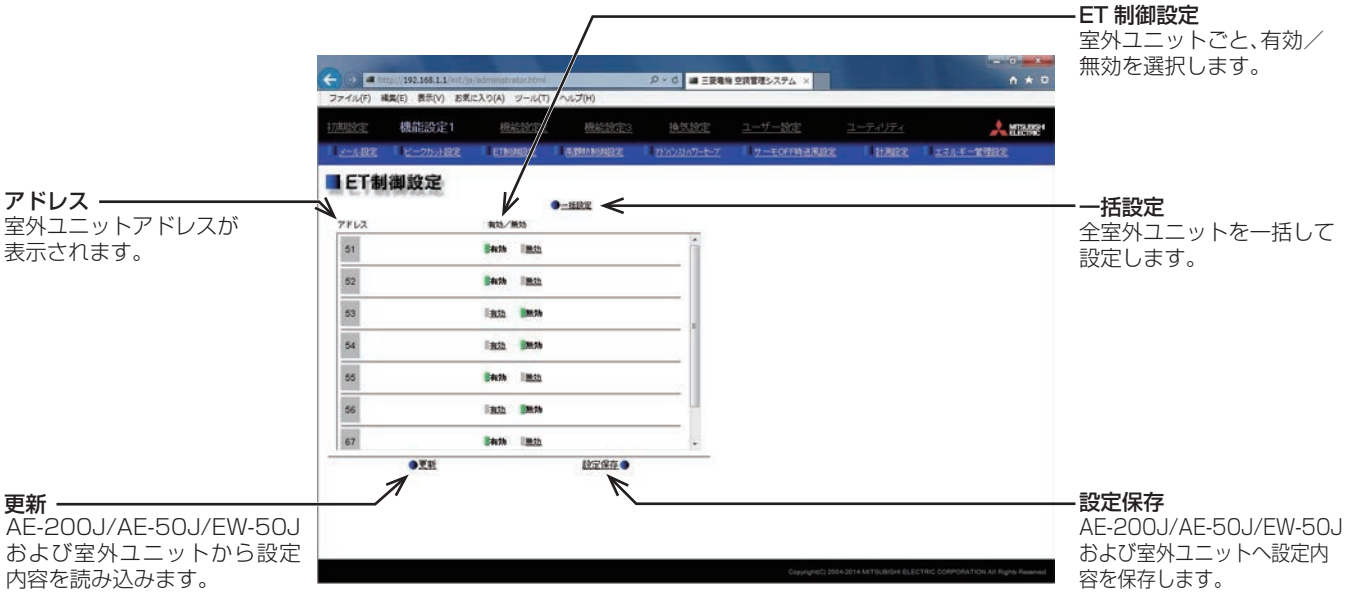
3. ある操作ブロックの設定を、他の操作ブロックへコピーしたい場合は、**[コピー]** ボタンをクリックして選択状態（黄緑色）とし、対象の操作ブロックの画面で **[貼り付け]** をクリックします。

3-2-3. ET 制御設定

ET 制御設定を利用したい場合は、メニューの **[機能設定 1]** − **[ET 制御設定]** をクリックして ET 制御設定画面を開き、室外ユニットごとに設定を行います。(工場出荷時は、有効に設定されています。)
ET 制御 (Evaporating Temperature 制御) は、圧縮機入力を低減することにより運転効率を向上させ省エネ運転をする室外ユニットの機能です。冷房運転時、従来は蒸発温度を一定に制御しているのに対して、ET 制御で負荷に応じて蒸発温度を上昇させて、圧縮機の負荷を低減させます。

お知らせ

- ET 制御機能は、E 制御ライセンスの登録が必要ですが、E 制御ライセンス未登録の場合、設定のみ保存ができます。
- 管理者ユーザーでログインした場合、設定が禁止されている場合があります。
- 本設定は全てのユニットが正常に運転している状態で設定してください。室外ユニットの接続異常が発生している場合、ET 制御の対象ユニットが正常に表示されない場合があります。
- AE-200J に AE-50J/EW-50J を接続する場合、接続するすべての AE-200J/AE-50J/EW-50J でライセンス登録が必要です。
- 室外ユニットが ET 制御に対応している場合に利用できます。



手順

1. 室外ユニットごとに、「ET 制御設定」で、**[有効]**、**[無効]** を選択します。

2. 設定内容入力後、**[設定保存]** をクリックして AE-200J/AE-50J/EW-50J に設定内容を保存します。

お知らせ

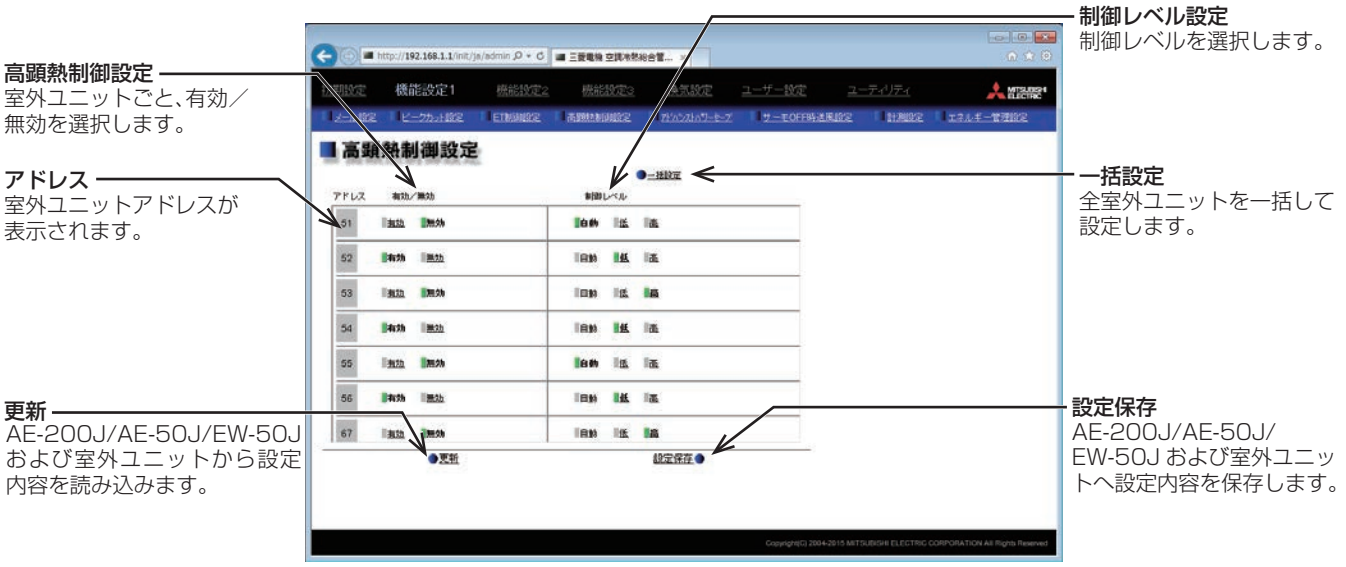
- 全ての室外ユニットを一括して設定したい場合は、**[一括設定]** ボタンをクリックし、有効／無効を選択します。

3-2-4. 高顕熱制御設定

高顕熱制御設定を利用したい場合は、メニューの **[機能設定 1]** − **[高顕熱制御設定]** をクリックして高顕熱制御設定画面を開き、室外ユニットごとに設定を行います。（工場出荷時は、無効に設定されています。）
高顕熱制御は圧縮機入力を低減する事により、運転効率を向上させ省エネ運転をする室外ユニットの機能です。冷房運転時、従来は蒸発温度を一定に制御しているのに対して制御レベルを［低］（省エネ効果少）と［高］（省エネ効果大）から選択し、負荷に応じて蒸発温度を上昇させて、圧縮機の負荷を低減させます。

お知らせ

- 高顕熱制御機能は、高顕熱制御ライセンスの登録が必要ですが、高顕熱制御ライセンス未登録の場合、設定のみ保存ができます。
- 管理者ユーザーでログインした場合、設定が禁止されている場合があります。
- 本設定は全てのユニットが正常に運転している状態で設定してください。室外ユニットの接続異常が発生している場合、高顕熱制御の対象ユニットが正常に表示されない場合があります。
- AE-200JにAE-50J/EW-50Jを接続する場合、接続するすべてのAE-200J/AE-50J/EW-50Jでライセンス登録が必要です。
- 室外ユニットが高顕熱制御に対応している場合に利用できます。



手順

1. 室外ユニットごとに、「高顕熱制御設定」で、**[有効]**、**[無効]** を選択します。

2. 室外ユニットごとに、制御レベル設定で、制御レベルを **[自動]** **[低]** **[高]** から選択してください。
   [自動] では室外ユニットの判断で **[低]** と **[高]** を切り替えます。
   [低] → **[高]** の順に省エネ効果が増します。

3. 設定内容入力後、**[設定保存]** をクリックして AE-200J/AE-50J/EW-50J に設定内容を保存します。

   お知らせ

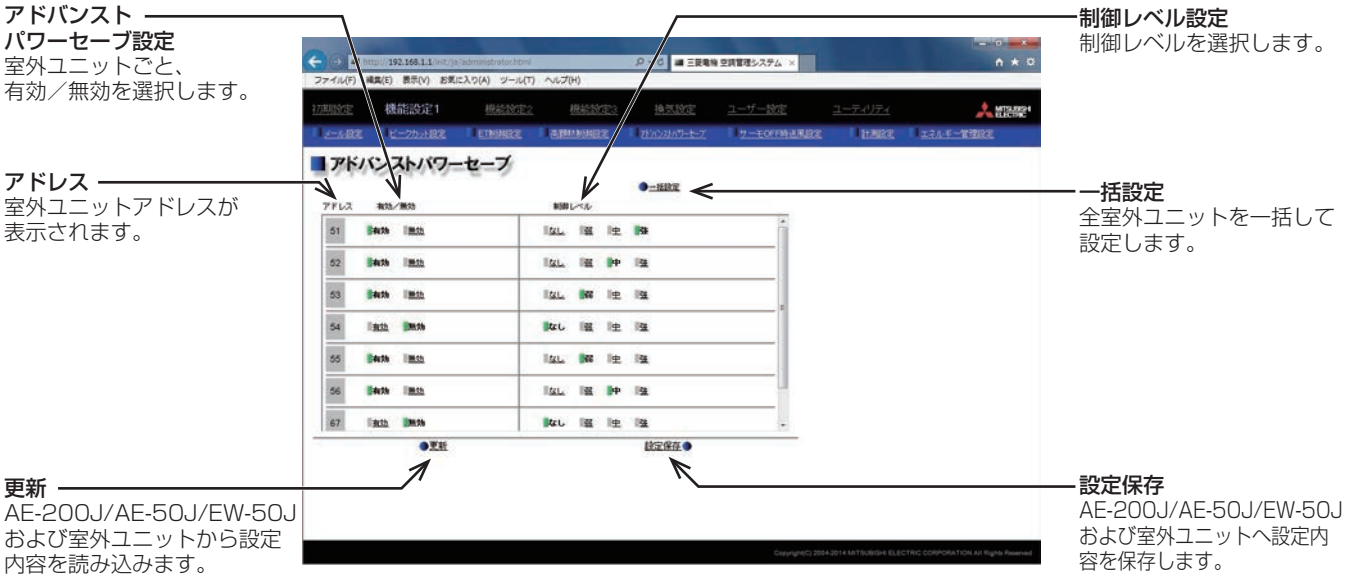
   - 全ての室外ユニットを一括して設定したい場合は、**[一括設定]** ボタンをクリックし、設定内容を入力します。

3-2-5. アドバンストパワーセーブ設定

アドバンストパワーセーブ機能は、室外ユニットの使用電力量に制限をかける機能です。室外ユニットの常時運転時の使用電力量に制限をかけることで、省エネ効果が得られます。
アドバンストパワーセーブ設定を利用したい場合は、メニューの **[機能設定 1]** − **[アドバンストパワーセーブ]** をクリックしてアドバンストパワーセーブ設定画面を開き、室外ユニットごとに設定を行います。（工場出荷時は、有効・制御レベル：なしに設定されています。）

お知らせ

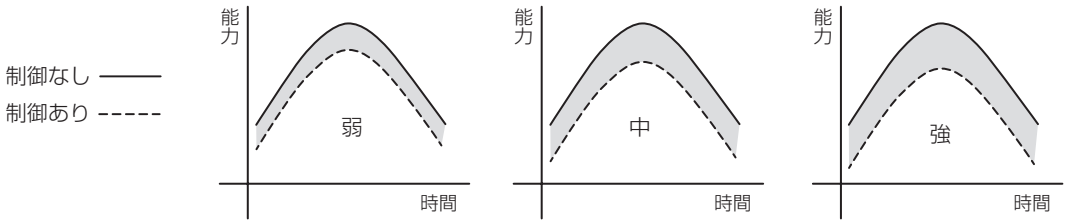
- アドバンストパワーセーブ機能は、E 制御ライセンスが必要ですが、E 制御ライセンス未登録の場合は設定のみ保存ができます。ライセンス登録後は機能が利用可能になります。
- 管理者ユーザーでログインした場合、設定が禁止されている場合があります。
- 本設定は全てのユニットが正常に運転している状態で設定してください。室外ユニットの接続異常が発生している場合、アドバンストパワーセーブの対象ユニットが正常に表示されない場合があります。
- AE-200J に AE-50J/EW-50J を接続する場合、接続するすべての AE-200J/AE-50J/EW-50J でライセンス登録が必要です。



手順

1. 室外ユニットごとに、アドバンストパワーセーブ設定で、**[有効]**、**[無効]** を選択します。

2. 室外ユニットごとに、制御レベル設定で、制御レベルを **[なし]** **[弱]** **[中]** **[強]** から選択してください。
   [なし] は、制御を行いません。
   [弱] **[中]** **[強]** の順に省エネ効果が増します。



3. 設定内容入力後、**[設定保存]** をクリックして AE-200J/AE-50J/EW-50J に設定内容を保存します。

お知らせ

- 全ての室外ユニットを一括して設定したい場合は、**[一括設定]** ボタンをクリックし、設定内容を入力します。

3-2-6. サーモ OFF 時送風設定

サーモ OFF 機能は、室内ユニットのサーモ OFF 時にファンの送風運転を制御することで消費電力を低減させ省エネ運転をすることができます。
サーモ OFF 時送風設定を利用したい場合は、メニューの **[機能設定 1]** − **[サーモ OFF 時送風設定]** をクリックしてサーモ OFF 時送風設定画面を開き、室内ユニットごとに設定を行います。

お知らせ

- サーモ OFF 時送風機能は、E 制御ライセンスの登録が必要です。未登録の場合、設定変更できません。
- 形名の末尾が G1 以降の室内ユニット接続時に設定可能です。
- 本機能を利用時は、室温検知センサーを外付けの温度センサー (PAC-SE40TS-W) やリモコンセンサーに切り換える必要があります。
- サーモ OFF 時送風機能中は空調機のアイコンに省エネ制御中のマークは表示されません。
- 管理者ユーザーでログインした場合、設定が禁止されている場合があります。
- 本設定は全てのユニットが正常に運転している状態で設定してください。室内ユニットの接続異常が発生している場合、サーモ OFF 時送風機能の対象ユニットが正常に表示されない場合があります。
- AE-200J に AE-50J/EW-50J を接続する場合、接続するすべての AE-200J/AE-50J/EW-50J でライセンス登録が必要です。

手順

1. 室内ユニットごとに、「冷房時」設定で、冷房時にサーモ OFF したときの送風を、**[リモコン設定風速]** **[停止]** から選択してください。

   お知らせ

   - **[リモコン設定風速]** とは、AE-200J/AE-50J/EW-50J またはリモコンで最後に設定された風速で動作する設定です。

2. 室内ユニットごとに、「暖房時」設定で、暖房時にサーモ OFF したときの送風を、**[リモコン設定風速]** **[弱風]** **[微風]** **[停止]** から選択してください。

   お知らせ

   - 機種により、微風・弱風を設定できない場合があります。

3. 設定内容入力後、**[設定保存]** をクリックして AE-200J/AE-50J/EW-50J に設定内容を保存します。

   お知らせ

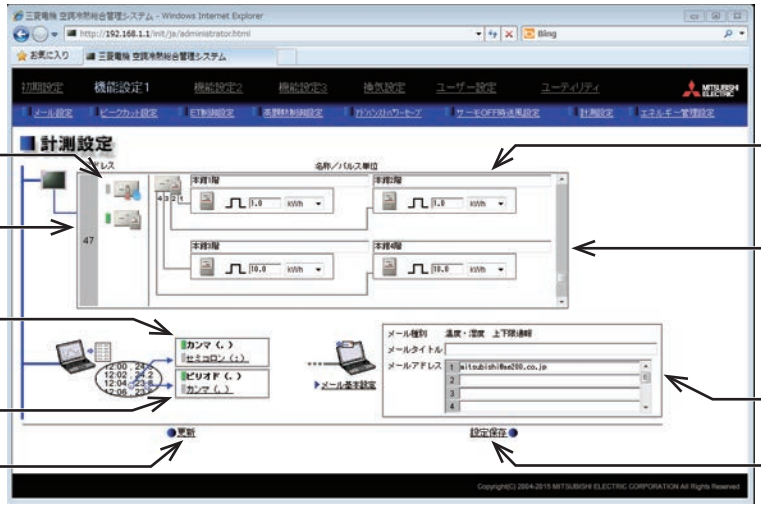
   - 全てのグループを一括して設定したい場合は、**[一括設定]** ボタンをクリックし、設定内容を入力します。

3-2-7. 計測設定

温度センサー、湿度センサー、および計量計を使用するために計測設定を行います。
メニューの **[機能設定 1]** − **[計測設定]** をクリックして計測設定画面を開きます。設定内容入力後、**[設定保存]** をクリックして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

お知らせ

- 管理者ユーザーでログインした場合は、計測設定が禁止されていることがあります。
- TG-2000 を接続して計測値を課金する場合や、計測値から省エネ（ピークカット）制御を利用する場合は、別途、電力按分課金支援ライセンス、省エネピークカットライセンスの登録が必要となります。
  計測値の現在値表示や上下限値警報はライセンスなしで利用できます。



環境用計測または計量用計測コントローラの選択

環境用計測または計量用計測コントローラの M-NET アドレス

エネルギー管理データの区切り文字の選択

エネルギー管理データの小数点文字の選択

更新
AE-200J/AE-50J/EW-50J から設定を読み込みます。

計測設定

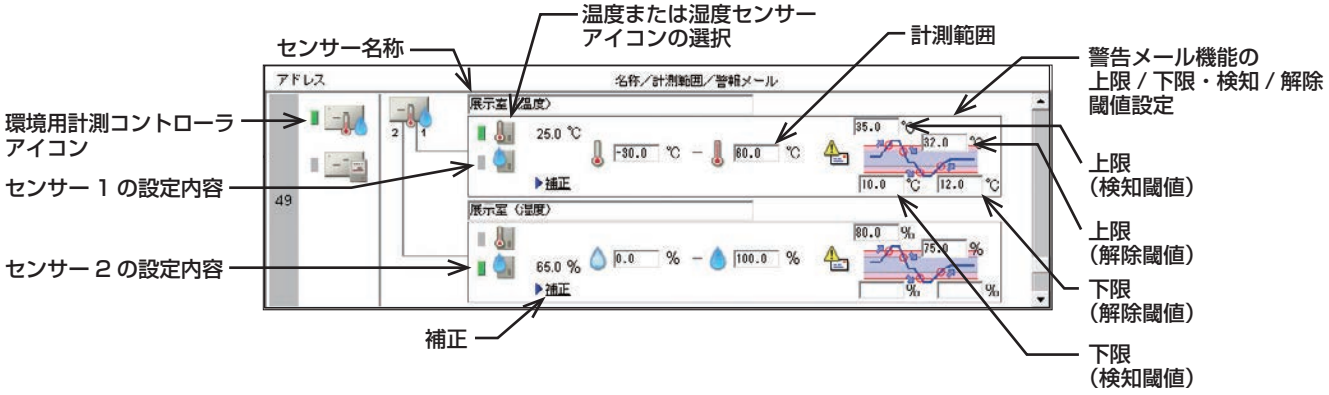
スクロールバー
環境用計測または計量用計測コントローラを接続するアドレスを切替えます。

メール基本設定

設定保存
設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

[1] 環境用計測コントローラと温度／湿度センサーの登録

使用するセンサーのシステム設定を行います。1台の環境用計測コントローラ（PAC-YG63MC）に対し、最大2個のセンサーが接続できます。



手順

1. スクロールバーを操作し、環境用計測コントローラ（PAC-YG63MC）が接続されたアドレスを表示します。
2. 環境用計測コントローラアイコン（ ）を選択します。

   お知らせ

   - 選択を取り消すには、再度クリックします。
3. センサー名称に、センサーの名称を入力します。
4. 温度センサーアイコン（ ）または湿度センサーアイコン（ ）を選択します。

5. センサーの計測範囲を入力します。

お知らせ

- Pt センサーを接続した場合、-30° C ～ +60° C で設定してください。
  Pt センサー以外のセンサーを接続した場合は、センサーの取扱説明書に記載されている範囲を入力してください。

6. 温度または湿度がある所定値を超えた場合に警告メールを受信するには、上限および下限温度の両方について検知および解除閾値を設定します。

お知らせ

- 検知／解除を過度に検出しないように、検知閾値と解除閾値の差を 1° C 以上離すことを推奨します。

[2] 測定温度／湿度値の補正

測定値の補正が必要な場合、以下の手順に従って補正を行います。

お知らせ

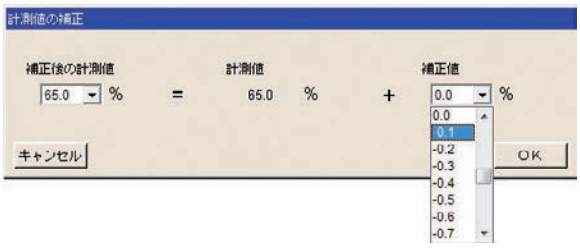
- 現在の計測値または補正後の測定値は、環境用計測コントローラの接続設定が完了するまで表示されません。
  環境用計測コントローラを初めて登録する場合は、**[設定保存]** をクリックして設定データを保存した後、**[機能設定 1]-[計測設定]** をクリックして計測設定画面を再表示してください。

手順

1. 「計測設定」で **[補正]** をクリックします。

2. 「補正値」プルダウンメニューで補正値を選択するか、または「補正後の計測値」プルダウンメニューで補正後の値を選択します。

3. 温度センサーに対して設定できる補正値の範囲は -10.0° C ～ +10.0° C で、湿度センサーに対しては -10.0% ～ +10.0% です。



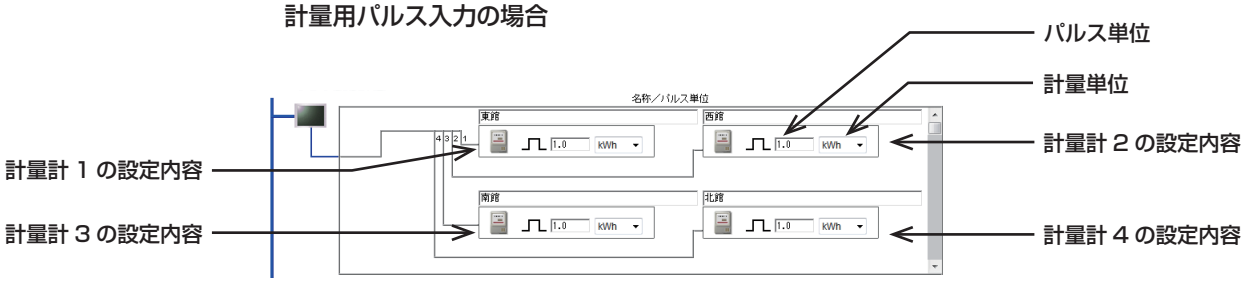
[3] 計量用計測コントローラと計量計の登録

以下の手順に従って、計量計のシステム設定を行います。最大 4 台の計量計を計量用計測コントローラ（PAC-YG60MC）または AE-200J/AE-50J/EW-50J の CN7 に接続できます。

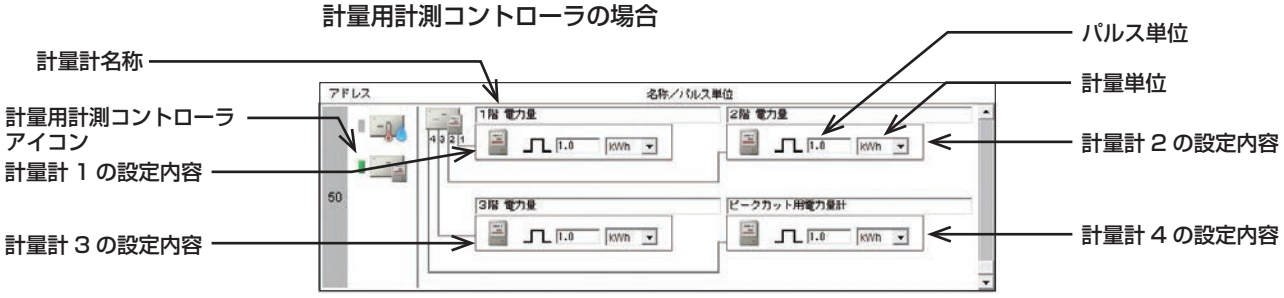
お知らせ

- 計量用計測コントローラは、AE-200J と複数の AE-50J/EW-50J が接続されたシステムでは合計 20 台まで登録できます。また、AE-200J/AE-50J/EW-50J 1 台当りでは 15 台まで登録できます。また、AE-200J/AE-50J/EW-50J に直接計量用パルス入力している場合は、1 台とカウントします。
- 計量用パルス入力の場合は、ユニットアドレスの設定は不要です。

計量用パルス入力の場合



計量用計測コントローラの場合



手順

1. スクロールバーを操作し、AE-200J/AE-50J アイコン、または計量用計測コントローラ（PAC-YG60MC）のアドレスを表示します。

2. 計量用計測コントローラアイコン（ ）を選択します。
   計量用パルス入力の場合は、最上段に表示され、選択の必要はありません。

   お知らせ

   - 選択を取り消すには、再度クリックします。

3. 計量計名称に、計量計の名称を入力します。

4. 計量計のパルス単位を入力し、計量単位を選択します。

   お知らせ

   - 測定単位は、**[kWh]**、**[m3]**、**[MJ]**、または **[--（単位なし）]** から選択できます。
   - 計量計を使用しない場合は、計量単位プルダウンメニューで空白を選択してください。
   - 設定可能範囲は 0.01 ～ 100 ですが、1 以下を推奨します。

   お願い

   - 使用する計量計に応じてパルス単位を設定してください。正常に設定されたことを確認するため、計量計のメーター値と計量用計測コントローラがカウントした値を確認し、一定時間経過後に両方の値が同じ値だけ増加していることを必ず確認してください。（計量用計測コントローラが計算した値は、管理者用 Web ブラウザで確認できます。）

[4] 警告メール機能設定

温度または湿度がある所定値を超えた場合に警告メールを受信したい場合、メール設定を行います。

手順

1.「メール種別」で、メールタイトルとメールアドレスを入力します。

お知らせ

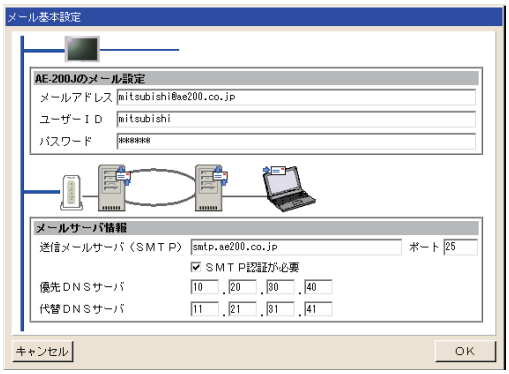
- 「メールタイトル」には、次の文字は使用できません:
  < > & " '

警告メールは、下記の形式で送信されます。

```
送信元 : 三菱ビル (000001)
発生日時 : 2014/03/31 19:13:42
アドレス : 22-1
現在値 : 23.1 ℃
状態 : 上限値超過
過去の推移 :
19:13 22.9 ℃
19:12 22.7 ℃
19:11 22.3 ℃
19:10 21.3 ℃
19:09 20.6 ℃
19:08 20.2 ℃
19:07 20.4 ℃
19:06 20.2 ℃
19:05 20.5 ℃
19:04 20.2 ℃
```

項目	フォーマット
送信元	AE-200J/AE-50J/EW-50J の名称＋識別番号 **お知らせ** • AE-200J/AE-50J/EW-50J の名称と識別番号の設定方法は 3-1-2 章参照
発生日時	yyyy/MM/dd hh:mm:ss **お知らせ** • 日付フォーマットは 4-2-5（基本システム画面）で設定した内容が反映されます。
アドレス	環境用計測コントローラの M-NET アドレス - センサー番号
現在値	現在の温度または湿度（小数点 1 桁） **お知らせ** • センサー値が安定するまでの間、現在値が「**.*」で送信されることがあります。
状態	" 上限値超過 " または " 上限値復旧 " または " 下限値超過 " または " 下限値復旧 "
過去の推移	時刻＋温度または湿度（過去 10 分間）

2. **[メール基本設定]** をクリックし、メールサーバ情報を入力します。



お知らせ

- 設定方法は、3-2-1 章に記述されたメール設定と同じです。詳細については、これらの章を参照してください。

[5] エネルギー管理データ形式設定

管理者用 Web ブラウザの **[エネルギー管理]** メニューの画面から CSV 形式で出力できるエネルギー管理データの形式を設定します。

3-2-8. エネルギー管理設定

エネルギー管理設定画面では、管理者用 Web ブラウザの **[エネルギー管理]** メニュー下の画面に表示されるエネルギー制御関連項目の設定を行います。例えば、外気温度を測定する温度センサー、室内ユニット消費電力のトレンドグラフを表示するデータの取得に使用する按分元電力量計、室外ユニットの消費電力量を室内ユニットごとの按分に使用するモードなどです。
メニューの **[機能設定 1]** − **[エネルギー管理設定]** をクリックしてエネルギー管理設定画面を開きます。

お知らせ

- 管理者ユーザーでログインした場合は、エネルギー管理設定が禁止されていることがあります。
- エネルギー管理設定はすべてのユニットの立ち上げが終わっている状態で行ってください。
  ユニットの立ち上げ中に設定保存すると、設定値が消えてしまう場合があります。
- AE-200J 按分を行っている場合は、課金按分の設定で按分されますので、この設定は無効となります。

外気温計測ユニット
外気温度を測定する温度センサーを選択します。

室内ユニットアドレス

更新
AE-200J/AE-50J/EW-50J から設定を読み込みます。

室内ユニットの按分モード

室内ユニットの按分元電力量計

グループ名称

按分元電力量計

設定保存
設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

手順

1. 「外気温計測ユニット」で、外気温度を計測する温度センサーを選択します。
   プルダウンメニューには、環境用計測コントローラに接続された温度センサーが表示されます。
   注：外気温連動設定と共通の設定です。

2. 「室内ユニットの按分モード」で、管理者用 Web ブラウザの **[エネルギー管理]** メニュー下の画面に表示される消費電力の按分に用いる室内ユニットの運転時間を計算する方法を選択します。
   [FAN 運転時間] を選択した場合は室内ユニットの FAN の運転時間から、**[サーモ ON 時間]** を選択した場合は室内ユニットのサーモ ON 時間から、**[能力セーブ量]** を選択した場合は室内ユニットの省エネ量から消費電力を按分します。
   設定は、システム要件に適したものを選択してください。**[能力セーブ量]** を選択することを推奨します。

   お知らせ

   - FAN 運転時間は、室内ユニットの積算運転時間です。
   - サーモ ON 時間は、室内ユニットに冷媒を流している時間です。
   - 能力セーブ量は、室外ユニットの能力の使用量（時間換算）です。
     消費電力量の算出は、室外ユニットの電力量に対して行い、室内ユニットの消費電力は考慮されません。

3. 「室内ユニットの按分元電力量計」で、グループ毎の室内ユニットの消費電力測定に使用する電力量計を選択します。
   プルダウンメニューには、計量用計測コントローラの場合は［「アドレス」＋計量用計測コントローラのアドレス＋「-」＋電力量計番号＋電力量計名称］、計量用パルス入力の場合は［電力量計番号＋電力量計名称] が表示されます。

   お知らせ

   - グループ名称の長さによっては、グループ名称をすべて表示できない場合があります。
   - グループ名称が登録されていない場合は、**[「グループ」＋グループ番号]** が表示されます。
   - **[計測設定]** 画面で計測単位が **[kWh]** で設定されている電力量計のみ選択可能です。

4. **[設定保存]** をクリックして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

3-3. 機能設定 2

3-3-1. 設定温度範囲制限

手元リモコンまたは一般ユーザー用 Web ブラウザの設定温度の範囲を制限することができます。冷房、暖房、および自動モードの設定温度の上／下限を制限することで、省エネ効果が期待できます。
メニューの **[機能設定 2]** − **[設定温度範囲制限]** をクリックして設定温度範囲制限設定画面を開きます。

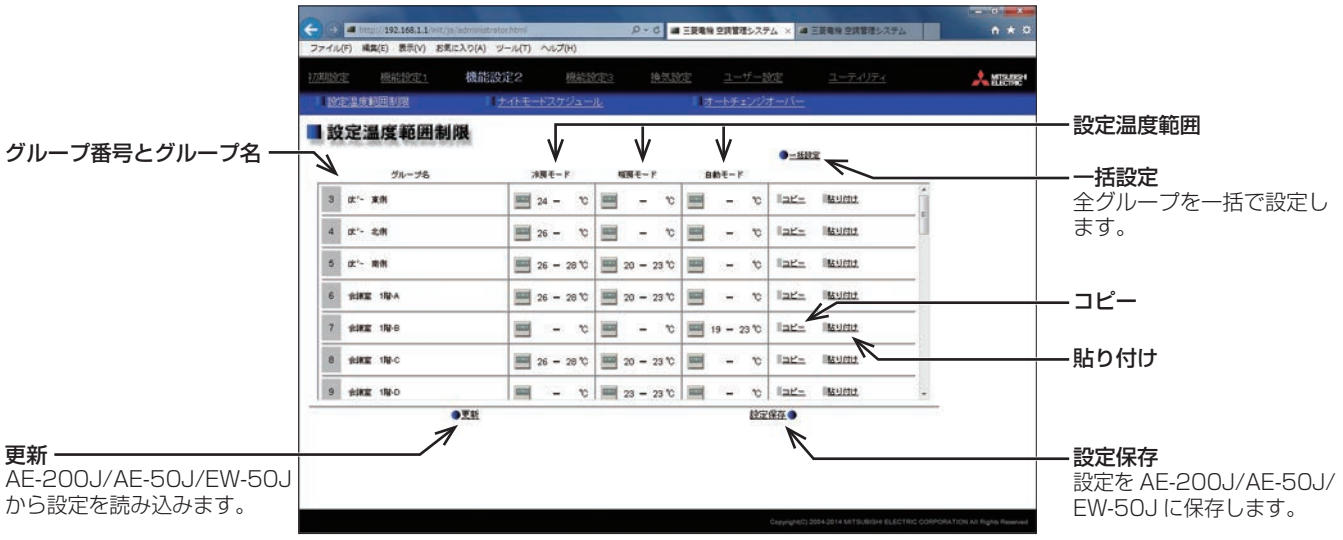
お知らせ

- 設定温度の操作範囲制限は下記リモコンに対して利用可能です。※ 1

ME リモコン（PAR-F27ME）	：冷房下限値、暖房上限値
ME リモコン（PAR-F28ME、PAR-F29ME、PAR-F29ME1、PAR-F30ME）	：冷房上下限、暖房上下限、自動上下限
MA スムースリモコン（PAR-22MA、PAR-24MA、PAR-26MA、PAR-26MA1）※ 2	：冷房上下限、暖房上下限、自動上下限
MA スマートリモコン（PAR-30MA ～ PAR-34MA、PAR-35MA、PAR-36MA）※ 2	：冷房上下限、暖房上下限、自動上下限
MA デラックスリモコン（PAC-YT35ST、PAC-YT37ST）※ 2	：冷房上下限、暖房上下限、自動上下限
MA コンパクトリモコン（PAC-YT51CR、PAC-YT52CR）※ 2	：冷房上下限、暖房上下限、自動上下限

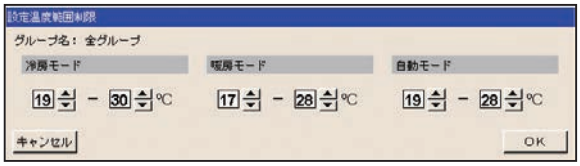
※ 1 設定可能な運転モードは機種により異なります。
※ 2 機種により本機能が利用できない場合があります。

- リモコンと室内ユニットの機種により、設定温度範囲制限設定が有効でない場合があります。
- A 制御スリム、ルームエアコンとハウジングエアコンは、設定温度範囲制限設定を利用できません。
- 設定温度範囲制限設定は、一般ユーザー用 Web ブラウザでは有効ですが、管理者用 Web ブラウザでは有効ではありません。管理者用 Web ブラウザでは、本設定にかかわらず、ユニットの動作可能温度範囲内の任意の温度に設定できます。
- 管理者ユーザーでログインした場合は、設定温度範囲制限設定が禁止されていることがあります。
- 自動モードの設定温度制限の範囲は、デュアルオートモードに対応した空調機グループについては設定できません。通常冷房および暖房モードの設定温度範囲が、デュアルオートモードの冷房と暖房の設定温度範囲に使用されます。



手順

1. 上方または下方スクロールして、対象のグループを表示します。次に、**[設定温度範囲]** をクリックして、設定画面を表示します。
   すべてのグループに対して一度に設定を行う場合は、**[一括設定]** をチェックします。
   冷房、暖房、および自動モードの設定温度範囲を設定し、**[OK]** ボタンをクリックして、前の画面に戻ります。



お知らせ

- ドライモードの設定温度範囲は、冷房モードと同じになります。

2. ある操作グループの設定を、他の操作グループへコピーしたい場合は、**[コピー]** をクリックして選択状態（黄緑色）とし、対象の操作グループの行で **[貼り付け]** をクリックします。

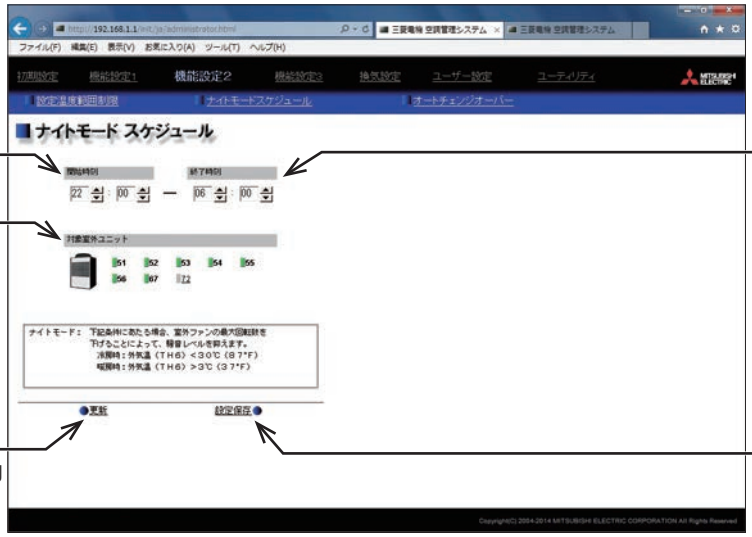
3. **[設定保存]** をクリックして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

3-3-2. ナイトモード（低騒音運転）スケジュール

室外ユニットを特定の時間、低騒音運転に切り換えることができます。夜間のみ室外ユニットの運転を低騒音化したい場合などにご利用ください。
メニューの **[機能設定 2]** − **[ナイトモードスケジュール]** をクリックしてナイトモードスケジュール設定画面を開きます。

お知らせ

- すべてのユニットが正常に運転している状態で設定してください。室内または室外ユニットで接続異常が発生している場合、対象室外ユニットが正しく表示されないことがあります。
- ナイトモード運転により低減される騒音値は、室外ユニットの機種により異なります。
- 管理者ユーザーでログインした場合は、ナイトモードスケジュール設定が禁止されていることがあります。
- 時間帯設定は日をまたいだ設定も可能です。（例：22:00 ～ 6:00）



手順

1. 「開始時刻」および「終了時刻」で、ナイトモード運転を実行する開始および終了時刻を指定します。

   お知らせ

   - 開始時刻と終了時刻が同じ場合、常時ナイトモード運転を行います。

2. 「対象室外ユニット」で、対象室外ユニットの M-NET アドレスを選択します。

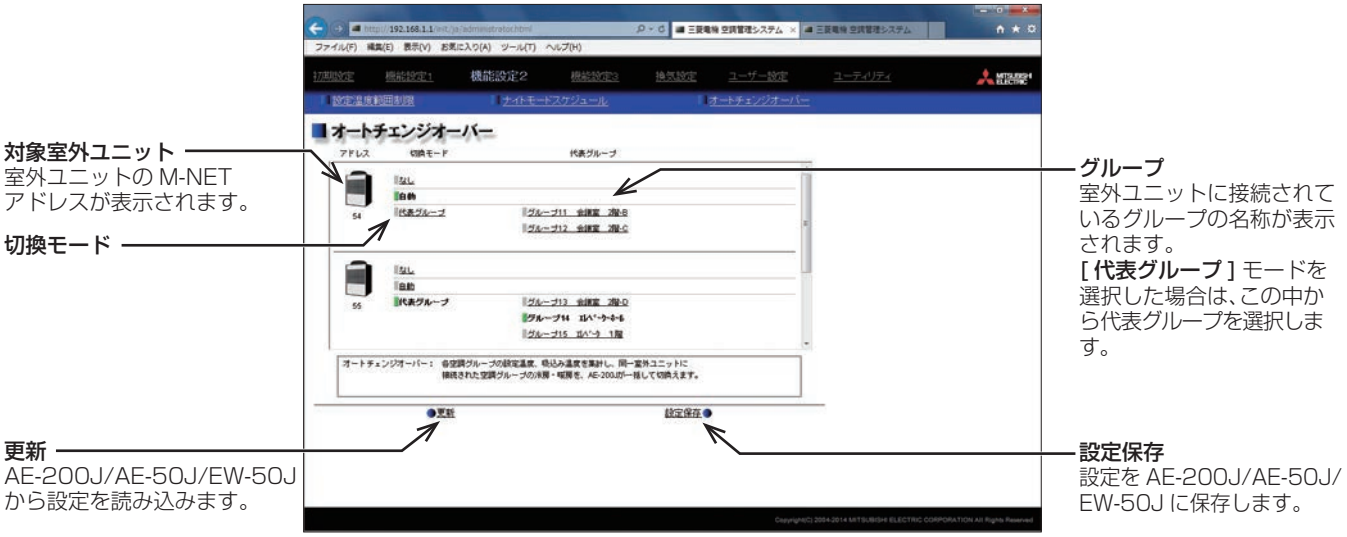
3. **[設定保存]** をクリックして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

3-3-3. オートチェンジオーバー

オートチェンジオーバー機能は、同一の室外ユニットに接続された室内ユニットの運転モード（冷房と暖房）を、室温と設定温度に基づいて自動で切り換えます。メニュー **[機能設定 2]** − **[オートチェンジオーバー]** をクリックしてオートチェンジオーバー設定画面を開きます。
オートチェンジオーバー機能は、自動モードのない Y シリーズの室外ユニットで利用できます。朝のうちは暖房を入れ、午後に一斉に冷房に切り換えたい場合などに本機能をご利用ください。すべての室内ユニットの運転モードが自動で切り換えられるため、リモコンから手動で運転モードを切り換える必要はありません。

お知らせ

- 切換モードを「自動」に設定した場合は、各室内ユニットの能力値を考慮した多数決方式で、「代表グループ」に設定した場合は、選択したグループの状態によって、15 分に 1 回、冷房または暖房を判断し、運転モードを切り換えます。
- 管理者ユーザーでログインした場合は、オートチェンジオーバー設定が禁止されていることがあります。
- 運転モードに自動モードを含む R2 シリーズの場合は、オートチェンジオーバー機能の代わりに自動モードを使用して、運転モードを自動で切り換えてください。



手順

1. 下表を参照して、切換モード **[なし]**、**[自動]**、または **[代表グループ]** を選択します。
[代表グループ] を選択した場合は、さらに右側のグループの中から代表となるグループを選択します。

切換モード	内容
なし	オートチェンジオーバー機能は使用されません。
自動	室外ユニットに接続された全ての室内グループの設定温度と室温の差，および室内グループに含まれる各室内ユニットの能力値を考慮して運転モード（冷房・暖房）を切り換えます。 **お知らせ** • 停止しているグループ、送風･自動モードで運転しているグループは運転モードを切り換えません。
代表グループ	代表グループの設定温度と室温の差で運転モード（冷房・暖房）を切り換えます。 **お知らせ** • 代表グループの空調機が停止している場合、および運転モードが送風･自動モードの場合は、代表グループモードではなく、自動切換モードにて制御します。

2. **[設定保存]** をクリックして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

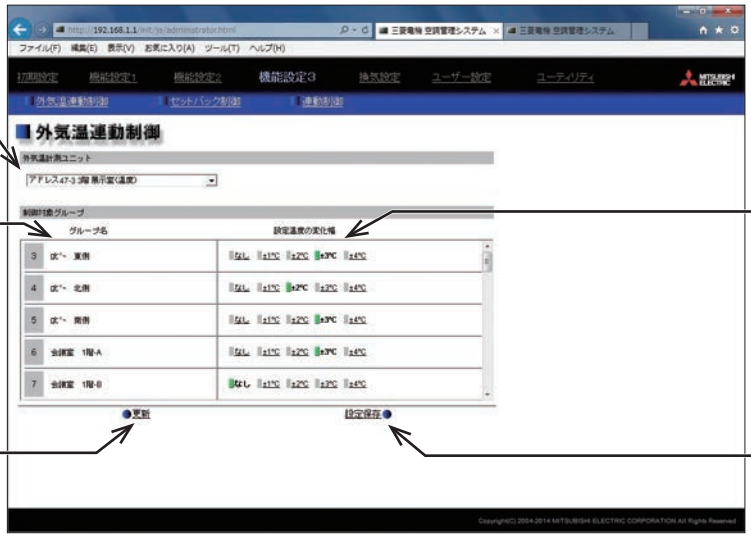
3-4. 機能設定 3

3-4-1. 外気温連動制御

設定温度と外気温度の温度差に連動して、設定温度を自動調節することができます。建物入口の空調機にこの制御設定を行うことで、急激な温度変化による身体への負担を軽減することができます。
メニューの **[機能設定 3]** − **[外気温連動制御]** をクリックして、外気温連動制御設定画面を開きます。

お知らせ

- 外気温度は環境用計測コントローラ（PAC-YG63MC）を接続し、温度センサーにて計測してください。
- 管理者ユーザーでログインした場合は、外気温連動制御設定が禁止されていることがあります。



手順

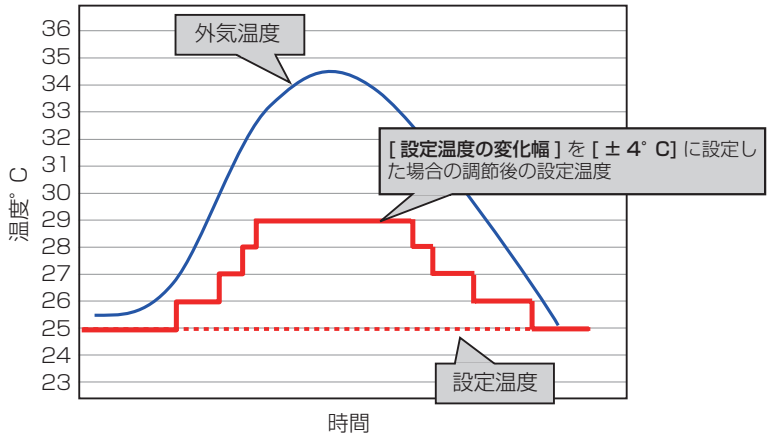
1. 「外気温計測ユニット」で、外気温度を計測する温度センサーを選択します。
   プルダウンメニューに、環境用計測コントローラに接続した温度センサーの名称が表示されます。

2. 「設定温度の変化幅」で、各グループに外気温度に連動して、最大何° C まで設定温度を変化させるかを選択します。
   例えば、**[± 4° C]** を選択し、冷房またはドライモードで設定温度が 24° C の場合、設定温度と室外温度の温度差に基づいて最高 28° C まで設定温度が変化します。**[± 2° C]** を選択した場合は、最高 26° C まで設定温度が変化します。

3. **[設定保存]** をクリックして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

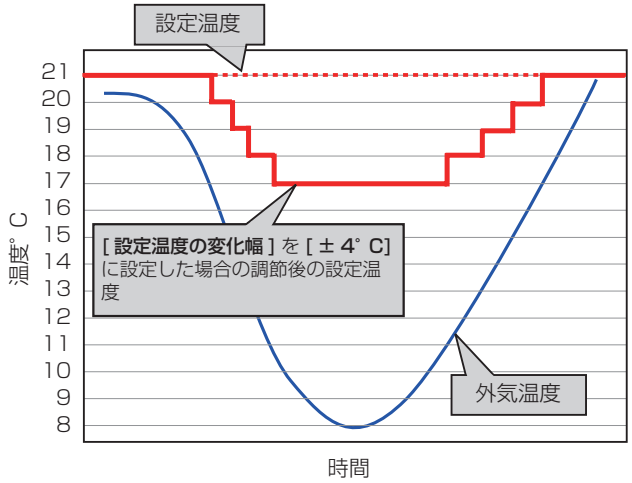
外気温連動制御機能が作動している場合、設定温度は下記の通りに調節されます。

■「冷房」および「ドライ」モードの場合



外気温度条件	調節後の設定温度
外気温度≧設定温度 +1.5° C	設定温度 +1° C
外気温度≧設定温度 +4.5° C	設定温度 +2° C
外気温度≧設定温度 +6.5° C	設定温度 +3° C
外気温度≧設定温度 +7.5° C	設定温度 +4° C

■「暖房」モードの場合



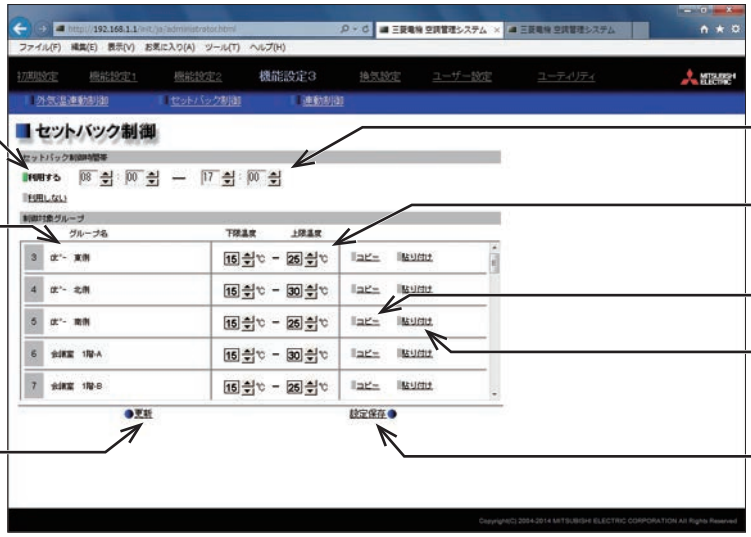
外気温度条件	調節後の設定温度
外気温度≦設定温度 -4.0° C	設定温度 -1° C
外気温度≦設定温度 -6.0° C	設定温度 -2° C
外気温度≦設定温度 -8.0° C	設定温度 -3° C
外気温度≦設定温度 -10.0° C	設定温度 -4° C

3-4-2. ナイトセットバック制御

ナイトセットバック制御機能は、夜間、室温が一定の温度範囲から外れた場合に、自動的に暖房または冷房を行い、室内の露付きや過度の温度上昇を防止します。メニューの **[機能設定 3]** − **[セットバック制御]** をクリックして、ナイトセットバック制御設定画面を開きます。
本制御では、ナイトセットバック対象グループが「停止」かつ「下限温度を超過」した場合に暖房運転を開始します。また、「停止」かつ「上限温度を超過」した場合に冷房運転を開始します。なお、ナイトセットバック制御中に手元リモコンで「運転 / 停止」「運転モード」「設定温度」を変更した場合は、その状態を維持し、ナイトセットバック制御前の状態には戻しません。

お知らせ

- 対象のグループが停止、かつ室温が指定の上下限温度を超過した場合に、冷房 / 暖房運転を開始します。
- 空調機の吸込み温度センサーで室温を計測している場合、空調機停止中は内部に空気がこもり、実際の室温と相違がでる場合があります。この場合は、外付けの温度センサー（PAC-SE40TS-W）やリモコンセンサーに切り換えて室温を計測してください。
- 管理者ユーザーでログインした場合は、ナイトセットバック制御が禁止されていることがあります。



ナイトセットバック制御 利用有無

グループ番号と グループ名称

更新
AE-200J/AE-50J/EW-50J から設定を読み込みます。

ナイトセットバック制御 時間帯

設定温度範囲

コピー

貼り付け

設定保存
設定をAE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

手順

1. **[利用する]** を選択し、ナイトセットバック制御を有効とする時間帯を設定します。

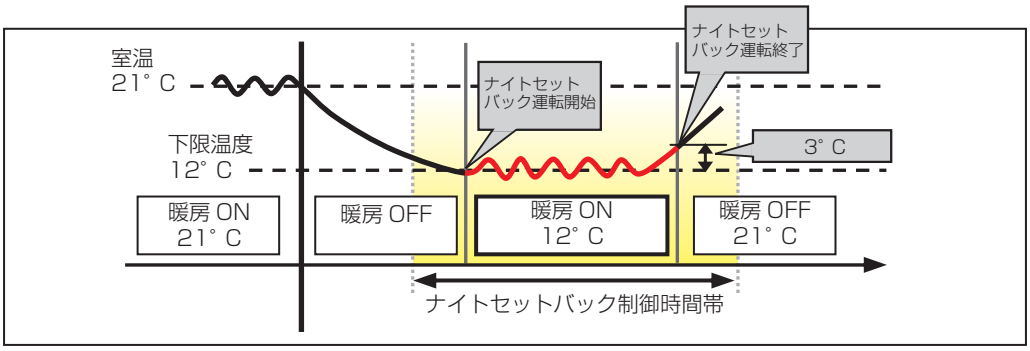
   お知らせ

   - **[00:00 - 00:00]** を設定した場合、ナイトセットバック制御は常時（24 時間）有効となります。

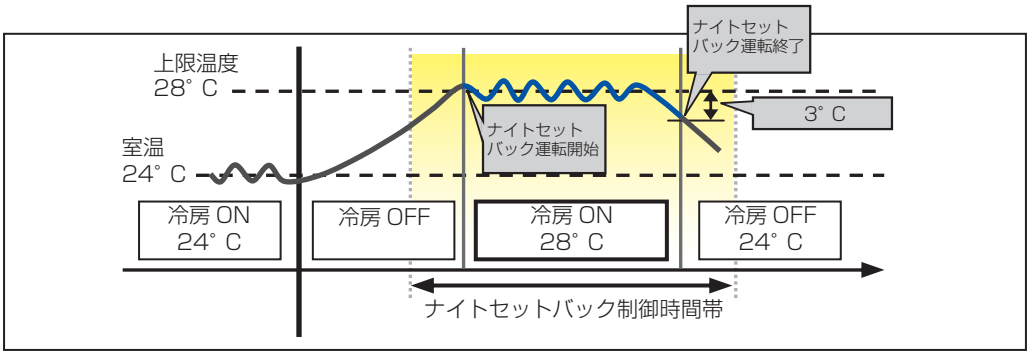
2. 「制御温度範囲」で、各グループに上限・下限温度を設定します。
   例えば、「ナイトセットバック制御時間帯」を **[01:00 - 05:00]**、「制御温度範囲」を **[12° C - --° C]** に設定した場合、1：00 ～ 5：00 の間に室温が 12° C を下回ると、自動的に暖房運転を開始します。制御終了時間の 5：00 になると、元の設定温度に戻して運転を停止します。

お知らせ

- 暖房運転の空調機は、ナイトセットバック制御時間帯が終了、または室温が下限温度から 3˚ C 以上上がると停止し、設定温度は元に戻ります。同様に、冷房運転の空調機は、ナイトセットバック制御時間帯が終了、または室温が上限温度から 3˚ C 以上下がると停止し、設定温度は元に戻ります。



下限温度超過時（暖房制御）



上限温度超過時（冷房制御）

3. ある操作グループの設定を、他の操作グループへコピーしたい場合は、**[コピー]** をクリックして選択状態（黄緑色）とし、対象の操作グループの行で **[貼り付け]** をクリックします。

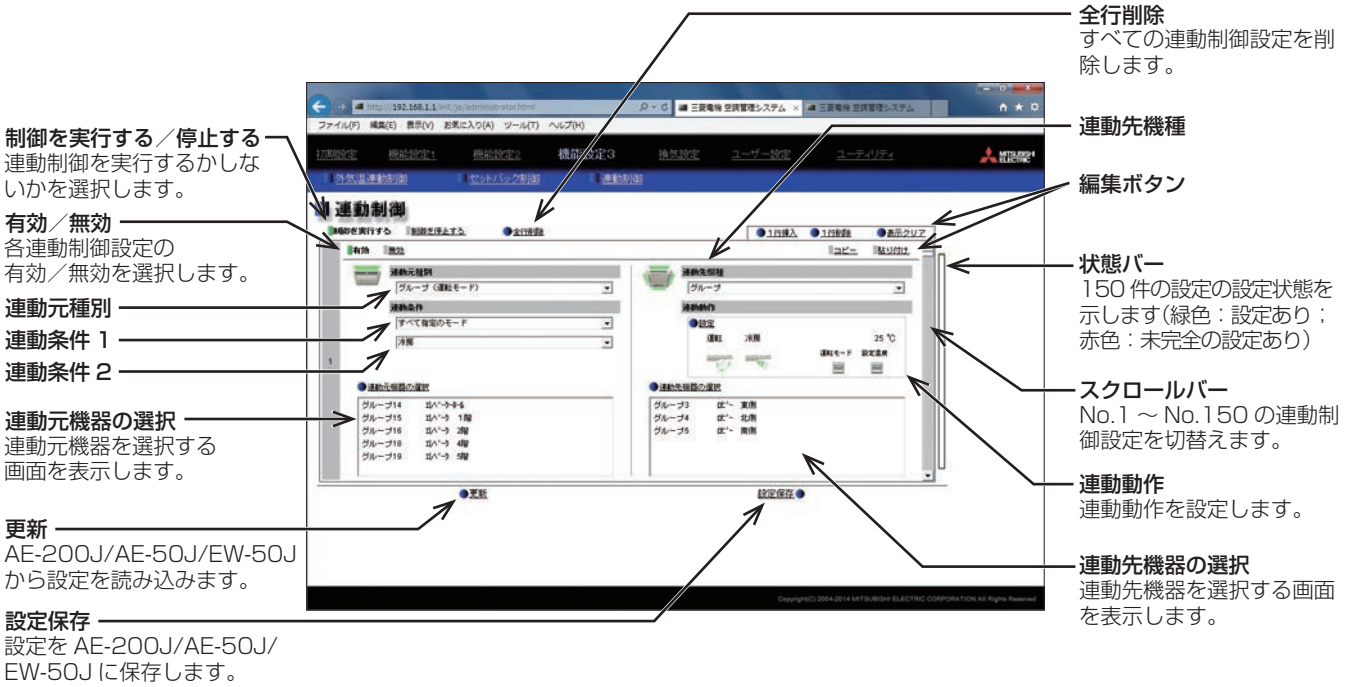
4. **[設定保存]** をクリックして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

3-4-3. 連動制御

メニューの **[機能設定 3]** − **[連動制御]** をクリックして、連動制御設定画面を開きます。連動条件および連動動作を設定し、**[設定保存]** をクリックして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

お知らせ

- 連動制御機能を使用するには、別途連動制御ライセンスが必要です。**[オプション機能のライセンス登録]** 画面で、必要なライセンスが正しく登録されていることを確認してください。（詳細については、第 3-8 章を参照してください。）
- 管理者ユーザーでログインした場合は、連動制御設定が禁止されていることがあります。
- 「外部入力の設定」を **[運転／停止モード（レベル入力）]** に設定した場合、連動制御は有効ではありません。（3-1-2 [3] 章参照）
- 連動元機器または連動先機器として選択しているグループを、グループ設定画面で変更または削除する場合は、そのグループの連動制御設定を必ず削除してから必要に応じて再設定してください。



No.1 ～ No.150 の最大 150 件の連動制御設定が AE-200J/AE-50J/EW-50J ごとに設定できます。（AE-200J 1 台、AE-50J/EW-50J 3 台の構成では、最大 600 件の連動制御設定ができます。）連動制御では、3 ～ 5 秒ごとに No.1 から No.150 の順に状態変化を判定し、連動条件が満たされた場合に、連動先機器に連動動作を指令します。
各連動制御設定の連動条件（連動元種別、連動条件、および連動元機器）と連動動作（連動先機種、連動動作、および連動先機器）を設定することにより、連動先機器と連動元機器を連動制御させることができます。

お知らせ

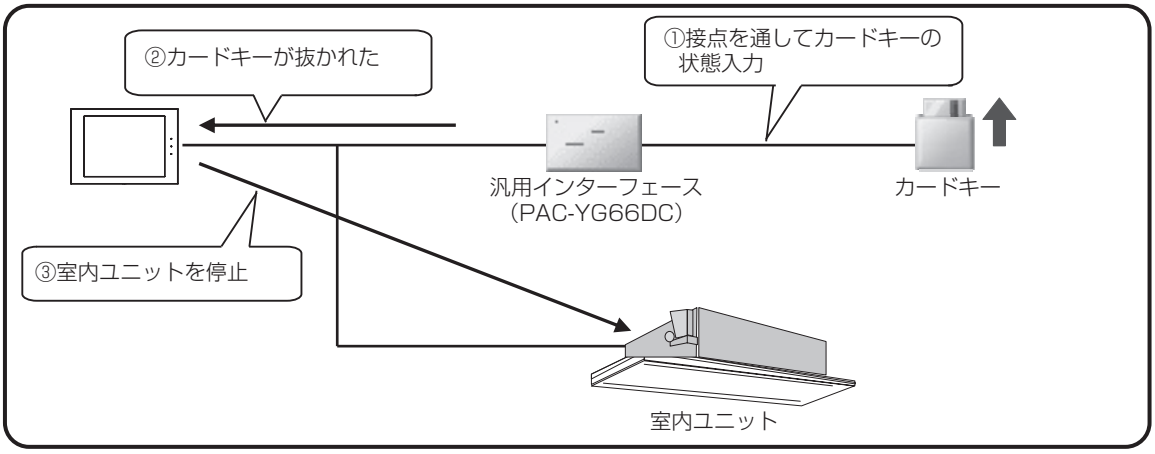
以下に同意し、連動制御機能を使用してください。

1. この機能を防災または保安の目的に使用しないでください。使用する場合は、必ずバックアップ装置を準備してください。（特に、人命に関わるような用途には使用しないでください。）
2. 連動先動作の設定で連動動作設定の際は、連動先機器でサポートされない連動動作を設定しないでください。機器の故障になることがあります。
3. 各連動制御設定の完了後、試運転を行い、設定と運転が適切であることを確認してください。
4. 以下の例で示すような連動制御設定をしないでください。「運転」と「停止」を永遠に繰り返すことにより、機器損傷の原因になります。

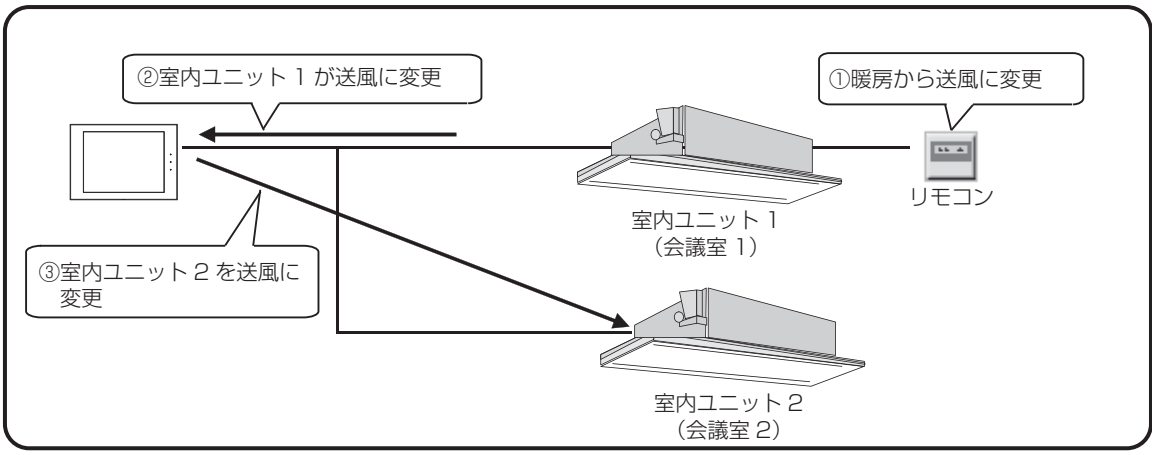
例 1：グループ 1 が「運転」したらグループ 1 を「停止」する。
例 2：グループ 1 が「停止」したらグループ 1 を「運転」する。

連動運転の例を 8 つ以下に示します。

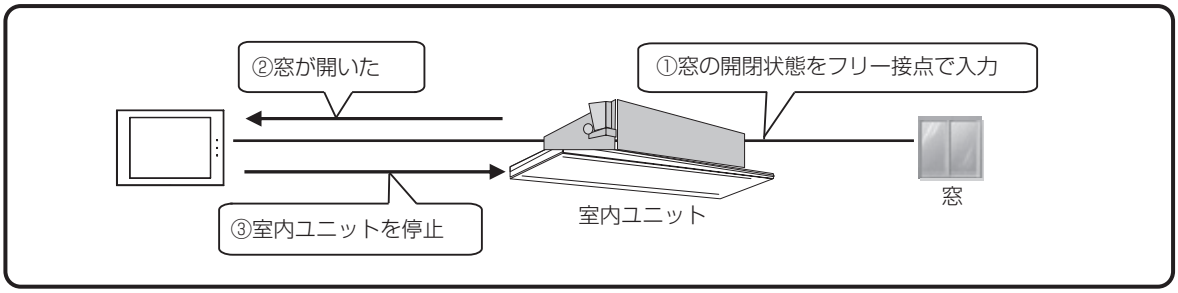
例 1：汎用インターフェースを介したカードキーと室内ユニットの連動



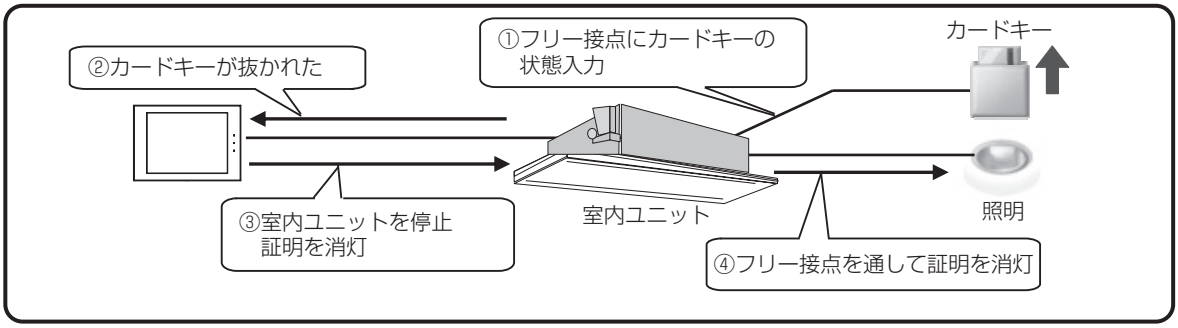
例 2：室内ユニット間の運転モードの連動



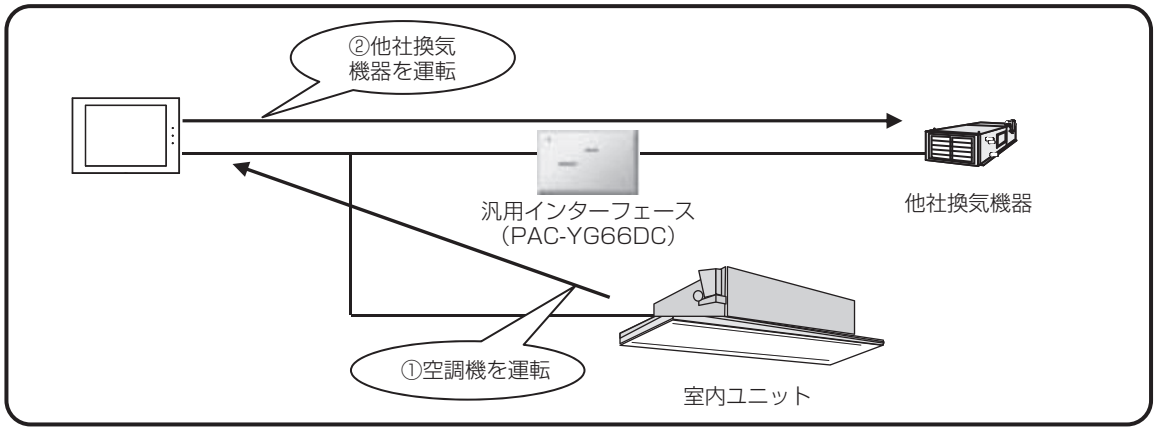
例 3：室内ユニットのフリー接点を利用した窓と室内ユニットの連動



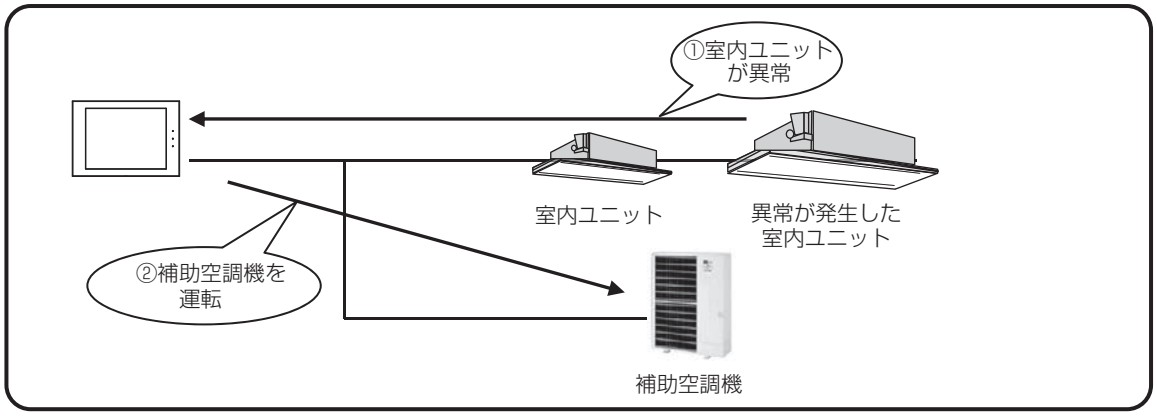
例 4：室内ユニットのフリー接点を利用したカードキー、室内ユニット、および照明の連動



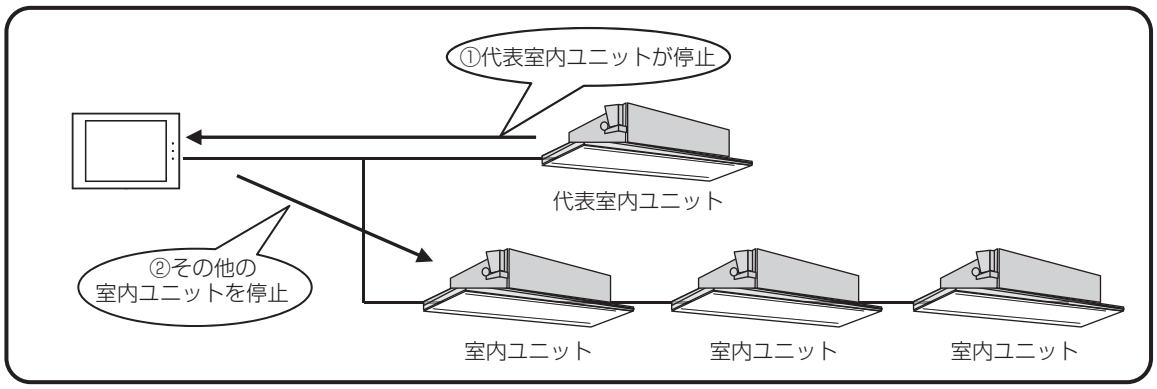
例５：他社換気機器との連動



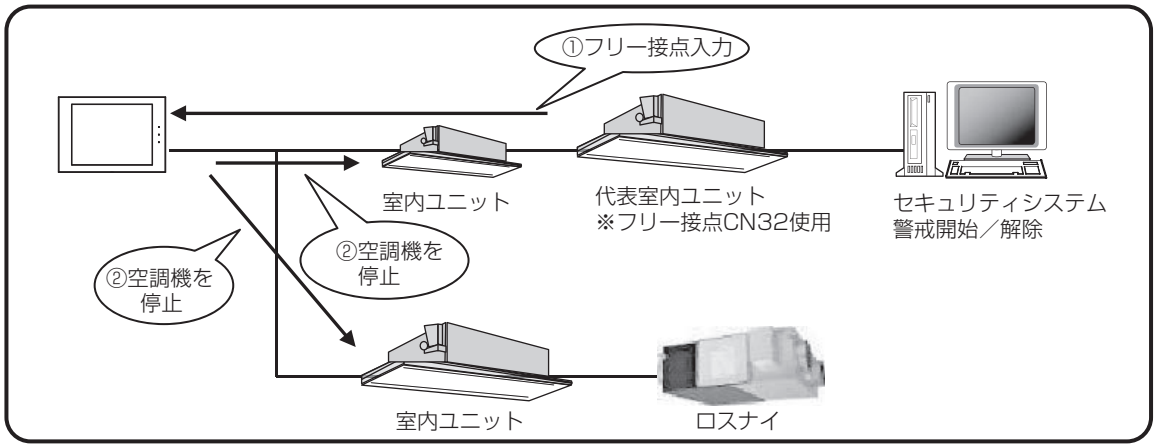
例６：空調機間連動



例７：空調機間連動



例８：警備連動



[1] 連動条件の設定

手順

1. 連動元種別および連動条件の設定
   下表を参照して、連動元種別と連動条件 1 および 2 を選択します。

連動元種別	連動元機器アイコン	連動条件 1	連動条件 2
グループ （運転／停止）		すべて運転 すべて停止 1 グループ以上運転 1 グループ以上停止	–
グループ （運転モード）		すべて指定のモード すべて指定のモード以外 1 グループ以上指定のモード 1 グループ以上指定のモード以外	空調機グループ：　※ 1 冷房、ドライ、送風、暖房、自動 換気機器グループ（ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ）： 普通換気、熱交換換気、自動
グループ （異常／復旧）		すべて異常 すべて復旧 1 台以上異常 1 台以上復旧	–
フリー接点 （ON ／ OFF）		すべて ON すべて OFF 1 点以上 ON 1 点以上 OFF	–

※ 1　連動元機器で使用できない運転モードを設定した場合、連動条件は成立しません。

お知らせ

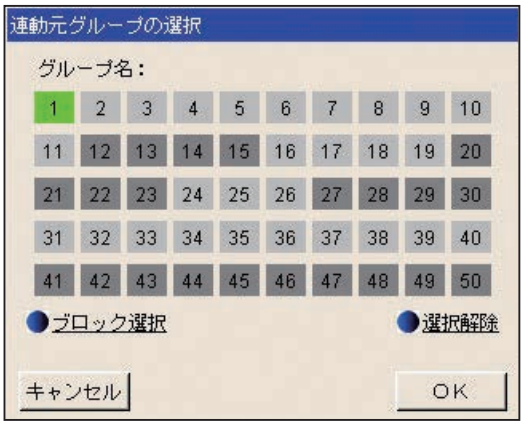
- 「連動元種別」を **[グループ（運転／停止）]**、連動条件 1 を **[すべて運転]** に設定した場合、連動元機器の状態が **[すべて停止]**、**[1 グループ以上運転]**、または **[1 グループ以上停止]** から **[すべて運転]** に変化したときに、連動動作を連動先機器に指令します。
- フリー接点は、ソフトウェアバージョン 33 以降の R410A および R407C 互換室内ユニットで使用できます。ソフトウェアバージョンは、メンテナンスツールで確認してください。
- 「外部入力の設定」が **[緊急停止モード（レベル入力）]** または **[緊急停止　復元モード（レベル入力）]**（3-1-2 [3] 章参照）に設定されていて、外部入力の接点が ON の状態では、発停の連動制御は実行されません。

2. 連動元機器の選択

[連動元機器の選択] をクリックして、連動元機器を選択する画面を表示します。
選択した連動元種別により、表示される画面が異なります。

(1)「連動元種別」に **[グループ（運転／停止）]**、**[グループ（運転モード）]**、または **[グループ（異常／復旧）]** を選択した場合

[連動元グループの選択] 画面が現れます。



連動元に登録するグループ番号を選択し、選択状態（黄緑色）にします。
選択を解除したい場合は、再度クリックすることで非選択状態（薄灰色）に戻ります。
[選択解除] をクリックすることにより、選択されているグループがすべて非選択状態になります。

ブロック単位で選択したい場合は、**[ブロック選択]** をクリックするとブロック選択画面が表示されます。ブロック名を選択し、**[OK]** を押します。そのブロックに登録されたグループが選択状態（黄緑色）になります。

お知らせ

- 「連動元種別」を **[グループ（運転／停止）]** または **[グループ（異常／復旧）]** に設定した場合は、空調機グループ、ロスナイグループ、および汎用機器（汎用インターフェース PAC-YG66DC を介して接続）グループが選択できます。
  連動元種別を **[グループ（運転モード）]** に設定した場合は、空調機グループとロスナイグループが選択できます。
- 異なる種類のグループ（空調機グループ、ロスナイグループ、または汎用機器（汎用インターフェース PAC-YG66DC を介して接続）グループ）は、同時に選択できません。

(2)「連動元種別」に **[フリー接点（ON ／ OFF）]** を選択した場合

[連動元ユニットアドレスの選択] 画面が現れます。

連動元に登録する汎用機器が接続されている室内ユニットのアドレスを選択し、選択状態（赤枠）にします。
次に、各室内ユニットについて接点番号を選択し、選択状態（黄緑色）にします。

[2] 連動動作の設定

手順

1. 連動先機種および連動動作の設定
   下表を参照して、連動先機種を選択し、連動動作を設定します。

連動先機種	連動先機器アイコン	連動動作	
		設定項目	設定オプション
グループ		運転／停止	運転、停止
		運転モード ※1	空調機グループ： 冷房、ドライ、送風、暖房、自動 換気機器（ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ）： 普通換気、熱交換換気、自動
		設定温度 ※1	指定温度
		風向 ※1	中3、中 2、中 1、中 0、水平、スイング、自動
		風速 ※1	微弱、弱、中 2、中 1、強、自動
		リモコン操作禁止設定（運転／停止）	許可、禁止
		リモコン操作禁止設定（運転モード）	許可、禁止
		リモコン操作禁止設定（設定温度）	許可、禁止
フリー接点		ON ／ OFF	ON、OFF

※ 1 接続された室内ユニットの機種により、使用できない設定があります。
連動動作設定の際は、連動先の機器が利用できる設定を行ってください。

選択した連動先機種により、表示される連動動作の設定画面が異なります。

(A)「連動先機種」に **[グループ]** を選択した場合

「連動動作」欄の **[設定]** をクリックし、**[連動先動作の設定]** 画面を表示します。

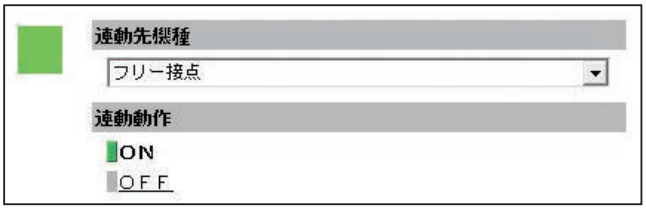
連動条件が満たされた時に指令する連動動作を設定します。

お知らせ

- 「運転モード」が未選択状態では、設定温度を設定することはできません。
- 連動先機器で使用できない運転モードが選択された場合、その機器に対しては連動制御は実行されません。
- 「設定温度」は空調機の機種によっては設定できない温度範囲でも設定できる場合がありますが、空調機の故障を防ぐため、設定温度を通常動作温度範囲内の温度に設定してください。
- 「風向」のスイングと自動、「風速」の自動については、連動先機器で使用できない場合は、出力されません。風向と風速は、接続された空調機の機種によって設定段数が異なる場合は、設定可能な範囲にて出力されることがあります。
- 連動条件が満たされた場合、連動動作を連動先機器に指令するのにある程度の時間がかかります。このため、通常 3 ～ 5 秒ごとに実行される状態変化判定に遅延が発生することがあります。

(B)「連動先機種」に **[フリー接点]** を選択した場合

連動動作の **[ON]** または **[OFF]** を選択して、連動先機器を運転／停止します。



2. 連動先機器の選択

[連動先機器の選択] をクリックして、連動先機器を選択する画面を表示します。
選択した連動先機種により、表示される画面が異なります。

(A)「連動先機種」に **[グループ]** を選択した場合

[連動先グループの選択] 画面が現れます。

連動先に登録するグループ番号を選択し、選択状態（黄緑色）にします。
選択を解除したい場合は、再度クリックすることで非選択状態（薄灰色）に戻ります。
[選択解除] をクリックすることにより、選択されているグループがすべて非選択状態になります。

ブロック単位で選択したい場合は、**[ブロック選択]** をクリックするとブロック選択画面が表示されます。ブロック名を選択し、**[OK]** を押します。そのブロックに登録されたグループが選択状態（黄緑色）になります。

お知らせ

- 「連動先機種」を **[グループ]** に設定した場合は、空調機グループ、ロスナイグループ、加熱加湿付ロスナイグループ、および汎用機器（汎用インターフェース PAC-YG66DC を介して接続）グループが選択できます。
- 異なる種類のグループ（空調機グループ、ロスナイグループ、加熱加湿付ロスナイグループ、または汎用機器（汎用インターフェース PAC-YG66DC を介して接続）グループ）は、同時に選択できません。

(B)「連動先機種」に **[フリー接点]** を選択した場合

[連動先ユニットアドレスの選択] 画面が現れます。

連動先に登録する汎用機器が接続されている室内ユニットのアドレスを選択し、選択状態（赤枠）にします。
次に、各室内ユニットについて接点番号を選択し、選択状態（黄緑色）にします。

[3] 連動制御設定の有効化／無効化

有効／無効ボタンを使用して、各連動制御設定を有効または無効にします。
[無効] に設定した連動制御設定は実行されません。

[4] 連動制御の一時的な無効化

[制御を停止する] をクリックすると、連動制御が一時的に無効になります。**[制御を実行する]** をクリックすると、連動制御が再開します。

お知らせ

・ **[制御を停止する]** を選択している間に生じる状態変化は無視されます。

[5] 連動制御設定の編集

編集ボタンを使用して、連動制御設定を行単位で編集します。

ボタン名	機能
全行削除	すべての連動制御設定を削除します。
1 行挿入	表示されている連動制御設定の行の直前に空白行を挿入し、以降の行を 1 行繰り下げます。 最終行に連動条件が入力されている場合は挿入できません。
1 行削除	表示されている行の連動制御設定を削除し、以降の行を 1 行繰り上げます。
表示クリア	表示されている行の連動制御設定をクリアします。
コピー	コピー元の行で **[コピー]** をクリックし、コピー先の行で **[貼り付け]** をクリックすることで行の設定を他の行にコピーできます。
貼り付け	

3-5. 換気設定

3-5-1. 24 時間換気設定

24 時間換気設定を利用したい場合は、メニューの **[換気設定]** − **[24 時間換気設定]** をクリックして 24 時間換気設定画面を開きます。

お知らせ

- 24 時間換気機能があるロスナイグループのみ表示されます。
- 外部入力によるレベル運転中は、24 時間換気運転しません。
- 24 時間換気を有効から無効にする場合は、24 時間換気のスケジュールを削除してから設定を変更してください。
- 24 時間換気を無効にすると、ロスナイの運転が停止します。通常の運転動作をさせるには、ロスナイの操作設定画面で行ってください。

24時間換気設定
24時間換気設定の有効／無効を設定します。

グループ番号・グループ名
グループ番号・グループ名が表示されます。

一括設定
全グループを一括して設定します。

更新
AE-200J/AE-50J/EW-50J から設定内容を読み込みます。

設定保存
AE-200J/AE-50J/EW-50J に設定内容を保存します。

手順

1. 24 時間換気設定で、**[有効]**、**[無効]** を選択します。

   お知らせ

   - 全てのグループを一括して設定したい場合は、**[一括設定]** をクリックし、有効／無効を選択します。

2. 全ての設定が完了したら、**[設定保存]** をクリックして AE-200J/AE-50J/EW-50J に設定内容を保存します。

   お知らせ

   - 24 時間換気を有効にした場合、ユニットの 24 時間換気運転が有効になり、AE-200J/AE-50J/EW-50J の操作画面で **[24 時間換気]** ボタンが表示されます。
   - 手元リモコンから設定変更された場合、AE-200J/AE-50J/EW-50J の設定も変更されます。

   お願い

   - ロスナイが運転時に設定を無効にしないでください。
     無効に設定したグループは、設定保存時にロスナイは停止します。

3-5-2. ナイトパージ設定

ナイトパージを利用したい場合は、メニューの [**換気設定**] − [**ナイトパージ設定**] をクリックしてナイトパージ設定画面を開き、各種ナイトパージ設定を行います。
この設定を行うことで、外気温度の低い夜間に外気を取り入れ、室内の空気を排出することで翌日の冷房の立ち上がり時の冷房負荷を軽減することができます。

お知らせ

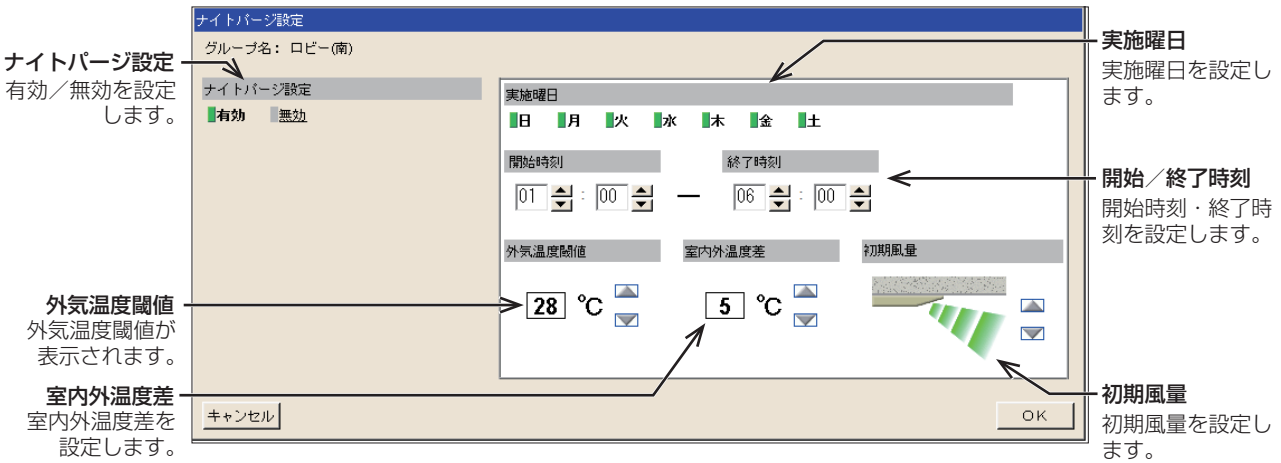
- ナイトパージ機能があるロスナイグループのみ表示されます。
- ナイトパージ運転中は、普通換気で運転します。
- 外部入力によるレベル運転中は、ナイトパージ運転しません。
- ナイトパージ時間帯にスケジュールが設定されている場合、スケジュールが優先されます。

お知らせ

- 全てのグループを一括して設定したい場合は、[**一括設定**] をクリックし、設定内容を入力します。

手順

1. [**設定内容表示**] をクリックすると、内容を設定する画面が表示されます。



2. ナイトパージ設定の **[有効]**、**[無効]** を選択します。

3. ナイトパージを実施する曜日を選択します。
開始時刻の曜日を実施曜日としてください。例えば、開始時刻を 23:00、終了時刻を 6:00 とした場合、実施曜日を「月」とすると月曜日の 23:00 に開始し、火曜日の 6:00 に終了します。

4. ナイトパージの開始時刻／終了時刻を設定します。

5. 外気温度閾値を設定します。外気温度閾値の設定温度範囲は、「15℃～ 30℃」です。

6. 室内外温度差を設定します。室内外温度差の設定温度範囲は、「0℃～ 7℃」です。

7. ナイトパージ運転中の初期風量を設定します。

お知らせ

- 自動あり機種でも自動は表示されません。

8. **[OK]** をクリックして元の画面に戻ります。

9. 設定内容入力後、**[設定保存]** をクリックして AE-200J/AE-50J/EW-50J に設定内容を保存します。

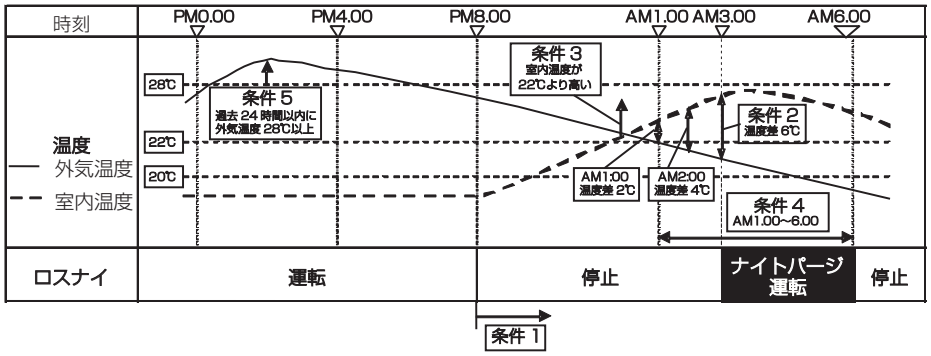
お知らせ

- 手元リモコンから設定変更された場合、AE-200J/AE-50J/EW-50J の設定も変更されます。

お願い

- ロスナイが運転時に設定を無効にしないでください。
無効に設定したグループは、設定保存時にロスナイはナイトパージ運転を終了します。

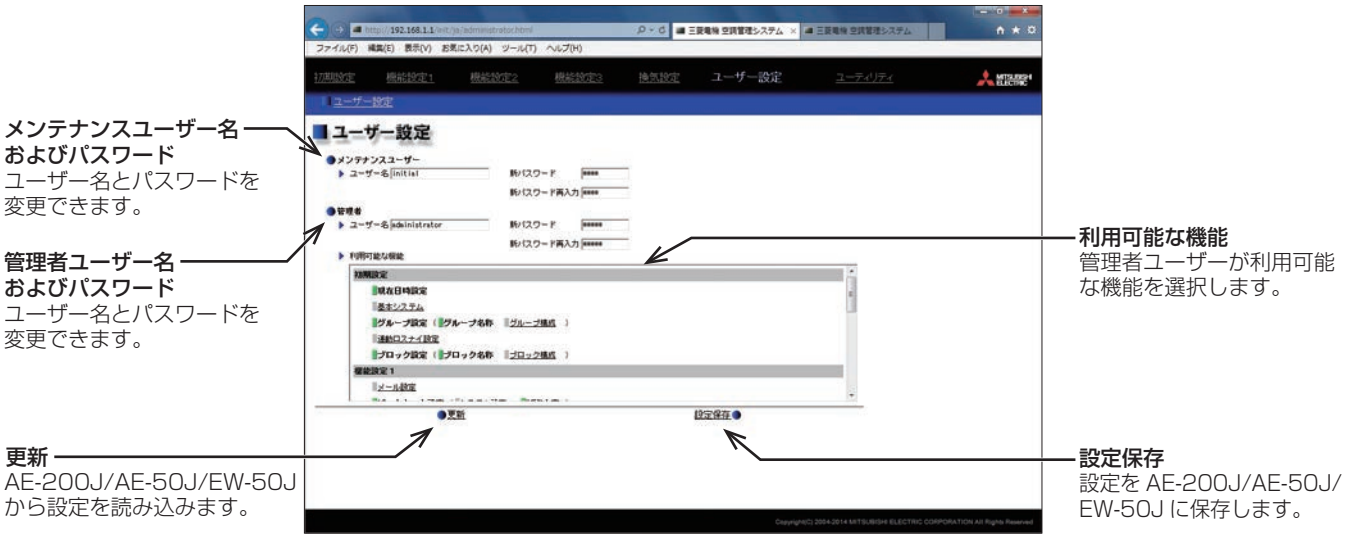
前ページの画面例でのナイトパージ開始の条件は、以下の通りです。
条件 1：停止中または 24 時間換気中
条件 2：（室内温度－室外温度）が室内外温度差 5℃（設定値）より大きい場合
条件 3：現在の室内温度が 22℃より高い場合
条件 4：現在時刻が開始時刻 AM1:00 から終了時刻 AM6:00 までの間
条件 5：過去 24 時間以内にロスナイが外気温度閾値 28℃（設定値）以上を検知



また、下記の条件になったときはナイトパージを停止します。
条件 1：室内温度が 22℃以下になったとき
条件 2：室内外温度差が設定温度以下になったとき
条件 3：終了時間に達したとき

3-6. ユーザー設定

ユーザー設定画面では、メンテナンスユーザーと管理者ユーザーのユーザー名とパスワードを変更したり、管理者ユーザーの利用可能な機能を制限できます。
テナントの入れ替えに伴ったグループ名称の変更等は管理者ユーザーでも変更できるようにしたいが、本体の設定やネットワーク設定などの基本システム設定は変更されたくない場合などにこのユーザー設定をご利用ください。
また、管理者ユーザーがユーザー名とパスワードを忘れてしまった場合にも、メンテナンスユーザーがこの画面を使用して再設定することが可能です。
メニューの **[ユーザー設定]** をクリックしてユーザー設定画面を開きます。



手順

1. メンテナンスユーザー名またはパスワードを変更するには、「ユーザー名」、「新パスワード」、および「新パスワード再入力」に新たな内容を入力します。

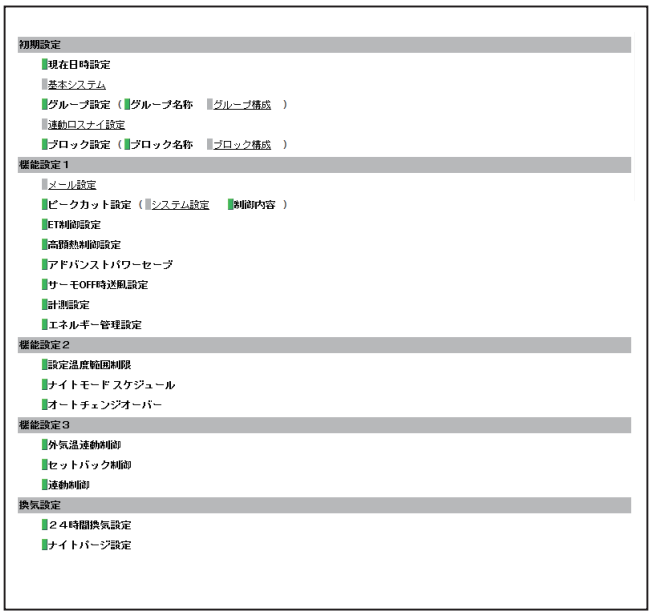
   お知らせ

   - 管理者ユーザーでログインした場合、メンテナンスユーザー名とパスワードは表示されず、変更できません。
   - ユーザー名は英数字以外は設定できません。
   - ユーザー名とパスワードは、大文字小文字を区別します。

2. 管理者ユーザー名またはパスワードを変更するには、「ユーザー名」、「新パスワード」、および「新パスワード再入力」に新たな内容を入力します。
3. 管理者ユーザーに使用できるようにする機能をクリックして選択（黄緑色表示）します。
   使用不可にしたい場合は、再度クリックすることで非選択状態（灰色表示）にします。
   各機能に関するより詳しい情報については、次ページの表を参照してください。

   お知らせ

   - 管理者ユーザーでログインした場合、現在使用できる機能の確認はできますが、変更はできません。



機能			内容
初期設定	現在日時設定		「3-1-1. 現在日時設定」参照（16 ページ）
	基本システム ※ 1		「3-1-2. 基本システム」参照（17 ページ）
	グループ設定	グループ名称	「3-1-3. グループ設定」参照（27 ページ）
		グループ構成 ※ 1	
	連動ロスナイ設定 ※ 1		「3-1-4. 連動ロスナイ設定」参照（31 ページ）
	ブロック設定	ブロック名称	「3-1-5. ブロック設定」参照（32 ページ）
		ブロック構成 ※ 1	
機能設定 1	メール設定 ※ 1		「3-2-1. メール設定」参照（33 ページ）
	ピークカット設定	システム構成 ※ 1	「3-2-2. ピークカット設定（省エネ制御）」参照（37 ページ）
		制御内容	
	ET 制御設定		「3-2-3. ET 制御設定」参照（45 ページ）
	高顕熱制御設定		「3-2-4. 高顕熱制御設定」参照（46 ページ）
	アドバンストパワーセーブ		「3-2-5. アドバンストパワーセーブ設定」参照（47 ページ）
	サーモ OFF 時送風設定		「3-2-6. サーモ OFF 時送風設定」参照（48 ページ）
	計測設定		「3-2-7. 計測設定」参照（49 ページ）
	エネルギー管理設定		「3-2-8. エネルギー管理設定」参照（53 ページ）
機能設定 2	設定温度範囲制限		「3-3-1. 設定温度範囲制限」参照（54 ページ）
	ナイトモードスケジュール		「3-3-2. ナイトモード（低騒音運転）スケジュール」参照（55 ページ）
	オートチェンジオーバー		「3-3-3. オートチェンジオーバー」参照（56 ページ）
機能設定 3	外気温連動制御		「3-4-1. 外気温連動制御」参照（57 ページ）
	ナイトセットバック制御		「3-4-2. ナイトセットバック制御」参照（59 ページ）
	連動制御		「3-4-3. 連動制御」参照（61 ページ）
換気設定	24 時間換気設定		「3-5-1. 24 時間換気設定」参照（70 ページ）
	ナイトパージ設定		「3-5-2. ナイトパージ設定」参照（71 ページ）

※ 1 工場出荷時の設定では、管理者ユーザーによるこれらの設定は禁止されています。

4. [設定保存] をクリックして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。

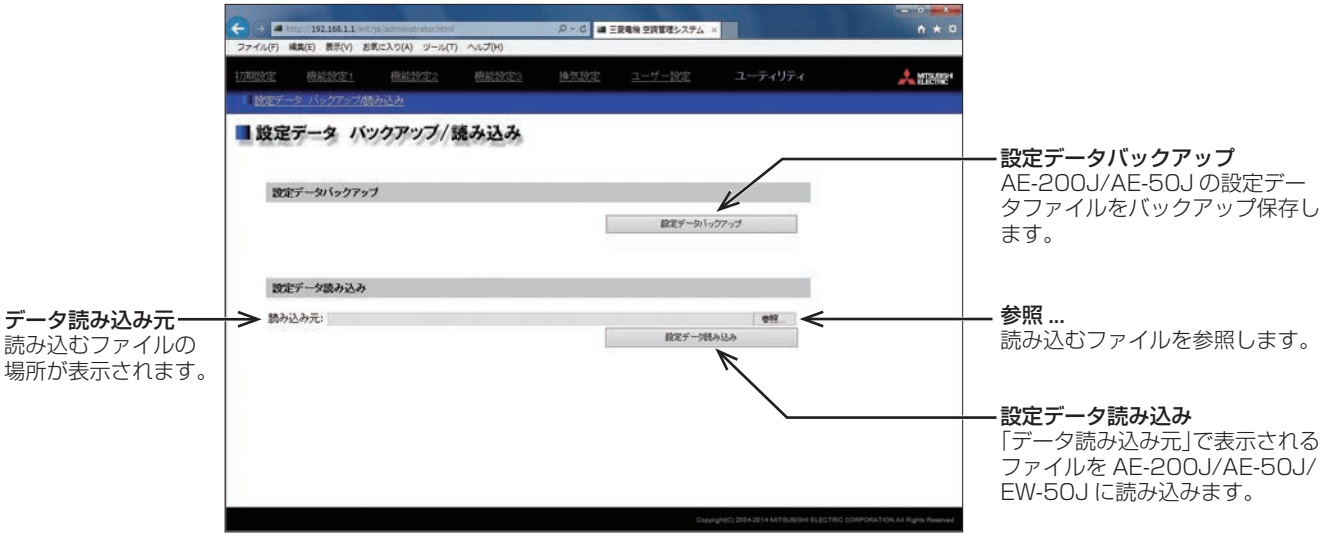
3-7. ユーティリティ

3-7-1. 設定データバックアップ／設定データ読み込み

初期設定用 Web ブラウザで設定する設定情報をハードディスクや USB メモリー等の外部メディアに出力してバックアップを保存することができます。また、故障交換時や設定データを過去の状態に戻したい時にそれらのデータを AE-200J/AE-50J/EW-50J へ読み込むことができます。
メニューの **[ユーティリティ]** ― **[設定データ　バックアップ／読み込み]** をクリックして設定データバックアップ／読み込み画面を開きます。

お知らせ

- 設定データバックアップ／読み込み機能は、メンテナンスユーザーのみ利用可能です。管理者ユーザーは利用できません。



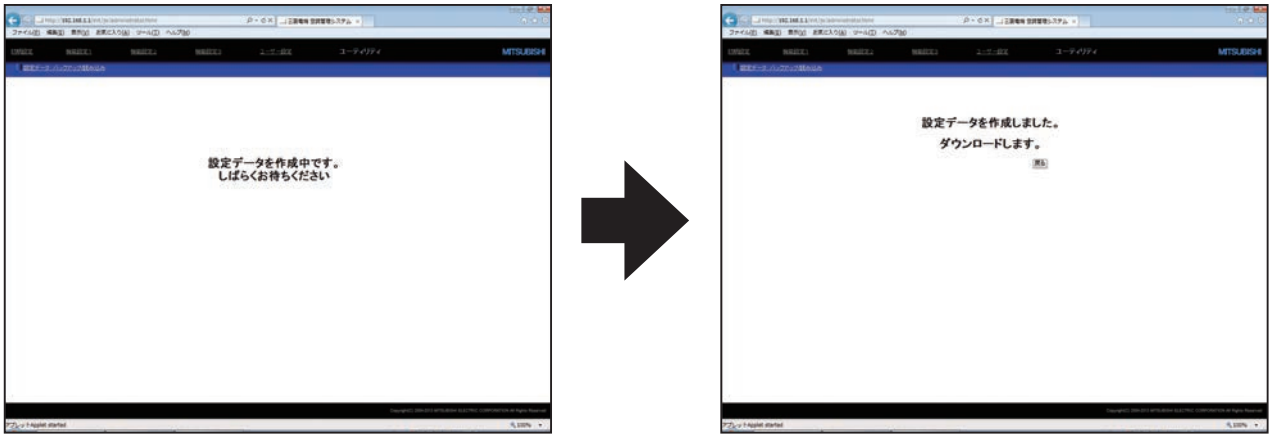
[1] 設定データのバックアップ

手順

1. **[設定データバックアップ]** をクリックすると、設定データを作成した後、OS 標準のファイルダウンロードダイアログが表示され、AE-200J/AE-50J/EW-50J の設定データファイルをバックアップ保存することができます。

お知らせ

- 設定データの作成には、数分かかります。
- 設定データの名前は「SettingData.dat」です。



[2] 設定データの読み込み

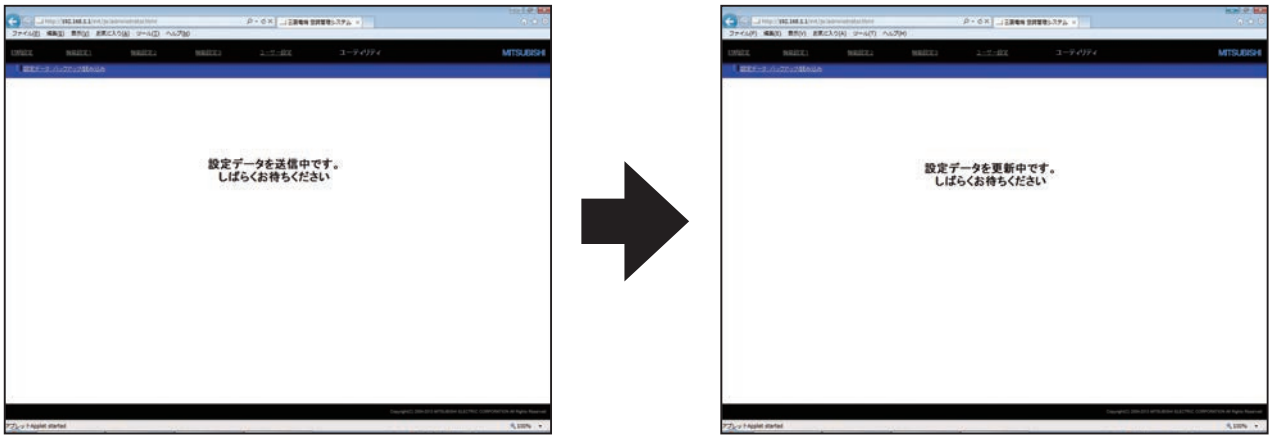
手順

1. **[参照 ...]** ボタンをクリックすると、エクスプローラー画面が開き、読み込むデータファイルを選択することができます。読み込むファイルを選択し、**[開く]** をクリックしてください。

2. **[設定データ読み込み]** をクリックすると、PC 保存されている設定データが AE-200J/AE-50J に読み込まれます。

   お知らせ

   - 設定データの読み込みには、数分かかります。



3. 設定データの読み込みが終了すると、AE-200J/AE-50J/EW-50J が再起動されます。

4. ログイン画面に戻り、再度ログインしてください。

3-8. オプション機能のライセンス登録

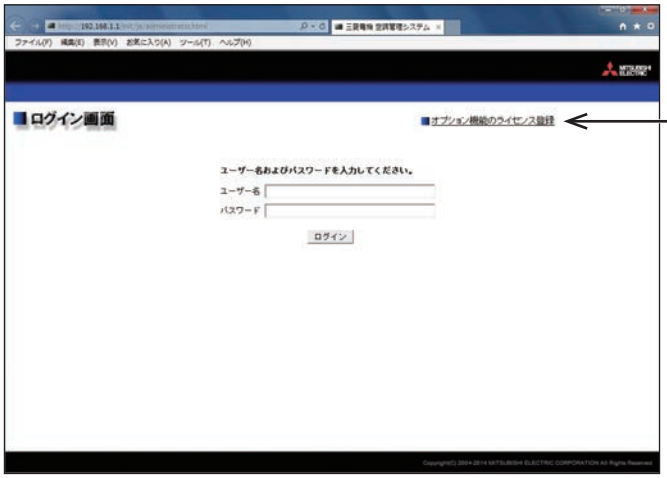
オプション機能とライセンス番号の購入方法については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

お知らせ

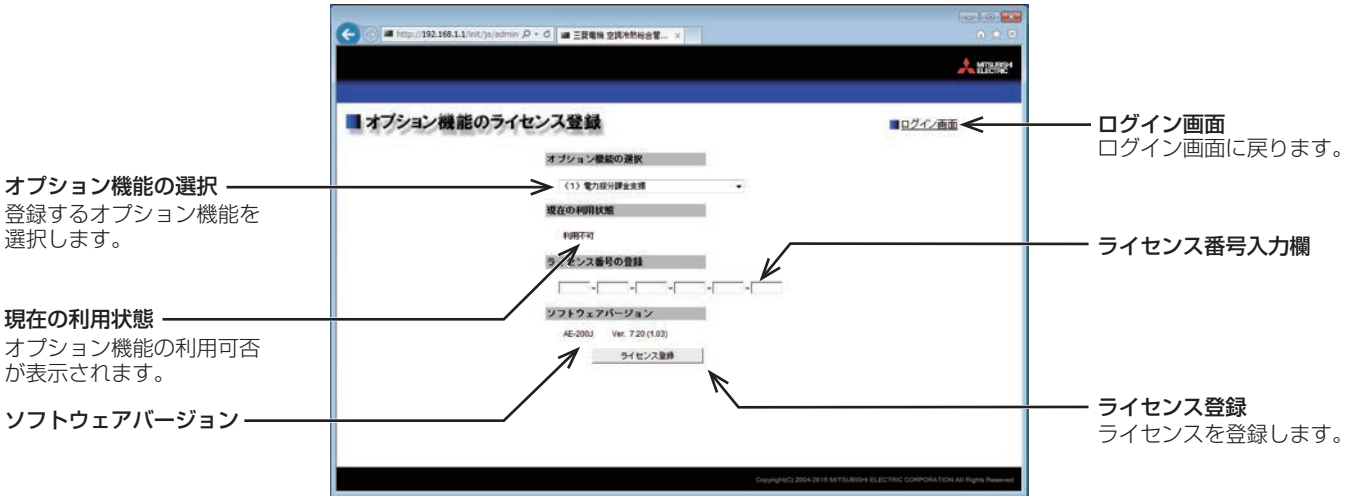
- ライセンス登録には、現在日時設定が必要です。現在日時設定については、「3-1-1. 現在日時設定」参照（16 ページ）
- ライセンス登録は AE-200J/AE-50J/EW-50J 各機器ごとに必要です。

手順

1. ログイン画面で、**[オプション機能のライセンス登録]** をクリックします。

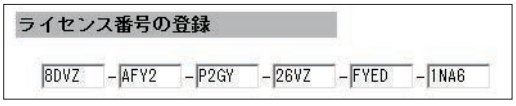


オプション機能のライセンス登録画面が表示されます。



2. 「オプション機能の選択」で、登録するオプション機能を選択します。現在の利用可否が「現在の利用状態」に表示されます。

3. 「ライセンス番号の登録」で、ライセンス番号を入力し、**[ライセンス登録]** をクリックします。
「現在の利用状態」に、「有効」と表示されます。
登録が失敗した場合は、オプション機能とライセンス番号が正しいか確認してください。



お知らせ

- アルファベットの「O」と「I」は、ライセンス番号に使用されません。

3-9. ソフトウェアのアップデート手順

AE-200J/AE-50J/EW-50J のソフトウェアアップデートは、① USB メモリを用いた方法と② Web ブラウザを用いた方法の 2 種類があります。

① USB メモリを用いた方法　　② Web ブラウザを用いた方法

本書では、② Web ブラウザを用いた方法について説明します。
① USB メモリを用いた方法については、AE-200J/AE-50J の取扱説明書または据付工事説明書を参照ください。

3-9-1. 事前準備

アップデート用 PC の IP アドレスを変更します。

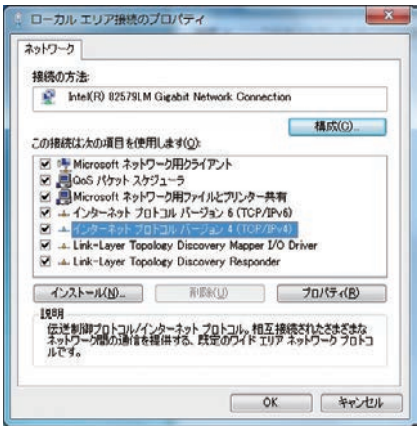
お知らせ

- 構内 LAN に接続されている場合はネットワーク管理者に連絡のうえ、許可をもらった後に、ネットワークの設定･アップデートを実行するようにしてください。

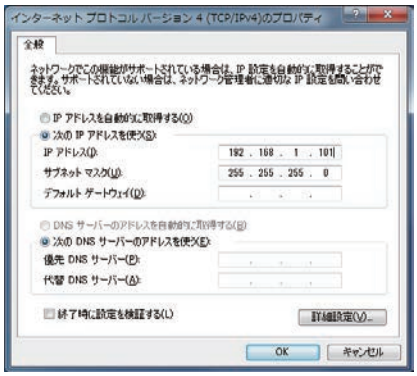
手順

1. スタートメニューの **[コントロールパネル]** をクリックし、コントロールパネルを開き、**[ネットワークと共有センター]** − **[ローカルエリア接続]** をクリックします。
   ローカルエリア接続の状態画面で、**[プロパティ]** をクリックします。

2. **[インターネットプロトコル 4（TCP/IPv4)]** を選択し、**[プロパティ]** をクリックします。



3. 次に右記画面が表示されますので、[次の IP アドレスを使う] にチェックを入れ、IP アドレスに [192.168.1. ＊] と入力してください。
（＊のところは、アップデートする AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスと違うアドレスを入力してください。
サブネットマスクは、右記のように [255.255.255.0] としてください。



お知らせ

- 既に稼動中の AE-200J/AE-50J/EW-50J をアップデートする際は、AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスを確認のうえ、設定を行ってください。
  AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスが [192.168.1.1] の場合は、[192.168.1.2] のように 3 桁目までは同じ値を入力し、4 桁目の数字が異なるように設定してください。
- 工場出荷状態の AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスは [192.168.1.1] に設定されています。
- 既に構内 LAN に接続されている PC でアップデートを行う場合、サブネットマスクが上記と異なる場合があります。
  サブネットマスクが **[255.255.0.0]** の場合は、2 桁目までは同じ値（192.168）を入力し、3 桁目または 4 桁目が異なるように設定してください。

お知らせ（必要により、お客様の承諾をお取りください。）

a) AE-200J/AE-50J/EW-50Jのアップデート中は空調機との通信ができないため、運転中の空調機が通信異常を検知して、手元リモコンに異常を表示することがありますが、空調機は運転継続しており、許可された操作は手元リモコンで可能です。

※ ただし、手元リモコンがないシステムやスリム機種では、通信異常を検知して異常停止する可能性がありますので、注意してください。

b) アップデートを実施する直前に運転している空調機を記録し、アップデート後に空調機の運転状態を確認し、運転中の空調機が停止になっていた場合、運転の操作など必要に応じて対処してください。

c) アップデート中はスケジュール制御・課金データ処理・ピークカット制御・エネルギー管理機能等の各種制御機能が動作できません。
あらかじめこれら機能の設定内容を確認し、機能停止の影響が小さい時間帯にアップデートを実施してください。

d) TG-2000 を使用して以下の機能を利用している場合は、下表アップデート禁止時間帯での AE-200J/AE-50J/EW-50J のアップデート作業を避けてください。

利用機能	アップデート禁止時間帯
課金按分機能	午前 4：05 ～ 4：35
異常履歴自動出力（日毎）	午前 0：05 ～ 0：15
ピークカットデータ（日報）	午前 2：00 ～ 2：10
計測トレンドモニタ （計量用計測コントローラ、環境用計測コントローラを使用）	午前 1：05 ～ 1：15

e) エネルギー管理データ等の CSV 収集機能をご使用の場合は、最大 60 分のデータが消えます。

f) 計量用パルス入力の場合、ソフトウェアアップデート中は計量用パルスの入力はできません。

g) ソフトウェアのバージョンダウンはできません。

3-9-2. 作業手順

手順

1. [3-9-1. 事前準備]で設定したＰＣとアップデートする AE-200J/AE-50J/EW-50J が LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。

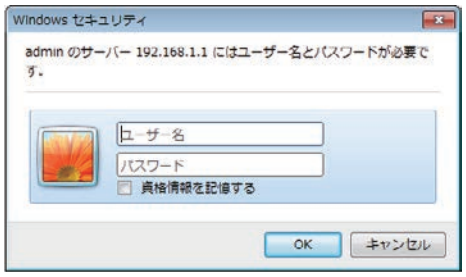
2. AE-200J/AE-50J/EW-50J の電源を投入し、ＰＣにアップデート用ファイルを格納した CD（又は USB メモリ）を挿入してください。

3. Web ブラウザのアドレス欄に、以下の Web ページアドレスを入力し、**[Enter]** キーを押して下さい。
   https：//［AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレス］/swupdate/Update.html

   お知らせ
   - AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスが、［192.168.1.1］の場合、Web ページアドレスは https：//192.168.1.1/swupdate/Update.html　になります

4. セキュリティ証明書が無効の場合、右の画面が表示されます。
   [このサイトの閲覧を続行する（推奨されません）。] をクリックします。
   セキュリティーの警告画面が表示されますので、**[はい]** をクリックします。

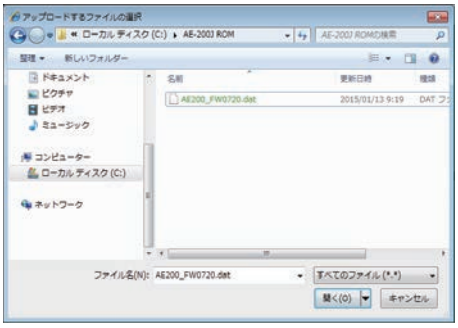
5. メンテナンスユーザー（初期ユーザー名：initial, 初期パスワード：init）ユーザー名とパスワードを入力して、ログインしてください。



6. ソフトウェアアップデート画面が表示されます。

7. **[参照 ...]** ボタンをクリックして、アップデート CD または USB メモリ上のアップデート用ファイル（AExx_FW####（####）.dat）を選択します。

   お知らせ
   - XX：AE-200J の場合 200
     AE-50J の場合 50 となります。
   - ####_（####）：ソフトウェアバージョンとなります。
   - ソフトウェアのダウングレードはできません。



8. **[Start Update]** ボタンをクリックすると、
AE-200J/AE-50J/EW-50J のアップデート処理が開始されます。

お知らせ

- アップデートには、約 10 分程度かかります。
- アップデート処理中は LAN ケーブルを抜いたり、
AE-200J/AE-50J/EW-50J の電源を切らないでください。

9. AE-200J/AE-50J/EW-50J の再起動が完了すると、アップデートは完了です。
Version 表示がアップデートファイルのバージョンと同じになっていることを確認してください。
また、AE-200J/AE-50J は液晶画面でもバージョンが同じになっているかを確認してください。

※ アップデートが正常完了しない場合は、再度アップデートを行ってください。同じ状況が続いた場合、
AE-200J/AE-50J/EW-50J が故障している可能性がありますので、販売店に問い合わせてください。

4. 保証とアフターサービス

4-1. 保証について

・製品の故障もしくは不具合より発生した、冷却温度上昇による健康障害や食品劣化、水漏れ等による家財破損などの付随的損害の責については、ご容赦ください。

4-2. 機器予防保全の目安・消耗部品の交換周期目安

部品名	保全周期・交換周期
集中コントローラ（電子基板類）	10 年

・保全周期·交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計のためにお役立てください。
・保全周期・交換周期は、保証期間ではありません。
・上表は、通常のご使用状態の場合であり、下記の項目に適合する場合は「保全周期」の短縮を考慮する必要があります。
① 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
② 電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合。
③ 振動、衝撃が多い場所に設定されご使用される場合。
④ 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミストなど良くない環境でご使用される場合。

4-3. 交換について

・不具合があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店、または指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口（空調機器に別添）にご連絡ください。
・以下の内容をご連絡ください。

品名	取扱説明書の表紙に記載
形名	取扱説明書の表紙に記載
故障の状況	
ご住所	
お名前	
電話番号	

・交換料金には、技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。

技術料	機器の接続・機器の調整・取り扱い方法の説明等にかかる料金
部品代	交換に使用した部品代金
出張料	製品のある場所へ技術員を派遣する料金

・この製品は、日本国内用ですので、日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

4-4. 移設について

・増改築・引越しのため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店、指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口（空調機器に別添）にご相談ください。

4-5. お問い合わせ

- ご不明な点は、お買い上げの販売店、指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口（空調機器に別添）にお問い合わせください。
- お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、お客様相談窓口（空調機器に別添）へお問い合わせください。
（所在地、電話番号などについては変更になることがありますのでご了承願います。）

お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

• 三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品の取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容に記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

5. Web ブラウザ接続時の注意点

Web ブラウザへの接続時、「If you see this you don't have a Java-enabled Web browser. Here's a picture of what you are missing.」や「エラー。クリックして詳細を確認してください。」などが表示され、ログイン画面が表示されない場合、以下の手順で設定変更を行ってください。

お願い

- 「5-2. Internet Explorer をリセットする」は、インターネットエクスプローラの設定内容がリセットされますので、必ず先に「5-1. 一時ファイルを削除する」を行い、改善されなかった場合のみ実施してください。

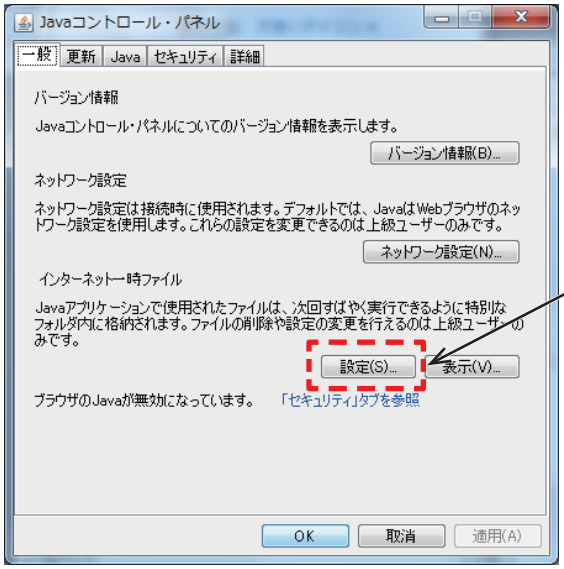
5-1. 一時ファイルを削除する

5-1-1. JAVA の一時ファイルを削除する

1) **[コントロールパネル]** を開き、画面右上の「表示方式」が **[カテゴリ]** になっている場合、これをクリックして **[大きいアイコン]** または **[小さいアイコン]** に変更してください。

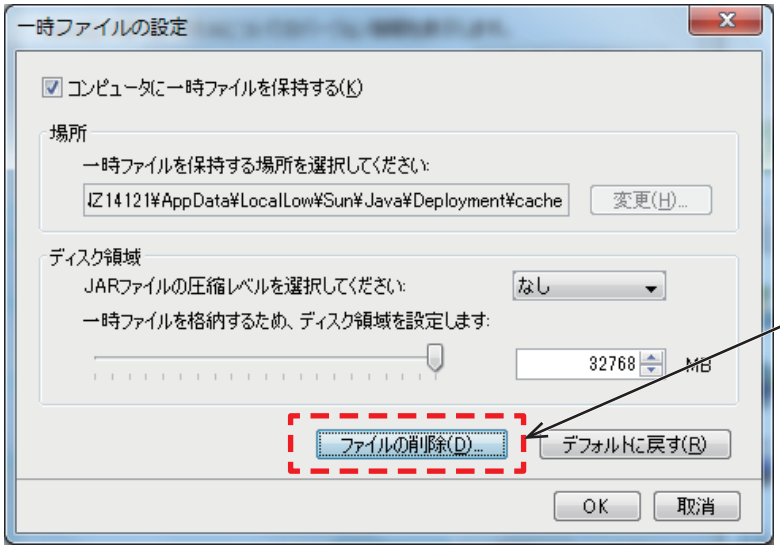
2) **[Java]** をクリックして、Java のコントロールパネルを開いてください。

3)「インターネット一時ファイル」の **[設定]** をクリックしてください。



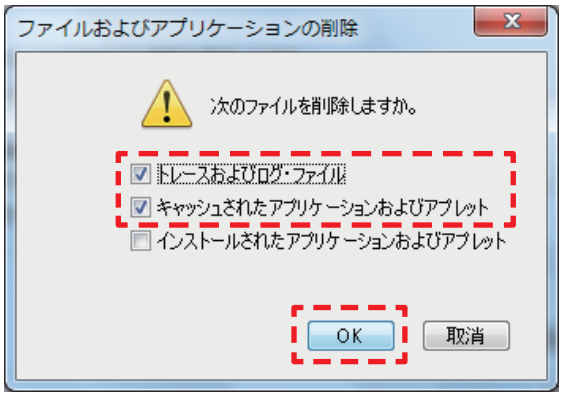
[設定] をクリック

4) 一時ファイルの設定画面が開きますので、**[ファイルの削除]** をクリックしてください。



[ファイルの削除] をクリック

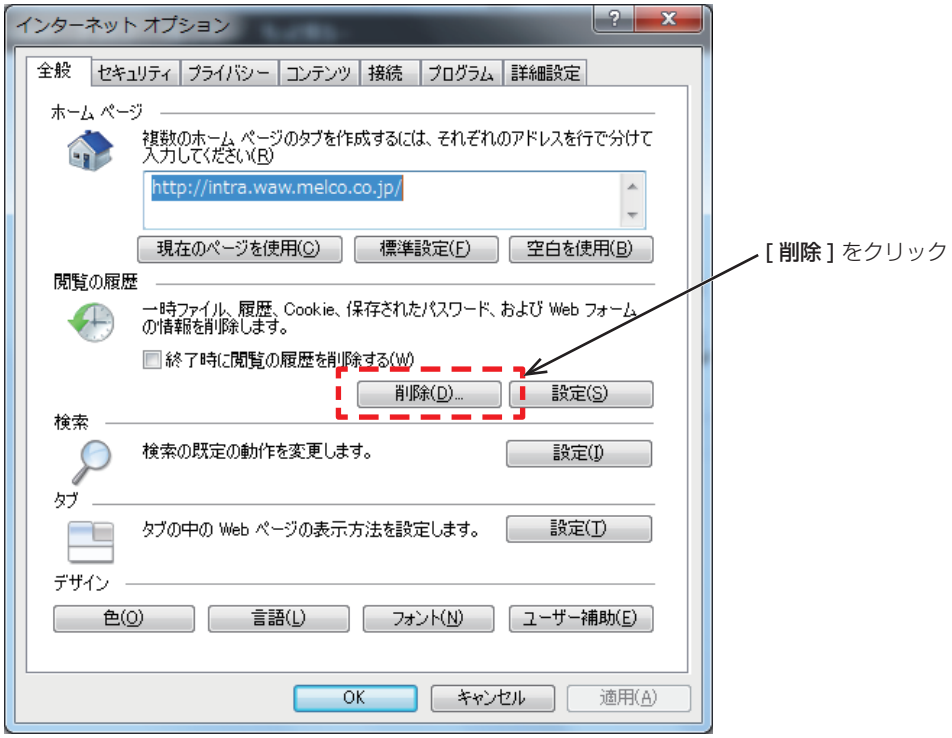
5) ファイルおよびアプリケーションの削除画面が開きますので、
[トレースおよびログ・ファイル]
[キャッシュされたアプリケーションおよびアプレット]
にチェックが入っていることを確認して、**[OK]** を押してください。



5-1-2. Internet Explorer の一時ファイルを削除する

1) Internet Explorer のメニューから、**[ツール]** → **[インターネットオプション]** クリックします。

2) インターネットオプションのダイアログが開きますので、「閲覧の履歴」から **[削除]** をクリックしてください。



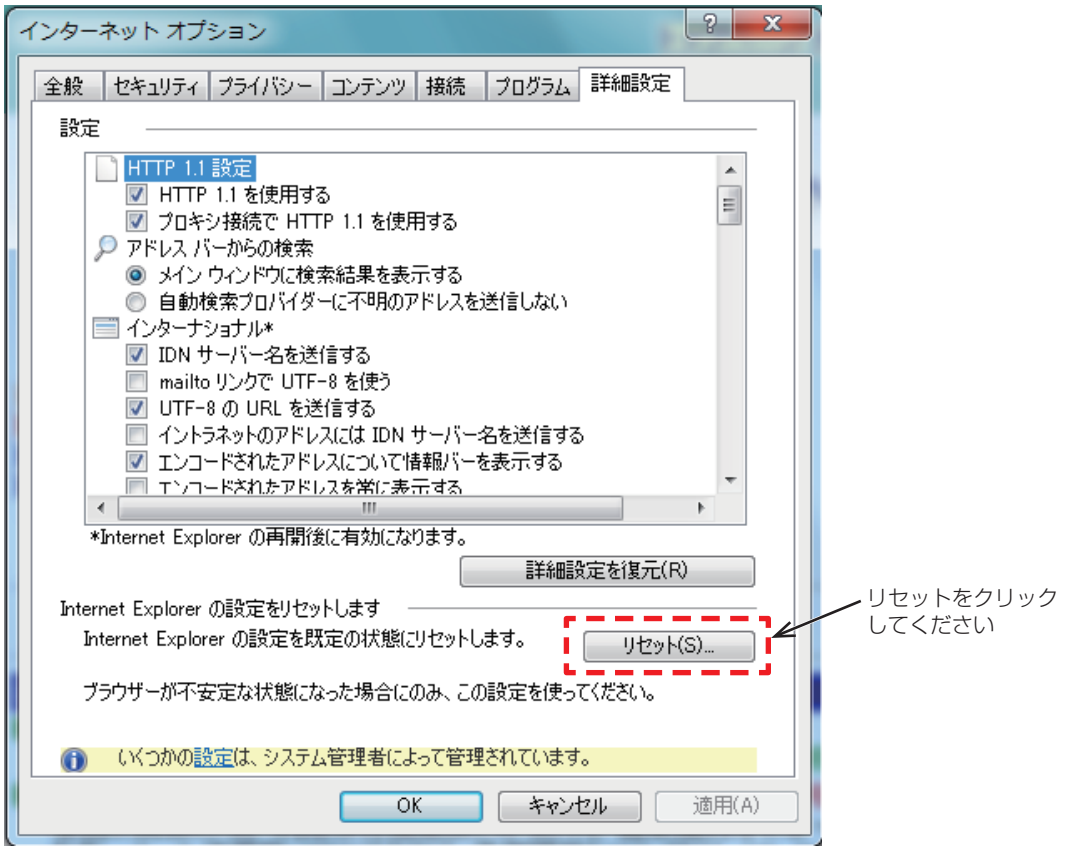
3) キャッシュクリア画面が開きますので、**[インターネット一時ファイル]** にチェックが入っていることを確認して、**[削除]** を押してください。

5-2. Internet Explorer をリセットする

「5-1. 一時ファイルを削除する」を行っても改善されない場合は、Internet Explorer の設定をリセットしてください。

1) Internet Explorer のメニューから、**[ツール] → [インターネットオプション]** をクリックします。

2) **[詳細設定] → [リセット]** をクリックします。



以下の内容がリセットされます。必要に応じて事前に設定内容を控えるなどしてください。

- ツールバーとアドオンの無効化
- 詳細設定
- 既定の Web ブラウザ設定
- タブブラウズの設定
- プライバシーの設定
- ポップアップの設定
- セキュリティの設定

添付 .Ver7.20 での追加機能について

Ver7.20 からの追加機能は以下の通りです。

追加項目		概要	参照
初期設定	メール設定	送信メールサーバのポート番号が設定できます。	3-2-1 章「メール設定」
	ピークカット	室外ユニットの能力セーブ量で、50%を選択できます。	3-2-2 章「ピークカット設定」
	高顕熱制御設定※1	高顕熱制御ライセンスを登録する事で、高顕熱制御の設定ができます。	3-2-4 章「高顕熱制御設定」

※ 1 省エネ制御（ピークカット）ライセンス登録時のみ、機能が有効です。

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365 日・24 時間受付)
0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常 FAX)

三菱電機株式会社

〒100-8310　東京都千代田区丸の内二丁目7番3号(東京ビル)

WT07134X02